

緑の募金

事業報告集

令和元年度



公益社団法人 国土緑化推進機構

緑の募金 事業報告集

令和元年度

公益社団法人 国土緑化推進機構

はじめに

緑の募金事業は、「緑の募金法」に基づき、国内・海外における「国民参加の森林づくり」を進めるものであり、募金者の森林づくりへの期待に応えるため、森林ボランティア団体等が行う森林整備、緑化推進、国際協力の活動を支援するものです。

平成30年度（平成30年7月～令和元年6月）事業においては、

- ① 地球温暖化防止や水源涵養等に資する森林の整備
- ② 東日本大震災や北海道胆振東部地震の被災地復興支援のための海岸林再生、被災地域の学校緑化
- ③ 子どもたちの森の学びの場となる森林づくり
- ④ 災害跡地の復旧や災害に強い森林づくり
- ⑤ 海外における砂漠化の防止や住民生活の向上に資する植林

等の活動を支援しました。

また、これらの活動はSDGs（持続可能な開発目標）の達成にも様々な貢献をするものと考えます。

本報告集は、緑の募金の社会的意義と役割に鑑み、緑の募金事業の実行結果について、募金者をはじめ、広く一般市民、企業・団体等の方々にも知って頂くためのものです。

本報告集によって、国民の皆さまの「緑の募金」への一層の理解と更なるご支援・ご協力の輪が広がるとともに、豊かな森林を次の世代に引き継いでいくための活動の一助になれば幸いです。



緑の募金

公益社団法人 国土緑化推進機構

目次

- (注) 1. 本報告集に掲載した事業は、平成30年7月から令和元年6月までに事業決定した直接事業及び公募事業である。
2. 最左欄は交付決定番号、() 地名は事業実施都道府県等である。
3. 交付決定番号の区分の説明
- SC 直接事業(森林整備)／東震 SC 東日本大震災復興事業(森林整備)／北震 SC 北海道胆振東部地震災害復興事業(森林整備)／S 公募事業(森林整備)／災 S 公募事業(災害に強い森林づくり事業：森林整備)
- RC 直接事業(緑化推進)／東震 RC 東日本大震災復興事業(緑化推進)／熊震 RC 熊本地震復興事業(緑化推進)／西豪 RC 西日本豪雨災害復興事業(緑化推進)／R 公募事業(緑化推進)／災 R 公募事業(災害に強い森林づくり事業：緑化推進)／子 R 公募事業(子どもたちの未来の森づくり事業)
- KC 直接事業(国際協力)／K 公募事業(国際協力)

森林の整備

30SC-01	緑のボランティアの森記念造成事業「フォレスト21さがみの森」(神奈川)……………	12
30SC-02	緑のボランティアの森記念造成事業「いずみの森21」(大阪)……………	12
30SC-03	「キリン千歳水源の森」整備の森づくり(北海道)……………	13
30SC-04	地球温暖化防止のための北海道の森づくり(北海道)……………	13
30SC-05	原村あゆみの森整備事業(長野)……………	14
30SC-06	玖珠町ふれあいの森づくり事業(大分)……………	14
30SC-07	湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業(神奈川)……………	15
30SC-08	南足柄で進める企業の森づくり体験活動事業(神奈川)……………	15
30SC-09	栗原市行者の滝周辺癒しの森林植樹計画(宮城)……………	16
30SC-10	富士山緑の募金の森造成事業(静岡)……………	16
30SC-11	木下沢渓谷冒険の森保全活動、親子での環境教育(東京)……………	17
30SC-12	ふるさとの森と里山の再生を通じた緑化木生産の復活プロジェクト(新潟)……………	17
30SC-13	岡山水源の森整備事業(岡山)……………	18
30SC-14	岡山県日本リスの森整備事業(岡山)……………	18
30SC-15	「大阪府ENEOS友好の森」森林整備事業(大阪)……………	19
30SC-16	みんなのSDGsのMORIと社会づくり事業(宮城)……………	19
30SC-17	「赤西渓谷・水源の森」保全事業(兵庫)……………	20
30SC-18	水源地保全活動(茨城)……………	20
30SC-19	明治150周年記念植樹祭(千葉)……………	21
30SC-20	企業との協働による「高粱美しい森」森林整備事業(岡山)……………	21
30SC-21	和木町協働の森づくり事業(山口)……………	22
30SC-22	さいたまの森林づくり支援事業(埼玉)……………	22
30SC-23	多摩動物公園雑木林いきもの豊かな里山の森づくり(東京)……………	23
30SC-24	木曽川・やおつ水源の森づくり活動(岐阜)……………	23
30東震SC-01	3.11復活の森づくり～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業(千葉)……………	24
30東震SC-02	「全労済の森・宮城」海岸防災林再生の森づくり事業(宮城)……………	24
30東震SC-03	旭復興事業2018(千葉)……………	25
30東震SC-04	震災復興植樹祭INさんむ(千葉)……………	25
30東震SC-05	白子町海岸保安林整備事業(千葉)……………	26
30東震SC-06	「荒浜潮除須賀松の森」植樹事業(宮城)……………	26
30東震SC-07	ラグビーワールドカップ2019開催をステップとした コミュニティの再生を目指す大槌湾海岸防災林植樹事業(岩手)……………	27
30北震SC-01	市民参加による北進の森復活事業(北海道)……………	27
30S-01	森と街を繋ぐ森の循環プロジェクト(北海道)……………	28
30S-02	札幌市澄川都市環境林に於ける外来種ニセアカシア侵入地域の復興事業(北海道)……………	28
30S-03	広葉樹施業の担い手を育てる自伐林家養成事業(北海道)……………	29
30S-04	山林と暮らしを結ぶ「薪割りランド事業」(岩手)……………	29
30S-05	松枯れ対策プロジェクト2018(岩手)……………	30

30S-06	間伐材の資源化プロジェクト（岩手）	30
30S-07	森林の整備（地震で崩落した山林の再生事業）（宮城）	31
30S-08	森林の整備（離島の森の回復事業）（宮城）	31
30S-09	北上川の上下流を結ぶ緑の再生活動（岩手）	32
30S-10	茨城県県民の森「スギ採種園の跡地」及び他フィールドの森林整備活動（茨城）	32
30S-11	『トトロの森』狭山丘陵と周辺緑地での里山保全（埼玉・東京）	33
30S-12	雑木林や杉林の恵みを環境教育などで享受しながらの継続的な整備（千葉）	33
30S-13	古民家／宙（そら）－こどもの「ひみつきち」の森づくり（千葉）	34
30S-14	秩父市久那上ノ山及びその周辺山林の整備と育成（埼玉）	34
30S-15	日向の森（千葉県山武市・人工林）保全活用のための 森林ボランティア人材養成事業（千葉）	35
30S-16	国民参画の森林づくり国際ワークキャンプ（13道府県）	35
30S-17	神奈川県山北町における森林整備活動事業（神奈川）	36
30S-19	森の次代を担う青年森づくり事業（東京）	36
30S-20	梅林の再整備と医院通り（A棟）の緑の改善活動（東京）	37
30S-21	富士山休養林の森林整備（静岡）	37
30S-23	水源林の保全・整備と森林の多目的利用の促進（神奈川）	38
30S-24	南高尾風景林の整備活動と森林体験スクール事業（東京）	38
30S-25	相模湖若者の森づくり、知足の森林整備活動（神奈川）	39
30S-26	里山保全安全技能研修をとおした緑地整備の推進（神奈川）	39
30S-27	複数フィールドの持続的な竹林保全と活用（神奈川、静岡）	40
30S-28	間伐材を利用した森の拠点～森のキッチンづくり～（新潟）	40
30S-29	間伐材を活用した観光地の新たな魅力化事業（福井）	41
30S-30	古里越前の里山を育む未来への森づくり（福井）	41
30S-31	昆虫の棲める故郷の里山再生（山梨）	42
30S-32	竹林整備・活用研究（岐阜）	42
30S-33	地域の森づくり・里づくり一体型拠点整備事業（岐阜）	43
30S-34	水源地間伐支援事業（愛知）	43
30S-35	間伐の推進と間伐材有効活用の実践（三重・愛知）	44
30S-36	斎王竹の道「森林再生保全」（三重）	44
30S-37	寺林を生かした森林環境学習活動（京都）	45
30S-39	里山整備事業（兵庫）	45
30S-40	憩いの場としての健全な、景観の良い森づくり（奈良）	46
30S-41	広葉樹林の整備事業（広島）	46
30S-42	気候変動を健全なものに正す持続可能な環境共生型森業の実践普及事業（高知）	47
30S-43	岡垣町：放置竹林伐採・植樹プロジェクト（福岡）	47
30S-44	子供とミツバチの森づくり活動（鹿児島）	48
30S-45	桜島新島町「ふるさと再生プロジェクト'18」事業（鹿児島）	48
30災S-03	富士山麓における森づくり整備活動（山梨）	49
30災S-04	上下流連携の循環型森づくり活動（群馬）	49
30災S-06	緑の遺産「胎内」災害に強い森づくり（新潟）	50
30災S-07	国民参加による災害に強い森づくり事業（新潟）	50
30災S-08	北潟湖の森を育む子どもたちの森づくり（福井）	51
30災S-10	持尾フィールド斜面林復旧事業（大阪）	51
30災S-11	災害救援ボランティア活動（兵庫）	52
30災S-12	蘇る熊野の森大日山プロジェクト2018（3番区）（和歌山）	52
30災S-13	「銀林の恵み森活プロジェクト」で山林災害を無くそう！事業（島根）	53
30災S-14	徳島県那賀町木沢 森林整備事業（徳島）	53

緑化の推進

30RC-01	「つたえよう美しき森」獅子吼高原 森のふれあい音楽会（石川）	56
30RC-02	子どもと地域のための森の健康診断普及事業（中部・近畿）	56
30RC-03	活樹祭～水源林・森の恵みと活用を学ぶキャンププログラム（山梨）	57

30RC-04	日豪環境ボランティアプログラム2018in五木村 ～森と水の心のふるさとを未来につなぐ～（熊本）	57
30RC-05	活樹祭～森の恵みと活用を学ぶキャンププログラム（宮城）	58
30RC-06	学校教育環境向上のための緑化事業（島根）	58
30RC-07	安全な間伐モデル事業（静岡、岐阜ほか）	59
30RC-08	福を呼ぶ「フクギさんぼ道」プロジェクト（沖縄）	59
30RC-09	学校教育環境向上のための緑化事業（沖縄）	60
30RC-10	こどもからお年寄りまで元気になる森づくり事業（北海道）	60
30RC-11	活樹祭・親子森林教室石垣島里山づくりプロジェクト（沖縄）	61
30RC-12	「グリーンウェイブ2019」記念植樹会（千葉）	61
30東震RC-01	「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業（宮城）	62
30熊震RC-01	熊本地震復興支援事業（学校等緑化）（熊本）	62
30熊震RC-02	熊本地震復興支援事業（学校等木製品提供）（熊本）	63
30西豪RC-01	平成30年7月豪雨災害広島支援事業（広島）	63
30西豪RC-02	九州北部豪雨復興支援事業（学校・仮設住宅団地等緑化・木製品提供）（福岡）	64
30西豪RC-03	平成30年7月豪雨災害西予地区支援事業（愛媛）	64
30R-01	植樹会と間伐材利用イベントを通じた、富良野の森づくり人づくり事業（北海道）	65
30R-02	森と緑と湖のマチ、そららの森づくりプロジェクト（北海道）	65
30R-03	いのちの森づくり植樹祭IN奥沢水源地VOL.6（北海道）	66
30R-04	オオヤマザクラ等の保育活動を通じた地域を結ぶ森林づくり（青森）	66
30R-05	陸奥湾を守る周辺の森の仕組みを学ぶ植林体験事業（青森）	67
30R-06	八幡山桜（はな）の森整備事業紅葉の森整備事業（山形）	67
30R-07	ふるさとの風景づくり植樹祭（福島）	68
30R-08	川内ふるさと ふるさと触れ合いの森づくり（福島）	68
30R-09	市民・子どもたち参加の里山保全活動（茨城）	69
30R-10	渡良瀬川源流の荒廃地緑化事業（栃木）	69
30R-11	高尾小仏植樹祭2018（東京）	70
30R-12	市民参加による茨城高萩の森づくり人づくり（茨城）	70
30R-13	一般市民による湘南海岸林整備事業（神奈川）	71
30R-14	みんなの家でみんなの森づくりプロジェクト（山梨）	71
30R-15	「水が繋ぐ地域と世代」促進事業（山梨、神奈川）	72
30R-16	子ども達の将来に残す森林整備（福井）	72
30R-17	第2回「海をつなげるいのちの森づくり植樹祭」（静岡）	73
30R-19	猿投山北西山麓斜面の環境林整備（愛知）	73
30R-20	揖保川源流の森づくり（兵庫）	74
30R-21	花粉症対策の森づくり事業（広島）	74
30R-22	山の日記念植樹祭（広島）	75
30R-23	「山野草350種の花が咲く」森の保存による里山事業（山口）	75
30R-24	森づくり活動による都市・山村交流ふれあい事業（徳島）	76
30R-25	炭焼と住民や子供達が自然体験出来る森づくりPJ（福岡）	76
30災R-01	三宅島復興森林づくり交流事業（東京）	77
30災R-02	湘南国際村めぐりの森づくり（神奈川）	77
30災R-03	海岸防災林や未利用放牧地等の森林整備事業（千葉、東京、長野）	78
30災R-04	グリーンベイOSAKA森を育てる活動（大阪）	78
30災R-05	菊炭で文化と里山を未来へつなぐ事業（大阪）	79
30災R-06	入来浜海岸防災林保全活動（鹿児島）	79
30災R-07	「地球に緑を 桜島を緑に」どんぐり照葉樹の森づくり（鹿児島）	80
30子R-01	天売島・持続可能な未来の水源地づくり事業（北海道）	80
30子R-02	小学校における森林体験学習（総合学習）の支援事業（北海道）	81
30子R-03	人と森と触れあう。「親子で秘密基地」ワークショップ（北海道）	81
30子R-04	市民参加による虹の湖公園育樹事業（青森）	82
30子R-05	「大沢の臥竜梅」樹勢回復事業（岩手）	82
30子R-06	未来につなぐもりの学び舎協働事業（宮城）	83

30子R-07	「そだてよう！どんぐりの森2018」プロジェクト（秋田）	83
30子R-08	癒やしの森作り（山形）	84
30子R-09	子ども達の自然体験活動フィールド整備事業（福島）	84
30子R-10	名久田川源流学びの森づくり（群馬）	85
30子R-11	八ッ場ダム水没サクラを守ろう（群馬）	85
30子R-12	生物多様性のある里山の森づくり（埼玉）	86
30子R-13	『木育』による地域里山再生プロジェクト（千葉）	86
30子R-14	希少植物自生地の針広混交林整備（千葉）	87
30子R-15	豊かさを学ぶ森作り（千葉）	87
30子R-16	遊びにきたい森へ向けて～森に手を入れ、次代を育む～（東京）	88
30子R-17	『木とふれあい、木に学び、木と生きる』取組を通して～【木育】～（東京）	88
30子R-18	歴史ある恩方の森で、地元の小学生へ体験学習（東京）	89
30子R-19	みんなで守ろう育てよう！よしみ里山プロジェクト事業（埼玉）	89
30子R-20	吉野 落葉樹・どんぐり苗返しの森造り森林再生事業（奈良）	90
30子R-21	三浦半島の真ん中に自然ふれあいの森をつくろう（神奈川）	90
30子R-22	鬼太鼓の森再生事業（新潟）	91
30子R-23	緑の里山保全の森づくり活動（富山）	91
30子R-24	ふるさとの絆の森再生事業（石川）	92
30子R-25	鎮守の森の再生（福井）	92
30子R-26	たけだ風の谷プレーパーク～あそびの森プロジェクト～（福井）	93
30子R-27	元学校林を利用した教育の森創造事業（長野）	93
30子R-28	ぼくらの裏山ランド整備事業（長野）	94
30子R-29	清流と共に生きる子どもたちの100年の森林づくり事業（静岡）	94
30子R-30	富士のさと「子どもたちの未来の森づくり事業」（静岡）	95
30子R-31	サバイバルマウンテン整備（愛知）	95
30子R-32	150周年記念に向けてふるさに残す夢の里山の森（愛知）	96
30子R-34	マキノ高原千本桜の樹勢回復事業（滋賀）	96
30子R-35	くぬぎーランド！いきもの夢の森づくり事業（滋賀）	97
30子R-36	能勢ささゆり学園「学びの丘」整備事業（大阪）	97
30子R-37	都市近郊での『山とまちをつなぐ』豊かな里山教育環境の整備（大阪）	98
30子R-38	雌岡山梅林の管理育成及び環境保全（兵庫）	98
30子R-39	境港市竹内西緑地マツ林復元・整備事業（鳥取）	99
30子R-40	僕らの秘密基地づくりプロジェクト（島根）	99
30子R-41	「粒江の栗山」保護事業（岡山）	100
30子R-42	緑の景観事業による里山創生（山口）	100
30子R-43	未来に向けた親しみある森づくり（山口）	101
30子R-44	集まれ光井っ子！里山整備プロジェクト（山口）	101
30子R-45	子ども達と楽しむ気晴らしの丘の森づくり事業（山口）	102
30子R-46	紙屋の里山等再生事業（宮崎）	102

国際協力

30KC-01	地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業（マリ）	104
30KC-02	日本ーラオス友好の森展示林造成事業（ラオス）	104
30KC-03	フィジー 森林と海の生物多様性保全に向けた植林と環境教育推進プロジェクト（フィジー）	105
30KC-04	平成30年度緑の国際ボランティア研修（タイ国）（タイ）	105
30KC-05	タイ国チャイナート県における森林再生を目指した植林事業（フェーズ2）（タイ）	106
30KC-06	タイ国ナコーンラーチャーシーマー県における森林再生を目指した植林事業（フェーズ2）（タイ）	106
30KC-07	カンボジア国クラチェ州における生物多様性の保全を目指した植林事業（フェーズ3）（カンボジア）	107
30KC-08	インドネシア 森林と水保全のための「まちの森」づくりと環境教育推進プロジェクト（インドネシア）	107
30KC-09	モンゴル国ボルガン県における飼料木を用いた放牧地保全林造成事業（モンゴル）	108

30KC-10	地球温暖化防止と日中友好の森づくり事業（中国）	108
30KC-11	ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための 寒帯林保全及び荒廃林地の造林事業（ロシア）	109
30K-01	モンゴルにおける北方型生活環境保全林の造成事業（モンゴル）	109
30K-02	中国・内モンゴル自治区アラシャン盟ウランブハ沙漠における沙漠緑化（中国）	110
30K-03	苗木生産・供給をベースとした住民主体のコミュニティー完結型緑化事業（エチオピア）	110
30K-04	中国内モンゴル自治区錫林郭勒盟正欄旗烏日図嘎查フィサンダクー沙地における 沙丘からの流沙防止のための植林（中国）	111
30K-05	ブルキナファソ・バム県における村落植林プロジェクト（ブルキナファソ）	111
30K-06	インドネシア・東スンバ県における緑化推進のための マングローブ植林事業（インドネシア）	112
30K-07	フィリピン・アブラ州生物多様性改善のためのモデル植林プロジェクト（フィリピン）	112
30K-08	セレゲレン苗木生産センターにおける育苗及び砂漠化防止のための 植林普及事業（モンゴル）	113
30K-09	マダガスカル、アンジアマングラナ監視森林とその周辺地域での 植林（マダガスカル）	113
30K-10	パレスチナ自治区ナブルス県の耕作放棄地への植樹を通じた地域の 緑化支援事業（パレスチナ）	114
30K-11	モウス沙地における砂漠緑化・生態混交林造成事業（中国）	114
30K-12	カンボジア世界遺産プレアピヒア寺院周辺地区での植林活動（第8年目）（カンボジア）	115
30K-13	ラオスにおける荒廃地の薪炭林再生（ラオス）	115
30K-14	マレーシア・サラワク州における地域住民参加型マングローブ林再生事業（マレーシア）	116
30K-16	ガーナ植林・日本式炭焼普及プロジェクト（ガーナ）	116
30K-17	カンボジア国モンドルキリ州の里山再生を目指した緑化推進事業（カンボジア）	117
30K-18	ヒマラヤ山麓伐採荒地に 「笑顔はじける環境を子供たちへ！未来の緑の森づくり」（ネパール）	117
30K-19	インド国オディッシュャ州ゴバルプール地区の住民による 「持続可能な生活林」づくり（インド）	118
30K-20	ミャンマー八角平和計画チン州編（ミャンマー）	118
30K-21	豊寧県緑化環境保全事業（中国）	119
30K-22	東アマゾン氾濫原でのアグロフォレストリー普及（ブラジル）	119
30K-23	ネパール・バネバ市に緑を育て、守る 住民参加型都市緑化推進事業（継続3年目）（ネパール）	120
30K-24	大規模森林火災で焼失した森を再生するための市民緑化活動事業（インドネシア）	120
30K-25	モンゴル国ゴビツンベル県の森林公園造成支援（モンゴル）	121
30K-26	ハイチ西県ロッシュ地区におけるモリンガ植林活動（ハイチ）	121
30K-27	家庭菜園を利用した持続可能な苗木生産の創出（タジキスタン）	122
30K-28	ベトナムにおけるマングローブ林再生事業（ベトナム）	122
30K-29	上・下流部住民の交流による流域の森林再生（第2年次）（フィリピン）	123
30K-30	パキスタン北東部における緑の再生・保全事業と環境保護第一世代の育成（パキスタン）	123
30K-31	モンゴル山火事跡再生困難地の森林再生促進（モンゴル）	124
30K-32	フィリピンのコーヒー育苗による森林保全（フィリピン）	124
30K-33	半乾燥地の女性グループが行う次世代に繋がる緑の環境づくり（ケニア）	125
30K-34	ネパールシンドゥパルチョーク郡地震被災地の学校の緑化と地域の憩いの場及び 避難場所として活用するための緑の公園づくり（ネパール）	125
30K-35	マダガスカルでの土砂流失防止の植林事業（マダガスカル）	126
30K-36	ブラジル国パラ州トメアス郡におけるアグロフォレストリーを活用した 水源涵養植林事業（ブラジル）	126
30K-37	ネパールにおけるアグロフォレストリー推進事業（ネパール）	127
30K-38	第2徳島烏雲の森植林事業（中国）	127
30K-39	モザンビーク共和国カーボデルガド州モリンガプロジェクト（モザンビーク）	128
30K-40	ミャンマーにおける焼畑防止へつなげるアグロフォレストリー普及事業（ミャンマー）	128
平成30年度	中央事業実施状況一覧	130

持続可能な開発目標

Sustainable Development Goals

エスディーゼーズ

SDGs

エスディーゼーズ

持続可能な開発目標 (SDGs) は、貧困や不平等・格差、気候変動などのさまざまな問題を根本的に解決することを目指す、世界共通の17の目標です。



1 貧困をなくそう

目標1 ひんこん 貧困をなくすこと



2 飢餓をゼロに

目標2 きが 飢餓をなくすこと



3 すべての人に健康と福祉を

目標3 健康であること



4 質の高い教育をみんなに

目標4 質の高い教育



5 ジェンダー平等を実現しよう

目標5 ジェンダーの平等



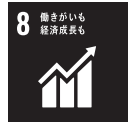
6 安全な水とトイレを世界中に

目標6 清潔な水と衛生



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

目標7 再生可能エネルギー



8 働きがいも経済成長も

目標8 適切な良い仕事と
けいざい 経済成長



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

目標9 新しい技術とインフラ



10 人や国の不平等をなくそう

目標10 不平等を減らすこと



11 住み続けられるまちづくりを

目標11 持続可能なまちと
ちいき 地域社会



12 つくる責任
つかう責任

目標12 責任を持って生産し、
消費すること



13 気候変動に具体的な対策を

目標13 きこうへんどう 気候変動への対策
たいさく



14 海の豊かさを守ろう

目標14 海のいのちを守ること



15 陸の豊かさも守ろう

目標15 陸のいのちを守ること



16 平和と公正をすべての人に

目標16 平和で公正な社会



17 パートナシップで目標を達成しよう

目標17 目標のために
協力すること

森林の整備

緑のボランティアの森記念造成事業 「フォレスト21 さがみの森」



フォレスト21 さがみの森連絡協議会

東京都文京区本郷

●事業概要

「多様性」と「継続性」をテーマとしたモデルフォレストづくりを一層推進するため、以下の活動を通じて、持続可能な地域社会の基盤となる生態系豊かな森をつくり・活かす事業の展開をめざしている。主な活動は以下のとおり。①生物多様性や地域の環境に配慮した森林造成活動。②健全な森づくりのための知識・技術のスキルアップ。③地域・企業・学校等と連携し、自然とのふれあいを通して学ぶ森林環境教育。④森林のなかでリフレッシュできる活動。

●事業成果

前年度からの除伐・ツル切り、作業道作りを続け、約130本の苗木を補植し、一部は企業向けイベントとして実施した。ヒノキ林は前年度までと同様に間伐・枝打ちを進め、順調に生育している。コナラ林は間伐し、キノコの菌打ちイベントを実施した。

●事業をよく知る関係者の声

生物多様性やレクリエーション・環境教育のための整備、企業等との連携強化など、生態系サービスに着眼してより豊かな森へ誘導してはどうか。(大学教授)

●参加者の声

- ・この森に生物多様性を感じる。木が生長し、前はいなかった生き物が見られるようになった。
- ・環境や自然を考えるきっかけとなった。(40代女性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.15ha	130本	0.3ha	2ha	171人	267人	438人
樹種：ウリハダカエデ、カツラ、トチノキ、ヤマグワ						
実施場所：神奈川県相模原市(仙洞山国有林)						



補植体験

緑のボランティアの森記念造成事業 「いずみの森21」



いずみの森ボランティアの会

大阪府泉佐野市羽倉崎上町

●事業概要

約30haの里山林は、かつて薪炭や飼料や肥料の採取地として、住民と密接に関わってきたが、1960年代の燃料革命を境に放置林となった。このため、本来の里山の姿に戻すとともに、森林ボランティア活動教育など人材育成を目的とする活動を開始した。その後、シラカシなどの植栽木のうっ閉による陽光遮断やカシノナガキクイムシの被害拡大を受けて、大径木の間伐を手がけた。

また、アカマツ枯死木はほぼ処理済となり、2年前より夏季は除・間伐や下刈り、冬季はコナラ大径木の伐倒を行っている。

●事業成果

台風被害木の処理に注力し、処理したコナラの再資源化に際し、伐倒場所→集積場所への傾斜地移送は手運びに頼っていたが、その間にロープを張り渡し、ロープに玉切り材を吊り下げて移動させる搬送を初めて試みた。今後も改善が必要であるが、被害木の再資源化には必須と考え、安全確保と省力化・効率化を工夫していく。

●事業をよく知る関係者の声

台風により発生した倒木の処理をしていただき、例年通り4月開園できた。(稲倉青少年野外活動センター職員)

●参加者の声

- ・初めて経験する作業が多く有意義な一日となった。

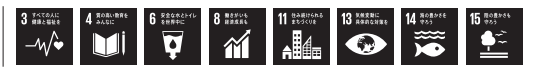
実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付本数	下刈面積	間伐面積	府内	計
13本	0.29ha	0.14ha	362人	362人
樹種：ツツジ				
実施場所：大阪府泉佐野市				



台風被害木などを伐採

「キリン千歳水源の森」整備の森づくり



北海道林業技士会

札幌市中央区北一条

●事業概要

平成19年に千歳国有林内に設定された「キリン千歳水源の森」を整備することを目的にアカエゾマツ人工林の枝打ち除伐等を実施し、あわせて森林観察を実施する。

●事業成果

キリンビール社員ボランティア参加者は、毎年、少しずつ入れ替わってはいるが、保育作業後、林内が明るくなり、達成感を持つようになってきている。また、作業だけでなく当会が作成した地域の森林の歴史や植物の説明資料については興味をもって参照しており、森林環境保全の重要性について普及啓もうに貢献していると認識している。

当事業は、当初予定では平成30年10月中旬に予定していたが、数日前の台風により、倒木により林道通行ができなくなり、キリンビールは、安全確保の観点から本事業を中止し、翌年に延期する方針に変更し、当会としてもこの決定についてやむなしとした。令和になって5月18日、アカエゾマツの保育作業を実施したが、キリンビール側の諸事情で例年実施していた森林観察は中止された。今後、当会としては森林観察については実行するべく意思疎通を図っていきたく考えている。

●参加者の声

- ・枝打ち作業を教えてもらえてよかった。(男子12歳)
- ・安全について丁寧に説明していただけたので安心して作業ができました。(女性38歳)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	道内	計
保育面積 0.2ha	61人	61人
実施場所：北海道千歳市（国有林）		



枝打ち

地球温暖化防止のための北海道の森づくり



北海道林業技士会

札幌市中央区北4条西

●事業概要

平成30年7月7日、法人の森（ENEOS）をフィールドにエネオス員等とその家族の参加により、森林散策と広葉樹二次林における天然林除伐、及び広葉樹植栽地の下刈り作業とアカエゾマツの補植作業を実施した。

●事業成果

昨年、広葉樹植栽跡地に霜害や野ネズミの被害に強いアカエゾマツを植栽したが、今年枯損木が生じていない。今年、その植栽地の標準木について成長量（樹高）の調査を行った。

また、トドマツ植栽跡地について、5m×5mの標準地を設定し、当会スタッフと参加者が共同して更新状況（樹種、樹高）を調査した。これらの事業によって、地球温暖化防止に貢献する森林の機能について普及啓発することができたものと考えている。

本年度は計画に対して予定通り実行できた。

●参加者の声

- ・約10年前からこのイベントに参加し、当初のトドマツ植栽地が不成績で憂慮していたがその後、いろんな樹木が見られるようになり、自然はすごいと思っている。(男性社員)
- ・自然観察の資料について、地球の動きからの説明はアカデミックで興味を引いた。(女性社員)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
下刈面積	除伐面積	道内	道外	計
0.1ha	0.1ha	71人	11人	82人
実施場所：北海道千歳市（国有林）				



森林観察

原村あゆみの森整備事業



原村あゆみの森実行委員会

長野県茅野市宮川

●事業概要

原村の村有林及び学校林を、ENEOS社員などのボランティア参加により、下刈り、枝打ち除伐、外来植物の駆除等の森林整備活動を行う。主な活動は次のとおりである。①作業機械に触れ、森林整備の意義を確認する。②学校林と村有林の枝打ちや除伐を実施する。③長野県林業女性グループと交流を図り森林環境教育を実施する。

●事業成果

村有林の1kmにもおよぶ景観整備が12年を経て完了し、景観的にも心理的にも満足できる達成感を得られた。リピーターも多く、次回につなぐことのできる作業となった。

本年度は、計画以上に作業効率が上がった。除伐等をチェーンソー・手鋸で実施するため、初心者や子ども連れのグループには難しい作業であったが、指導者を増やすことで、安全面に対する対策ができた。森林環境教育に関しても、班ごとに指導者を配置し、分りやすく学ぶことができた。

今後も、安全性を高め、伐採技術を有するボランティア団体との連携を密にし、十分な経過観察と保育のための体制整備や、環境教育に力を入れる必要がある。今後の課題としては、指導者の確保だ。

●事業をよく知る関係者の声

短時間での作業となるため、効率よく行いたいのが、安全も確保しながらなので指導者は多い方が良い。(林業士)

●参加者の声

・秋の活動がないのが残念です。また参加します。(60代)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.6ha	1.0ha	1.0ha	45人	110人	155人
実施場所：長野県原村					



除・間伐作業

玖珠町ふれあいの森づくり事業



玖珠郡森林組合

大分県玖珠郡玖珠町

●事業概要

企業ボランティア、地元緑の少年団の参加により自然がもたらす豊かさを体験し、自然の大切さを学びながら自然環境のすばらしさを学んでもらう。森林浴を楽しみながらみんなで癒しの空間をつくる。森林のもつ多面的機能をいかし災害に強い森林づくりを目的とし、自然がもたらす豊かさを体験し水源林の整備を行い豊かな森林づくりをすすめる。①歩道の整備、②植栽地の下刈り、③花壇の設置、④木工教室、⑤シイタケの駒打ち・伏せ込み作業。

●事業成果

今年度より新たなフィールドに変わり、1から自分達の癒しの空間をつくっていく。獣害ネットを周囲に張り、広葉樹の植栽、下刈り、歩道の整備(階段設置)を計画していきたい。シイタケの駒打ち・伏せ込みを体験し、発生したシイタケを収穫してもらう。このボランティア活動にまた参加したいと思ってもらえるような楽しめる企画を行っていく。

●事業をよく知る関係者の声

自然の中で体を動かすのは心地よいものです。一人ひとりができることは微力ではありますが、こういった各人の作業が、また森林保全に対する意識に繋がっていくことで、自然が守られるのだという気持ちになりました。

●参加者の声

・シイタケを採りに行きました。自分の顔より大きいシイタケが採れてビックリしました。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	シイタケ駒打ち	県内	計
3.94ha	100本	283人	283人
実施場所：大分県玖珠町			



歩道の整備

湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業



(公財) かながわトラストみどり財団

横浜市西区岡野

●事業概要

湯河原町の協力を得て進める企業の森は、下流には町の浄水場があり重要な水源林である。そのため、水源林として下層植生の豊かな水源涵養機能の高い森林づくりを目指すとともに、生物多様性など森林の様々な働きへの理解深める体験活動を行うものである。主な活動は、間伐、水源整備、自然観察会を行った。また、この事業は企業のCSR活動を行うために、企業の要望に沿う形で活動内容等を設定していくを目的としている。

●事業成果

活動日にはシイタケが出ているところを見ることができなかったが、その後、シイタケができ、年末の打ち合わせの時に試食することができた。自然のものなので、タイミングを合わせるのが難しい。

今年度は、活動日に台風が直撃した関係で1回活動日が少なくなったが、データ収集により、花ごよみ増改訂版の作成することができ、今後の活動時に活用していく。

●事業をよく知る関係者の声

森の活動は継続性が大事だが、企業が行うCSR活動は、活動がマンネリ化すると参加者が減る傾向にある。このあたりを踏まえて、企業との話し合いを密に行い、継続して参加者を確保できる活動にしていきたい。

●参加者の声

・ノコギリでの間伐は難しかったが達成感があった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	間伐面積	県内	計
0.04ha	1.0ha	110人	110人
実施場所：神奈川県湯河原町			



間伐体験

南足柄で進める企業の森づくり体験活動事業



(公財) かながわトラストみどり財団

横浜市西区岡野

●事業概要

この森林は、神奈川県が進める水源協定林契約地と隣接している。活動は、水源林として下層植生の豊かな水源涵養機能の高い森林づくりをめざすとともに、生物多様性など森林の様々な働きへの理解深めるため、間伐などの森林づくり活動、自然観察会等の環境教育活動などを行うものとする。また、企業のCSR活動を行うために、企業の要望に沿う形で活動内容等を設定していくを目的としている。

●事業成果

今年度は、子どもたち向けにカブトムシの寝床を作成し、4月に幼虫を捕まえることができた。また、ターザンロープやハンモックなどの設置も行い、子どもたちも森林に親しむ入口になったかと思う。大人向けには、間伐のレベルアップや経路づくりなども行った。

計画の達成面については、ほぼ達成できた。ただ短い時間での活動になるので、ゆとりのある活動メニューの作成が必要かと思った。

●事業をよく知る関係者の声

CSR活動に沿った作業内容になるように企業との話し合いを密に行い、楽しい活動にしていきたい。

●参加者の声

- ・短時間で暗い森から明るい森に変わり驚きました。
- ・樹名板付けも一生懸命にその木を探しました。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	除伐面積	間伐面積	県内	計
0.03ha	100本	0.3ha	0.3ha	155人	155人
樹種：ヒノキ					
実施場所：神奈川県南足柄市					



間伐

栗原市行者の滝周辺癒しの森林植樹計画



(特非) 森林との共生を考える会

仙台市太白区青山

●事業概要

地震被害で荒廃している土地を早期に森林に誘導するための活動である。資材置き場や土砂の仮置きに使われたため土地が固くなっている。また、雨の多い場所のため側溝整備などを行った。しかし、まだまだ側溝が必要で、石組みなどで土砂の流出を止める作業が必要である。この場所を多くの人が癒しの森として活用していくための計画書を作成した。

●事業成果

排水路を作成し植えた苗が活着しやすいようにしたが、さらに排水路が必要であることがわかり、次年度の課題となった。また、林内に遊歩道を作りたいとのことで、部分的にチップを敷き仮の歩道を作製し効果を見極めている。

●事業をよく知る関係者の声

現在の担当者はまだ日が浅く意見をお聞きするまでに関係構築ができていない。しかし、これからも植樹準備作業と植樹時は広報活動も含めて共催ということで協力関係にある。

●参加者の声

- ・これまで何回か参加しているが、参加者が高齢化しているような気がします。
- ・栗原市民の参加が少ないのは残念。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.1ha	350本	0.2ha	131人	131人
樹種：ミズナラ、ハウチワカエデ、ブナなど				
実施場所：宮城県栗原市栗駒（国有林）				



ミズナラ、ハウチワカエデほかを植樹

富士山緑の募金の森造成事業



富士山緑の募金の森造成事業実行委員会

静岡市葵区追手町

●事業概要

平成8年9月の台風7号は、富士山南東斜面に風倒木など甚大な被害を与え、本箇所は、その復旧を目的に開始された事業であり、国土緑化推進機構が提唱する「国民参加の森林づくり活動」の場として多くの森林ボランティア団体に呼びかけ、今日まで実行委員会方式で緑の募金中央事業として実施してきた。

●事業成果

今年度は、植生調査等継続するとともに、定期的に防シカ柵の巡視等を実施した。なお、区域内にシカの侵入が見られたことから、森林管理署、地元猟友会と連携してくくり罠による捕獲を実施し、十数頭の捕獲を行った。

また、企業参加による森林体験活動として針葉樹区域内のヒノキ枝打ち作業を実施した。これまでの取組によりヒノキ枝打ちは今年度で終了することができた。

10月に現地検討会を開催し、今後の森林整備の方向性等について検討を行った。シカ対策を一層強化することが必要である。また、10月に募金協賛企業による森林整備体験活動を2回実施した。

●事業をよく知る関係者の声

台風被害跡地への植栽開始から20年が経過し、ヒノキ林、広葉樹林ともに順調に生育している。シカによる森林被害をどのように防ぐかが課題である。（静岡森林管理署）

●参加者の声

- ・森林造成の現状やシカ害対策を実感でき有意義だった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
歩道整備	枝打	県内	県外	計
200m	2.0ha	82人	297人	379人
実施場所：静岡県富士宮市（富士山国有林）				



ヒノキの枝打ち

木下沢溪谷冒険の森保全活動、親子での環境教育



木下沢溪谷冒険の森の会

東京都文京区本郷

●事業概要

東京都八王子市の木下沢下流域の森林を対象に、市民の憩いの場、レクリエーションの場、多くの生物が生息する場として活用できるよう、歩道・遊歩道の整備、森林整備、生物生息環境整備を行うことを目的として、次のような活動を行っている。①歩道・遊歩道、ふれあい広場等の整備。②間伐、風倒木の処理・植樹等の森林整備。③裏高尾・木下沢溪谷連絡会議と連携した情報の共有。④森林ボランティア活動、自然とのふれあい行事の企画・提供。⑤生物多様性に即した環境づくり。

●事業成果

今年度から定例活動時の別メニューとしてプチ体験イベントを定期的実施した。新規参加者の流入促進とスタッフ側の知識向上を図り、全4回を開催し、新規7人が参加した。また溪谷周辺の生物多様性を高めるために、所有者と調整し、新たな民有林での活動もスタートした。親子体験イベントを継続して実施、リピート参加者も増加した。

●事業をよく知る関係者の声

溪谷フィールドで親子で森を楽しむ活動は稀少なので、プログラムの質を高めてほしい。(環境教育指導者)

●参加者の声

- ・木が倒れるときドスン！と重みがかすかった。(小学生)
- ・植物や昆虫をルーペを使って観察できたので、子どもたちの目がキラキラしていた。(40代女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	都内	都外	計
0.3ha	0.35ha	0.15ha	286人	25人	311人
実施場所：東京都八王子市					



親子体験会

ふるさとの森と里山の再生を通じた緑化木生産の復活プロジェクト



保内緑の里管理組合

新潟県三条市下保内

●事業概要

目的は、荒れた里山を整備し、かつての姿を取り戻し、気楽に散策できるような環境を創出し、地域の活性化に貢献するとともに観光資源としていくことである。主な活動は以下のとおり。①モウソウチクの駆除。②豪雪によって折れ倒れた支障木の伐採、撤去。③将来的に緑化木生産地の景観をつくるための支障木の伐採、撤去。

●事業成果

倒木を除去したので、遊歩道を安心して歩けるようになった。また、モウソウチクの地上1m切りを徹底したことによる今後の発生状況も確認していきたい。整備エリアを拡大していきたいので、今後の展開に役立つノウハウを経験できたことも成果の一つになった。

実際に作業して初めて分かったことも多々あるので、綿密に計画を練りながらこの事業を続けていきたい。

●事業をよく知る関係者の声

かなり環境が改善されている。園路周辺では、防犯上見通しの良い疎林化を進めることが望ましいが、臨床に生育するイチゲ、ツクバネソウ、カタクリなどの生育環境に配慮して画一的な施業は避け、公園が持つ地域の里山要素も持続すべきである。(エコロジー・ネットワーク関係者)

●参加者の声

- ・機械が使えない所が多く、作業が大変だった。(60代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付本数	下刈面積	除伐本数	県内	計
5本	0.5ha	222本	33人	33人
樹種：サクラ				
実施場所：新潟県三条市				



モウソウチクを駆除

岡山水源の森整備事業



グリーンOB会

岡山県津山市福田

●事業概要

アカマツが枯れた里山を、豊かな生態系とし、美しい景観を有する森林に誘導し、保水機能の高い森林を作るため、枯れ木の伐採、歩道整備、刈払いなどを行った。

●事業成果

企業合併などの事情により、本年度はイベントはなく、管理・保全作業のみを実施した。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	作業道刈払	県内	計
0.47ha	0.8km	5人	5人

実施場所：岡山県美咲町（大戸山国有林）



下刈り

岡山県日本リスの森整備事業



グリーンOB会

岡山県津山市福田

●事業概要

岡山県の森を保全し、人と森とが共生する文化の創造に資する。

里山を豊かな生態系と美しい景観を有する森林に誘導するための地拵え、植付、下刈り、ツル切り、間伐、遊歩道作設などの森林作業を行う。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
境界刈払 600m	5人	5人

実施場所：岡山県美咲町（中山国有林）



遊歩道整備

「大阪府ENEOS友好の森」森林整備事業



大阪府森林組合 南河内支店

大阪府河内長野市高向

●事業概要

手入れが行き届かない私有林(スギ、ヒノキ)をノコギリを用いて除伐作業を行った。その際、専門家の指導を受け、整備するために必要な道具の扱い方を覚えてもらった。また、作業中に森林に関する話をしながら作業を行ったので、自然を守る意識も向上することができた。子どもたちには木工作で木材の良さを体験してもらった。

●事業成果

今回の活動は前年度以前からの作業を引き継いだ形になるが、活動者のメンバーが増え多くの方と活動ができた。

今回も多くの方々が参加され、間伐作業を行った。今回の作業も安全に十分配慮して行ったので、ケガなどはなかった。普段山に入る事のない街に住んでいる人たちが数多く参加され、山を守る気持ちを持ってもらった。

木工教室で子どもたちにも木材に触れてもらえた。

●事業をよく知る関係者の声

親子で木工は良い体験になったことと思います。間伐では、ノコギリの引き方に苦勞されたり、木を倒すためにロープを引く際に斜面で足場が悪く力が入らないという声が聞こえました。いずれも体験して初めてわかり、良い経験であったと考えています。(行政担当者)

●参加者の声

・指導員が丁寧に作業を教授してくださり、今までしたことがない事が楽しく、達成感を得られた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
除伐面積	間伐面積	府内	計
0.7ha	0.7ha	90人	90人
実施場所：大阪府太子町			



間伐体験

みんなのSDGsのMORIと社会づくり事業



(特非)宮城県森林インストラクター協会

宮城県宮城郡利府町

●事業概要

団体・地域のボランティア・学校・協力企業等の協働により、レクリエーション林の再生や有用材の植林・育樹や、森林保全や林業の重要性を普及・啓発することを主目的とする。また、SDGsの視点から、多様な主体の参加による森づくりや木づかいをテーマに企業との連携や、森林ESDを図る学校等との協力により、様々なボランティア活動モデルを実践し、社会に配信していくことをめざす。

内容としては、植林活動や地域森林ボランティアの育成、遊歩道材等への間伐材有効活用、子どもを対象とした環境教育・減災教育活動、ナラ枯れ被害調査とその処理など。

●事業成果

今年度は地域の児童館の子ども達による森づくりを行い、学校だけではなく新しい形の団体での森づくり活動のモデルをつくることができた。地域森林ボランティアの育成や当協会員向けの研修は昨年以上の回数を実施した。

●事業をよく知る関係者の声

・自然体験をさせたいという児童館や学校は多々あると思う。そういった団体にも積極的に声をかけ、活動を活性化させてほしい。(利府町西部児童館館長)

●参加者の声

・整備が進んで楽しめる場所になってきている。多くの子ども達に来てほしい。(協力企業社員)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.22ha	298本	4.5ha	0.25ha	696人	79人	775人
樹種：キハダ、コブシ、ミズキほか						
実施場所：宮城県利府町(県有林)						



キハダ、コブシ、ミズキほかを植樹

「赤西溪谷・水源の森」保全事業



(特非) ひょうご森の倶楽部

神戸市中央区中山手通

●事業概要

企業および森林管理署と協働して森林整備や教育研修などを行うことにより、環境林、水源かん養林を保全するとともに、合わせて自然保護、生物多様性について理解を深めることを目的とする。主な活動は以下のとおり。①スギ人工林の間伐、間伐材を利用したテーブル・ベンチ製作、遊歩道の補修整備、植樹地の下刈りなど。②森林環境教育。③木工クラフト体験、樹木名札取付けなど森のめぐみを楽しむ活動。④民間団体会員の環境学習ツアー、およびNPOや関係する環境ボランティア団体会員の環境学習ツアー。

●事業成果

基本的には、前年度までの活動を継続したが、新たな取り組みとして、前年度に豪雨や台風などによる流木・倒木などで被害を受けた活動拠点の広場や遊歩道の修復整備と、間伐スギ材を利用したテーブル・ベンチ作りなどに取り組んだ。また、関係団体の環境学習ツアー、NPO主催で会員や関係団体を対象に環境学習ツアーを実施した。

●事業をよく知る関係者の声

毎回、森をよく知る方々から動植物や活動の環境保全における意義について説明を受けることもでき、貴重な機会となっている。(企業の活動企画担当者)

●参加者の声

・安全第一で作業することが重要であることがよく分かった。(20代新入社員)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
3本	0.2ha	0.5ha	211人	141人	352人
樹種：エドヒガン					
実施場所：兵庫県宍粟市（赤西国有林）					



下刈り

水源地保全活動

美和木材協同組合

茨城県常陸大宮市鷲子

●事業概要

目的は、水源涵養機能アップのための活動で、主な活動は以下のとおり。①歩道整備や林内刈払といった林内整備、②ボランティアによる間伐、③ボランティア参加者の子どもを対象にした森林教室や木工クラフト。

●事業成果

初めてボランティアに参加したという人もいたが、今まで何度か参加している人もいた、何度も来ている人は、ここに来て林内作業をするのが楽しみという人もいて、その人たちは、森林整備の大切さをしっかりと理解していた。

間伐は実施したが、ボランティアの人たちは、普段森林整備とは全く縁のない仕事をしている人たちなので、グループごとに指導員をつけ、ケガのないよう気を配りながら行った。森林整備の大切さは理解してくれたと思う。来年度以降も混んでいるところの間伐を実施したい。

●事業をよく知る関係者の声

ボランティアを募り、森林整備の大切さを理解してもらい、森林整備活動への参加意識の向上に繋がることを実施するのは、大変いいことだとは思いますが、ボランティアに参加する人は、普段森林整備とは関係ない仕事をしている人たちなので、間伐のような熟練をようするものよりも下刈などのほうが良いのではないかと。(林業)

●参加者の声

・汗をかき体にいいことをした。(20代男性)
 ・考えていたよりも大変な作業だった。(30代男性)
 ・間伐することで山の健全さを維持できることが分かった。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
間伐面積	下刈面積	県内	計
0.6ha	0.6ha	40人	40人
実施場所：茨城県笠間市北山（国有林）			



間伐

明治150周年記念植樹祭



(公社) 千葉県緑化推進委員会

千葉県袖ヶ浦市長浦拓

●事業概要

目的は、明治150年を記念して人工林の伐採跡地へ県民参加へによる植樹祭を行うことにより、参加者に、森林の公益的機能や森林資源の循環利用への理解を深めてもらうことである。主な活動は以下のとおり。①花粉対策スギのコンテナ苗の植栽、②植樹会場周辺の健全で緑豊かな森林の視察、③緑化運動の歴史と成果を紹介するパネル展示。

●事業成果

新たな技術であるコンテナ苗の植樹とともに、健全な人工林の視察やパネル展示を行うなど充実した内容となったことから、参加者の評価も高かった。今後の各種緑化運動の実施方法の参考としていきたい。

植樹祭は事故もなく、ほぼ計画どおり実施ができた。

充実した内容とすることができたと考えているが、植樹作業自体は、コンテナ苗であったこともあり、作業量としては少なかった。

●事業をよく知る関係者の声

使われている木材がどこでどのように育ち生産されているかを知ることが大事だと思う。(木材業者)

●参加者の声

- ・パネルを見て、かつてははげ山が多かったことに驚いた。(50代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.6ha	1200本	96人	96人
樹種：スギ			
実施場所：千葉県富津市			



スギ(コンテナ苗)を植樹

企業との協働による「高梁美しい森」 森林整備事業



(特非) フォレストフォーピープル岡山

岡山県高梁市落合町

●事業概要

高梁美しい森(市有林)内に(企業の森「ENEOS未来の森」)として、約8.5haの活動対象森林が設定されたことから、10年計画で森林保全活動を実施することにしており、今期は下記の通り森林整備活動を行った。①JXTGエネルギー社の社員とその家族及び地域住民と協働し、『ふれあいの森』エリアの整備。この『ふれあいの森』は、地域住民等との交流の場として活用する。②環境保全活動だけではなく、自然観然会等もあわせて実施し、参加者が自然に親しみ自然を育む心を醸成する。

●事業成果

今期は、森林組合等のプロの方にも参入していただくことで林内の危険木や、雑木の処理が飛躍的に進み、安全に楽しめる区域が広がった。森作りに必要な継続的な作業にも随分と慣れた参加者が増え、継続的に繰り返し行う作業に対する理解が深まってきている。

●事業をよく知る関係者の声

一般の地域住民も参加する事業へと発展してほしい。(企業関係者)

地域の子どもたちが参加できるものになると、素敵な未来の創造へとつながる。(ボーイスカウト関係者)

●参加者の声

- ・森林整備だけではなく、子どもたちも楽しめる自然体験活動もあるので、家族でも参加しやすい。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
下刈面積	間伐面積	遊歩道整備	県内	計
1ha	1.2ha	40m	405人	405人
実施場所：岡山県高梁市(高梁美しい森)				



雑木林整備

和木町協働の森づくり事業



和木町里山研究会

山口県玖珂郡和木町

●事業概要

「豊かで美しい森林づくり」と「地球環境の保全」を目的とし、和木町里山研究会が主体となってJXTGエネルギー株式会社麻里布製油所の社員や家族OB及び和木町や山口県の職員ボランティアと協働で和木町有林約7haの整備を平成23年継続している。

●事業成果

新たな試みとしてタケへの薬剤注入を行った。和木町でもタケの繁茂が大きな問題となっていて、ヤマモモ園に侵入し始めている。タケは皆伐しても翌年にはまた生えてくるので、完全に除去することが非常に困難である。そこで、この度新たな試みとして薬剤注入を行って根から枯らすことにした。タケに穴を空け除草剤を注入し、ガムテープで蓋をした。タケが徐々に枯れているので効果があったと感じている。

●事業をよく知る関係者の声

多くの人が協働で森林整備を行うことにより、森林の持つ機能や恵みを実感することのできる素晴らしい事業である。今後も継続して実施し、行政だけでは対応が難しい森林整備を行うことにより、豊かで美しい森林を残していくことができると考える。(町職員)

●参加者の声

- ・来年、枯れているか確認したい。(20代男性)
- ・毎年ヤマモモ園の草刈りをして翌年には草が繁茂している。草の生命力に感動しながら汗をかいて草刈りしている。(30代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	シイタケ植菌	県内	県外	計
2.0ha	1.0ha	50本	144人	25人	169人
実施場所：山口県和木町					



ヤマモモ園での草刈り

さいたまの森林づくり支援事業

(特非) 埼玉森林サポータークラブ

さいたま市浦和区高砂

●事業概要

県内において森林ボランティア体験事業(植樹、間伐、下刈り)を実施する企業や学校等に対し、安全に活動できるよう支援・指導する。これにより地球温暖化防止のための森林整備が進み国民参加の森林づくり運動に寄与することを目的とする。

●事業成果

高校生や小学生が安全に森林活動をすることができた。初めて間伐・植樹をした参加者がほとんどであったが、森林の働きについての理解を深めてもらうことができた。

●事業をよく知る関係者の声

都市部の方々が森林整備活動を体験することは、森林づくりの大変さとともに、身をもって森林の大切さを知るよい機会である。また、山村部に住む小学生も、生活環境の変化等で自然体験の機会が少なくなっており、このような活動は森林への興味をもつきっかけとなる。(緑推関係者)

●参加者の声

- ・木を伐るのが大変だったがとても楽しかった。枝が折れる時にパチパチという音が印象的だった。(小学生)
- ・初めての枝打ちや間伐作業はとても難しく大変だったが、お土産にもらったヒノキの皮をむいたらとても良い香りがして気持ちがよかった。(高校生)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
1.4ha	139本	3.8ha	295人	295人
樹種：ヤマザクラ、コナラ、イロハモミジ、ヤマグリ、アカマツ				
実施場所：埼玉県桶川市、三芳町、越生町、長瀬町、小川町				



ヤマザクラ、コナラほかを植樹

多摩動物公園 雑木林 いきもの豊かな里山の森づくり



(特非) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区神田小川町

●事業概要

多摩動物公園内にある雑木林は、動物公園の設立によって開発は免れたものの、人の手が入らなくなることで木々は大木化し、常緑樹やササで覆われた森となってしまった。本プロジェクトでは、従来の里山環境の復活と生物多様性保全を目的に、多摩動物公園内雑木林「ライオンの森」にて、以下の整備活動および体験活動を実施した。①大径木の伐採によるギャップづくり。②ササ刈と落ち葉だめづくり。③多摩動物公園との協働による整備された森での生物多様性を学ぶ自然体験プログラム。

●事業成果

多くの手で広い範囲のササ刈を進めることができた。さらに今年度は、課題となっていた大径木の伐採をすることができた。これまでの環境整備により林内の環境が安全かつ利用しやすい森になり、多摩動物公園との協働プログラムとしての体験プログラムを実施。多くの来園者に森の魅力を感じていただくことができた。

●事業をよく知る関係者の声

参加者も学びの多い体験となった。(企業関係者)

安全に子どもたちが自然と触れ合い、生きものを探す場所となって感謝している。(多摩動物公園担当者)

●参加者の声

・普段入れない森に入って、虫を見つけた時の子どもの表情がとてもいいことに驚いた。(30代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	除伐面積	都内	計
0.2ha	0.3ha	264人	264人
実施場所：東京都日野市			



広葉樹の伐採

木曽川・やおつ水源の森づくり活動



やおつ水源の森づくり実行委員会

岐阜県加茂郡八百津町

●事業概要

木曽川流域に生活する住民に潤いと安らぎを与える自然豊かな水源の森を整備し、水源涵養機能を充実するとともに森林生態系や生物多様性について学ぶことを目的としている。名古屋駅前高層ビル群や奥三河の山々が一望できる高原を会場とし、キリンビール(株)名古屋工場の従業員と家族や流域に生活する地域住民及び地元住民が協力し、サクラの間伐、遊歩道の補修作業、下刈りなどの活動を行うとともに間伐材を利用したクラフト体験などを実施した。

●事業成果

今年度も引き続き、下刈りや間伐活動など水源の森の保全・整備に努めた。地域住民とキリンビール名古屋工場からの参加者との交流も、間伐作業体験やクラフト体験を通して実施した。また、本年もサクラの育樹講習会を実施、参加者の皆さんの森林整備への意識向上につながった。

●事業をよく知る関係者の声

多数の参加者が作業するので安全面の配慮に今後も心がけてほしい。(地域ボランティア参加者)

クラフト体験もあり、参加者に楽しんでもらえた。(キリンビール工場からの参加者)

●参加者の声

- ・スプーンやフォーク作り体験が楽しかった。(10代男性)
- ・下刈り作業に参加した。大人数でやると広範囲ができて気持ちがいい。(60代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
20本	8ha	1.0ha	132人	80人	212人
樹種：ウメ					
実施場所：岐阜県八百津町					



下刈り

3.11 復活の森づくり ～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業



(特非) 森のライフスタイル研究所

長野県伊那市荒井

● 事業概要

津波被害を受けた千葉県山武市蓮沼下海岸防災林の復興を進めて、被災地住民の生活環境の回復を図るとともに、それを通じて「海岸防災林と住民との共生」を創り直すこと、ボランティア活動の継続性の向上である。主な活動は、①津波の浸水により塩害を受けて枯れてしまった木々の撤去とチップ処理と敷き詰め及び転圧、②植える位置のマーキング、③海岸林に適した樹種（抵抗性クロマツ）の植林。

● 事業成果

海岸林の造成の継続性のためには、地域（県内）からの参加が好ましく、活動の現地化が鍵となる。今年度は、県内の比率が1割アップした。

大災害から8年となり、津波被害が風化傾向にあるなかで、約100人が集い、地域の安心安全を担う海岸林の造成にチカラを貸してくれたことは高評価と思う。

今回からコンテナ苗となり苗木の単価が3倍となった。

● 事業をよく知る関係者の声

市民ボランティアの熱意で行ってきた活動としては進捗ではなかろうか。一部、枯れた苗木もあるが、活着率も高く、順調に海岸林が再生されている。(樹木医)

● 参加者の声

・思い出の土地でボランティアができ感慨深い。(30代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	地拵え	県内	県外	計
0.2ha	2000本	0.2ha	53人	35人	88人
樹種：抵抗性クロマツ					
実施場所：千葉県山武市（県有林）					



クロマツを植樹

「全労済の森・宮城」海岸防災林再生の森づくり事業



(公社) 宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

● 事業概要

東日本大震災により被害を受けた岩沼市沿岸域の海岸防災林について、その再生に向けて地域住民等との協働により植樹活動を行いながら、失った「みどり」の重要性やその働き等への理解と関心を深めてもらい、海岸防災林再生に対する気運の醸成と、「みどりの文化」の普及啓発を図る。

● 事業成果

参加した団体、個人、企業は、単なる森づくりではなく、海岸防災林の歴史やその役割などを認識し、その重要性を学んでいた。

今回の植樹活動参加団体（全労済）は、当該地での海岸防災林再生に向けた森づくり活動について、向こう5ヶ年計画で取り組むこととなり、国土緑推と宮城県緑推の三者で協定を締結し、植栽だけにとどまらず、その後の保育管理作業についても行き、これらの活動を通して海岸防災林に関する歴史や被災の状況などを深く学習するに及んだ。

● 事業をよく知る関係者の声

今回初めて除草作業を一部の参加者が行ったが、その作業に大変苦労されていた。今後は、成林に向けた保育が重要であることから、その作業に積極的に取り組んでいただきたい。(植樹活動支援者)

● 参加者の声

・作業は大変だが、早く育つためにも活動に励みたい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植栽面積	植付本数	保育面積	県内	計
0.158ha	791本	0.169ha	44人	44人
樹種：クロマツ				
実施場所：宮城県岩沼市（市有林）				



クロマツを植樹

旭復興事業2018



(公社) 千葉県緑化推進委員会

千葉県袖ヶ浦市長浦拓

●事業概要

東日本大震災により被害を受けた旭市において、津波や松くい虫等の被害により枯損や無立木化した海岸林の再生を図るため、植樹による森林の造成を行った。

森林やみどりづくりの大切さについての普及啓発を図るため、地元小学生による植樹会を開催した。

●事業成果

震災から8年が経過し、当時の記憶が薄れつつあるなか、海岸保安林の植樹を行うことにより、地域住民が改めて海岸保安林の重要性を思い起こすきっかけとなった。市では、小学生への防災教育の一環と考えている。

森林づくりの大切さや津波への防災意識の高揚などを図るうえで、引き続き地域住民や子どもたちとの植樹会を実施することが重要と考えている。

また、植樹した箇所を適切に維持管理を行うことで、健全な海岸保安林の育成を図っていく。

反省点としては、植樹を実施できる時間が少なく、進行が慌しくなってしまった。

●事業をよく知る関係者の声

毎年植樹会が開催され、保安林が再生されつつあると実感している。今後も事業を継続してほしい。(近隣の住民)

●参加者の声

・土が軟らかくて、植えるのが思ったより大変だった。(小学生)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.064ha	490本	27人	27人
樹種：クロマツ、マサキ、トベラ			
実施場所：千葉県旭市			



小学生による植樹

震災復興植樹祭 INさんむ



(公社) 千葉県緑化推進委員会

千葉県袖ヶ浦市長浦拓

●事業概要

東日本大震災に伴う津波や松くい虫等の被害により無立木地化した海岸保安林へ、松くい虫に強い抵抗性クロマツを植樹する活動を通して、山武市中下海岸の海岸保安林の早期復興と青少年の健全育成や森林環境教育の推進を目的としている。

活動内容は、山武市青少年育成市民会議に属する市内団体・PTAが連携し、「震災復興植樹祭 INさんむ」を山武市蓮沼の中下海岸で開催。

●事業成果

今年度より、植樹するクロマツの苗をコンテナ苗へ変更した。それにより、植樹が簡素化・効率化され子どもや高齢の参加者も簡単に植樹を行うことができた。また、県外よりライフセーバーの参加があり、参加者のさらなる広がりを感じた。

一般参加者が毎年減少傾向にあるため、募集方法について改善が必要である。一方で、県外より、ライフセーバーの参加があったことから参加者のさらなる広がりも感じた。

●事業をよく知る関係者の声

植栽基盤整備やコンテナ苗の利用により植樹がしやすくなっている。植樹方法については、スタッフ同士の打ち合わせが必要と感じた。(山武市青少年育成市民会議委員)

●参加者の声

・子どもが大きくなったら、一緒に見に来たい(30代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.21ha	2000本	212人	212人
樹種：クロマツ			
実施場所：千葉県山武市			



クロマツ(コンテナ苗)を植樹

白子町海岸保安林整備事業



(公社) 千葉県緑化推進委員会

千葉県袖ケ浦市長浦拓

●事業概要

目的は、津波や松くい虫等の被害で無立木地化した海岸保安林において植樹を行うことにより、潮風や飛砂等に対する遮へい効果を高め、防災機能の強化や生活環境の保全形成を図るとともに、参加するみどりの少年団員が、海岸林の重要性や森林の大切さの理解を深める機会とすること。

主な活動は以下のとおりである。かん木等が生えやぶとなっている斜面地を植栽ができるよう整備し、林業事務所指導の下、みどりの少年団(中学生)による松くい虫に強い抵抗性のあるクロマツを植栽する。

●事業成果

新たな場所に植樹を行い、次代の保安林を増やすことができた。今年度は白子中学校の全面協力により、全学年対象としていただいたことで参加者の増加となった。

緑化の推進及び保安林としての防災機能・保健機能を強化することができた。

反省点として、コンテナ苗を用いての植樹が初めてだったので、不慣れな部分が出てしまった。

●事業をよく知る関係者の声

初めてコンテナ苗を用いて植樹を行ったが短時間で植えることができた。中学生たちは道具の使い方に最初は苦戦していたが、協力しながら取り組んでいた。(町職員)

●参加者の声

・今回植えたクロマツが大きく育ってほしい。(中学生)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.1ha	1000本	186人	186人
樹種：クロマツ			
実施場所：千葉県白子町(県有林)			



クロマツを植樹

「荒浜潮除須賀松の森」植樹事業



(公社) 宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

東日本大震災により壊滅的な被害を受けた海岸防災林について、その再生に向けて地域住民等との協働により植樹活動を行いながら、失った「みどり」の重要性やその働き等への理解と関心を深めてもらい、海岸防災林再生に対する気運の醸成と、「みどりの文化」の普及啓発を図る。

●事業成果

これまでの活動がメディアを通して周知され、活動に参加を希望する問合せや相談が寄せられたほか、民間企業からは、海岸防災林再生に向けた活動を支援するための寄付金の申し入れがあった。参加された団体、個人、企業は、単なる森づくりではなく、海岸防災林のこれまでの歴史やその役割などを認識し、その重要性を学んでいた。特に次代を担う子どもたちが主体となった活動では、環境・防災教育の一環としても位置づけ多くのことを学んだ。

●事業をよく知る関係者の声

東日本大震災を経験していない子どもたちにとって、近隣にあった海岸防災林の歴史やその意義なども理解し、大いに役立った活動でした。(小学校教員)

●参加者の声

・苗木が大きくなるのに50年、100年以上要することに驚いた。成長して防災に役立ってもらいたい。(30代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.51ha	2545本	345人	10人	355人
樹種：抵抗性クロマツ				
実施場所：仙台市若林区荒浜				



クロマツを植樹

ラグビーワールドカップ2019開催を ステップとしたコミュニティの再生を 目指す大槌湾海岸防災林植樹事業



(特非) 環境パートナーシップいわて

盛岡市厨川

●事業概要

RWC2019会場に隣接した根浜地区の海岸防災林の植樹と植栽を軸とした景観を創造し、大槌湾に面したエリアの海岸防災林の植樹を広げることで、震災後失いかけた地域コミュニティの再生をめざしている。

内容は、①根浜海岸林再生実行委員会により行政と地域住民の橋渡しを進め、②実行委員会の呼びかけにより、根浜海岸において海浜植物の植栽を行った。また③地元で採れたクロマツ及び海浜植物の種子から、岩手県立大学および地元の中学生の協力のもと苗木を育て、④中学校の授業で、震災後の三陸海岸と海岸林・海浜植物と恵まれた自然環境について学んだ。⑤県内の海岸林再生の植樹活動に交流参加した。(のだ千年の松植樹会)

●事業成果

釜石東中学校との連携が3年目を迎えた。新入生の海岸林授業や、2年生による海浜植物の種まきやクロマツのポット移植、11月には全校生徒での清掃活動～移植を行った。

●事業をよく知る関係者の声

子どもたちの活動を見て、自分たちの地道な活動がここまで来たんだという感慨がこみ上げた。(70代男性)

●参加者の声

・海岸林とずっと暮らしてきた人たちの思いを聞くことができた。(中3男子)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付本数	種まき	県内	県外	計
200本	4種	211人	6人	217人
樹種：クロマツ				
実施場所：岩手県釜石市（根浜海岸）				



海岸林での除草作業

市民参加による北進の森復活事業



(特非) はやきた子どもの遊び場づくりネットワーク

北海道勇払郡安平町

●事業概要

目的は、震災によって崩れた森の復旧および復興。主な活動は、風倒木・震災によって大きく崩れた箇所を重機および馬搬での作業を行い、北進の森の周回路をつくること。また、作業によって出た材料を薪にしたり、森の活動に活かせるものへと変換すること。馬搬などに関しては、安平町の元々の文化継承を図るとともに、作業を共にすることで森への関心・市民参加を促すこと。大きく崩れた箇所の1箇所を試験的に植林地に開墾するプロジェクトを組むことで、自然の回復をサポートするモデルを考えること。

●事業成果

馬搬での作業を行うことで、町民を始め多くの人に関心を持ち、森に足を運んでくれ、森の整備を一緒に行うことができた。周回路ができることで、町民にとって森へのアプローチが広がった。

植林は、産官学の繋がりで活動を盛り上げていけることになり、レガシーを活かした森づくりの起爆剤となった。

●事業をよく知る関係者の声

今回は周回路という形ではあったが、北進の森の今後の整備(森づくり)の視点に立つと、今回は次の可能性を見出す機会になった。(森の整備に深く関わった方)

●参加者の声

・馬ですすむ森づくり、重機と違った静かさや、馬が木を運ぶ道が周回路として「道」になっていく様子に感動した。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	除伐面積	道内	計
2ha	2ha	108人	108人
実施場所：北海道安平町			



馬による木材搬出

森と街を繋ぐ森の循環プロジェクト



(公社) 北海道森と緑の会

札幌市中央区北3条西

●事業概要

目的は、豊かな森林を未来の世代に受け継ぐため、林業に関わる人だけではなく、広く一般の人たちとともに、「植えて、育てて、利用して」「また植えて、また育てて、また利用する」といった『森林と暮らす』循環の仕組みをつくっていくことである。おもな活動は、①植えて育てる植樹等の森づくり活動。②木と触れあい木を使う木育活動。

●事業成果

自然災害の影響により園児たちが参加できなかった活動への参加意欲は高いなど、森づくりや木育への関心の高まりを感じた1年だった。また、間伐に対する理解が深まるとともに、間伐材利用の促進が図られた。

●事業をよく知る関係者の声

子どもたちは、自然との触れあいや木育体験を通じて自然や木の大切さを感じることができた。(保育園関係者)

毎年、楽しみにする親子も多くなり、新たな体験の工夫や連携強化を図り、継続実施していきたい。(連携団体)

●参加者の声

- ・植樹への関心が高まっており、ぜひ、親子で参加したい。(園児保護者)
- ・木に親しめる楽しい一日を過ごすことができた。

実績取りまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	道内	計
0.3ha	155本	0.5ha	1750人	1750人
樹種：ヤチダモ、シラカンバ、ミズナラ、ハルニレ、トドマツほか				
実施場所：札幌市、美唄市、長沼町、千歳市ほか				



トドマツほかを植樹

札幌市澄川都市環境林に於ける外来種ニセアカシア侵入地域の復興事業



(特非) 北海道森林ボランティア協会

札幌市豊平区平岸

●事業概要

①7.5haは、ニセアカシア伐採後にできたギャップ地16カ所に230本の広葉樹、針葉樹を植栽して郷土樹種豊かな森をめざす。②長年放置されていた3.1haは急勾配の地である事と十分な作業道整備もできない現状を踏まえ、自然発生の実生に期待して最小限の整理間伐に留め切り捨てた材は肥料木とし放置する事を決めた。③8.1haは作業道整備と右精進川に2カ所にわたり木道設置調査を行いこの地の作業効率化に繋げていく。多様性を保持したバリエーションのある森に育てていきたい。

●事業成果

長年放置されていた3.1haは最小限の整理伐にとどめ実生の自生に期待できる環境は整った。植栽した地区と実生を期待した地区の多様性のある森への整備は進んでいる。

●事業をよく知る関係者の声

65haもある広いエリアを計画に沿ってよく整備されている。さらに安全・安心な森として整備に期待している。訪れる小学生、ボランティアが自然体験で親しんでもらえるよう、さらに環境整備をしていく。(札幌市みどりの管理課)

●参加者の声

- ・非生産的であったがチェーンソーは使わず参加者全員が手鋸で直径10cm以下の小径木の整理伐は楽しい作業でした。
- ・自生するコクワの実が美味しかった。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	道内	道外	計
0.3ha	323本	7ha	3.6ha	107人	1人	108人
樹種：ミズナラ、ヤチダモ、ハルニレ、ケヤマハンノキ、カツラほか						
実施場所：札幌市南区						



遊歩道整備

広葉樹施業の担い手を育てる自伐 林業家養成事業



北海道自伐型林業推進協議会

北海道白老郡白老町

●事業概要

北海道の森林率約6割を占める広葉樹林の適切な森林経営の担い手を育てるのが事業の目的。その手法として小規模・低コスト施業を実現できる自伐林業の研修会を実施した。研修内容は、①選木研修(育成木施業)、②伐倒・造材・搬出研修、③作業道研修(理論と路線設計)、④作業道研修(敷設)、⑤施業相談(経営・展開)等である。

●事業成果

札幌市で開催ができた事が大きい。そのため、毎回とも参加定員をほぼ満たしている。選木研修では育成木研修を取り入れ、優良大径材に木々を育てるノウハウを学んだ。また、広葉樹林における伐倒・造材、搬出。作業道敷設の手法を学ぶ事ができた。

予定していた研修は全て実施できた。9月の北海道胆振東部地震により、2日間の研修が中止になり、11月に延期になった。気象や災害により大きく日程が変わったが、予定していた研修は達成できた。

●事業をよく知る関係者の声

今回の担い手育成に派生する形で大山林所有者と山守システムの検証を進めていく足がかりとなりそうであり、継続して研修事業を実施してほしい。(地権者)

●参加者の声

・毎回講師陣が異なり変化があり良かった。また、参加者の交流ができてよかった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
間伐面積	作業道	道内	計
0.5ha	50m	138人	138人
実施場所：札幌市			



選木研修

山林と暮らしを結ぶ 「薪割りランド事業」



薪割りランド研究会

岩手県花巻市大迫町

●事業概要

目的は、長年放置され、ナラ枯れ病の脅威にさらされている里山広葉樹林を伐採・再生し、伐採した材を地域の薪ユーザーの参加により利用する、森と暮らしの結び付きを取り戻すための里山保全活動を行うことである。

主な活動は以下のとおり。①広葉樹伐採技術講習会。②ツル切りや倒木等の除去。③里山広葉樹を皆伐せずに伐採・更新。④林地攪乱を最小限に抑えるための搬出技術の研修と実証。⑤地域の薪ユーザーの参加による薪材利用イベント。⑥広葉樹の萌芽や実生による確実な更新。

●事業成果

萌芽による確実な更新が得られる「群状択伐」による薪炭施業に目途をつけることができた。また、馬搬やロープウインチ等を活用することにより、素人に近い薪ユーザーでも、広葉樹材を林道まで搬出することができたことから、今の里山広葉樹の利用拡大の可能性が広がった。人的交流の広がりにより、安全意識や技術力の向上が図られた。

伐採を委託したNPOや作業協力いただいた里山の会等との交流は、安全対策や技術の向上に大変役立っている。

●事業をよく知る関係者の声

広葉樹を皆伐せずに群状に伐採しても萌芽更新できることは素晴らしい。(林業NPO関係者)

●参加者の声

・丸太を道路まで運び出すことの大変さがよくわかった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
伐採・造材	丸太搬出体験	県内	計
1 ha	8回	137人	137人
実施場所：岩手県花巻市大迫町			



馬搬研修会

松枯れ対策プロジェクト2018



(特非) 遠野エコネット

岩手県遠野市附馬牛町

●事業概要

目的は、深刻な問題となっているマツ枯れの被害拡大防止を図ること。また、伝統的な炭焼き技術の伝承を図ることであり、その主な内容は次のとおりである。①遠野市内の山林でアカマツ林の除・間伐と搬出。②伝承園にて地元高校生と「炭焼き窯づくり」とその窯での炭焼き。③地元の高校と伝承園と共に、マツ炭や木酢液の魅力発信と新たな商品化に向けて調査・研究。④秋田県立大学森林化学研究室「炭焼きで夕日の松原まもり隊」を訪ね研修。⑤ホームページで森林整備や松くい虫被害拡大防止PRをした。

●事業成果

市内の観光施設「伝承園」内に地元高校生と共に炭窯を復活させることができた。また、高校生には、マツ枯れ対策事業の目的を理解した上で、地域の伝統的な技術である「炭窯づくり」や「炭焼き」の体験を通じた研修を行う事で、森林への理解と木炭文化の伝承が果たせた。また、マツ材の有効活用策として、炭材以外にも、バイオマス施設や製材所などへも供給し、新たな活用方法が見つかり、今後のマツ林の整備にもつなげることができた。

●事業をよく知る関係者の声

行政だけでは手が回らないところを活発にやっていただいている。(県南広域振興局遠野農林振興センター課長)

●参加者の声

- ・炭窯をつくるのは、とても大変なことだと分かりました。新しくつくった炭窯で、良い炭を焼けるよう頑張りたい。(高校3年男子)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
間伐面積	炭窯づくり、炭焼き	県内	計
5ha	10回	270人	270人
実施場所：岩手県遠野市			



高校生と一しょに炭窯づくり

間伐材の資源化プロジェクト



(特非) いわて森林再生研究会

盛岡市上田堤

●事業概要

目的は地球に負荷をかけない木質資源の活用拡大に寄与すること。

主な活動は間伐材の活用でボランティアによる持続可能な森林整備の実現をめざす事業である。間伐材資源化と活用法の啓発として、伝統的な製炭法を実践するとともに多面的な木質資源の利用を習得する研修会、体験会を行う。

●事業成果

間伐材62m³を資源化して活用した。地球温暖化防止のCO₂削減52トン。間伐材から薪づくりをして23m³をバイオマスエネルギーとして資源化した。地域伝統の南部炭窯で製炭法を習得して間伐材から450kgの黒炭に資源化した。簡易製材の研修会と木工教室を開催して、良質間伐材を用材に加工して木製品を制作した。3m³の間伐材からほだ木をつくり、植菌による栽培技術を研修した。

資源化した間伐材は62m³。利用間伐面積は2haだった。製材に向かない間伐材の活用を広げることが今後の課題だ。

●事業をよく知る関係者の声

炭焼きや製材は地域で体験できる情報がないので貴重な機会だ。活動内容の周知や参加できる機会が多ければもっと参加者が増えるのではないか。(会社役員)

●参加者の声

- ・炭焼きに初参加した。木材の窯詰め、切炭作業は興味深く楽しい作業だった。(50代男性)
- ・板材を持ち帰り書店の棚に使った。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
薪づくり炭焼き研修	キノコ栽培	県内	計
7回	3m ³	234人	234人
実施場所：盛岡市			



薪づくり

森林の整備 (地震で崩落した山林の再生事業)



森のなかま

宮城県黒川郡大和町

●事業概要

目的は、岩手・宮城内陸地震（平成20年）で崩落した山林2haの再生である。東日本大震災があった平成23年にその震災で被災した三陸の被災団体4団体と地元栗原市の親子によって復興を祈願し700本の広葉樹を植樹したのが始まり。以降、毎年育樹や補植活動をしている。本年度は、特に平成30年5月に200本の補植をした木の周辺を中心に刈払いを実施した。

●事業成果

平成30年5月に補植した200本の木の周囲を中心に刈払い作業を3回実施した。一部枯死した木はあったものの刈払いタイミングそして回数のおかげで、草に負け枯死した木は観察されなかった。ただ、思ったより成長が遅かった。土壌が固く水位も高い等の悪条件のため、成長が遅いのは致し方なく、大切に見守っていききたい。

この事業を開始して8年を経過し全体としては着実に雑木林になりつつある。今後は小さい木だけ重点的に手をかけて育ててみたい。

●事業をよく知る関係者の声

見違えるようになった。昨年度補植したこの場所は、水位が高いので成長が遅いのはやむを得ない。（土地所有者）

●参加者の声

・植物が成長するうえで人が応援できるのはほんのわずかもかもしれないと思い知らされた。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
下刈面積 6ha	24人	24人
実施場所：宮城県栗原市		



ブナ植樹地での下刈り

森林の整備 (離島の森の回復事業)



森のなかま

宮城県黒川郡大和町

●事業概要

目的は、次の2つである。①荒廃した離島に豊かな緑をよみがえらすことである。平成20年の広葉樹植樹で始まり、24年にはクロマツを、25年には広葉樹を補植してきた。今年度は、刈払い作業を中心とした育樹作業である。②島民が独自に行っている荒廃した遊歩道の整備活動を支援すること。島民の遊歩道の整備事業継続の力になること。

●事業成果

(森林整備) 植樹した木々の成長が極めて良かった。特に昨年度1年間の成長の良さに驚かされた。毎年実施してきたこの木の周囲の刈払い作業は今年度で終了できるまでとなった。

(遊歩道整備) 翌日に予定していた遊歩道整備の支援事業は、台風接近により急遽予定の船便を早めざるを得ず作業中止。しかし、10年間の継続訪問により島民への応援メッセージとなったと思う。

●事業をよく知る関係者の声

当初植えた木の成長が思わしくなく心配したが、ようやく育ってきた。森のなかまが毎年島に来てくれるのを楽しみにしている。自分達(島民ボランティア)も頑張っていきたい。(70代男性)

●参加者の声

・毎年来ているが、今年はよく伸びていると思った。特に途中で植えたクロマツの成長が目立った。(70代会員)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
下刈面積 0.5ha	11人	11人
実施場所：宮城県石巻市網地島		



下刈り

北上川の上下流を結ぶ緑の再生活動



(特非) 環境生態工学研究所

仙台市若林区新寺

●事業概要

目的は、岩手県八幡平市・旧松尾鉱山跡地の植生再生のために実施してきた植樹について、さらなる定着や生長をめざした育種活動とその活動による環境意識啓発を行うことである。主な活動は、①すでに植えてきた樹木の剪定と追肥、枯損箇所の補植、②冬季の風雪から幼木を守るための防風柵の設置、③育樹のための作業手順書の作成と事前講習・事業説明、現地指導、④作業地への移動の障害となっている窪地の整地・舗装作業。

●事業成果

維持管理や生長を促すため、2018年度から剪定・追肥・補植などの育樹活動に切り替えた。2011年度と2010年度(半分)に植樹した樹木を対象に計画通り実施できた。団体参加者のうち高校(仙台市)は毎年生徒が替わるため新規参加者と言えるが、社会人はほぼ継続経験者。環境活動に関心のある大学生にも声をかけ新規に参加してくれた。活動を継続させることで周知を図りたい。

●事業をよく知る関係者の声

以前の植樹ではスコップのみの使用だったが、今回は穴掘り器や剪定バサミなど不慣れな道具も多く、時間がかかった。実演をしっかりと見せておきたい。(高校教員)

●参加者の声

・2011年度に植樹した苗がずいぶん大きくなっていましたが、生長を促すための剪定・追肥の意義がよくわかった。(郵便局長会の担当者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.34ha	766本	0.3ha	166人	291人	457人
樹種：アキグミ、コハウチワカエデ、ミズナラ、トチ					
実施場所：岩手県八幡平市(旧松尾鉱山跡地)					



成長を促すための剪定・追肥や補植作業

茨城県県民の森「スギ採種園の跡地」及び他フィールドの森林整備活動



いばらき森林クラブ

茨城県ひたちなか市高野

●事業概要

樹木の健全な生育を助け、そこを訪れる人の安全を守り、市民や児童が自然に触れあえる場所を整備することにより、森林への理解を深める一助として、茨城県民の森をはじめ、県央地区にある水戸市森林公園、常陸大宮市の自然公園、県の福祉施設、ひたちなか市の小学校の校庭や隣接する森林の整備を行った。また、学校における情操教育、公園来訪者の憩いの場所の整備に寄与するため、ひたちなか市の小学校及び県民の森において植樹を行った。

●事業成果

県民の森において枯マツ除伐跡地の整備を行い、広葉樹を植樹した。また、ひたちなか市内の小学校に隣接する山林整備の範囲を広げるとともに、児童とともに校庭にサクラを植樹した。他のフィールドでは継続的な整備を行った。

●事業をよく知る関係者の声

継続的な森林整備活動により、素晴らしい森林が整備された。活動拠点であるスギ採種跡地及び枯マツ除伐跡地に樹木が順調に生長している。(県民の森管理者)

●参加者の声

・林床整備活動を行う事により、古墳群が表れたり、校庭の木々の間から遠く那珂川の流れが美しく見えるようになった。(70代会員)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付本数	下刈面積	除伐・間伐	県内	計
11本	6.1ha	330本	391人	391人
樹種：サクラ、ナツツバキ				
実施場所：茨城県水戸市、ひたちなか市、那珂市、常陸大宮市				



ナツツバキの植樹(県民の森)

『トトロの森』狭山丘陵と周辺緑地での里山保全



(公財)トトロのふるさと基金

埼玉県所沢市三ヶ島

●事業概要

本事業では、ナショナル・トラスト活動により取得した『トトロの森』で、適切な里山管理を行うことで、良好な里山環境を再生し、生物多様性の保全や地域住民にとって安全・安心な生活環境づくりを進めていった。また、管理作業等を通して、緑地の持つ良さや作業の楽しさを伝え、仲間づくりを促進した。さらには講習の機会を設け、持続可能な里山保全活動へと発展をめざした。

里山管理を行ったトトロの森を一般にも公開し、里山保全への理解を促し、みどりの保全に尽力した。

- ①下草刈りや常緑樹の除伐による明るい雑木林への移行、
- ②危険・支障木の伐採による管理作業の円滑化と推進、③管理の進んだトトロの森の一般公開による普及啓発活動、
- ④ボランティア、職員の技術・安全意識の向上。

●事業成果

伐倒機材を購入できたことで、高木の伐倒について職員が実施できるようになった。危険・支障木の伐倒が済み、ボランティア作業への移行ができるようになった。

●事業をよく知る関係者の声

里山を伝統的な技法と作法について地元住民と共に作業しながら学ぶことは、里山の自然を保全するのみならず、関わる人びとに変化をもたらすことがわかった。(大学講師)

●参加者の声

・ゴミの量と内容にショックを受けた。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
5.4ha	5.4ha	5.4ha	683人	341人	1024人

実施場所：埼玉県所沢市、入間市、東京都東村山市、東大和市、武蔵村山市



倒木・落枝の片付け

雑木林や杉林の恵みを環境教育などで享受しながらの継続的な整備



山武に雑木林をつくる会

千葉県山武市武勝

●事業概要

目的は、放置林が増えている中で、病気の山武杉林を伐採した後に植栽して成長した雑木林(教育の森)の管理と小学生を対象とした環境教育等である。主な活動は以下のとおり。①雑木林の草刈・間伐等による管理、②間伐材等を利用した小学生の木工工作授業、③スギ枝を利用してチップをつくり、身障者の授産施設であるブルーベリー園に保湿等のために散布。

●事業成果

間伐材等を利用した小学生への授業やクラブの指導は、ここ数年、毎年行われていることもあり、大分定着してきている。木材を利用していく気持ちを高めるのに役立っていると考えられる。

●事業をよく知る関係者の声

子どもが喜んで熱中して工作し集中力がつく。(保護者)
講師が工作の材料から準備してくるので、ありがたい。(教員)

●参加者の声

- ・楽しかった。工作は少し難しかった。(小学生)
- ・手入れされていて、きもちがいい。(雑木林利用者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.2ha	80本	1.5ha	3人	3人

樹種：ヒノキ、クヌギ
実施場所：千葉県山武市



木工工作体験

古民家／宙（そら） －こどもの「ひみつきち」の森づくり



木と建築で創造する共生社会実践研究会 (A-WASS)

東京都中央区東日本橋

●事業概要

かつて、地元住民によりスギの植林が行われるなど適切に管理されていたものの、今ではタケが繁茂し荒廃してしまった里山林において、森林資源の循環的な利用の復活・再生のため、山林の所有者や都市部に住む人や子ども、地元の住民や森づくりNPOなどと連携し森林を整備し、伐採したタケでの工作などの里山自然体験活動を行った。

●事業成果

整備の過程で、それまで不慣れだった整備作業のノウハウが徐々に身についた。毎月少しずつ進展が見られた。今後の活動の継続に向けた意欲やビジョンが参加メンバー間に広がったことが最大の成果である。また、活動の過程で、一部の近隣住民のほか、周辺地域で地域支援などの活動を行っている団体と協力関係を構築することができた。

●事業をよく知る関係者の声

荒れていた裏山が整備され、将来的にはタケや樹木が有効に活用されるとともに子どもの遊び声が響く山をめざして活動されていることは意義深い。(地元森づくりNPO関係者)

●参加者の声

- ・自然豊かな里山の中で汗を流す体験はさすががしい。
- ・荒れた裏山や耕作放棄された田・畑での整備活動をとおして、これらを適切に維持・管理していくことの難しさを実感した。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
0.1ha	141人	101人	242人
実施場所：千葉市緑区			



タケの伐採

秩父市久那上ノ山及びその周辺山林の整備と育成



ちちぶ里森の会

東京都江戸川区南葛西

●事業概要

「ホテルを呼び戻そう」を合言葉に、常緑樹を除伐し、間伐、林床整備、湧水地の整備等を行うとともに侵入竹を駆除していく。また、この体験活動を、地域住民との交流にもつなげていく。森づくり体験会や生態観察などの自然体験、草木染体験、炭焼体験などにより、参加者の健康づくりを広げていくことを目的としている。

主な活動は以下のとおり。①ベースとなる小屋とその周辺整備。②協定山林の除間伐・林床整理。③森づくり体験、自然体験、植生調査。④ユズコショウづくりや草木染など。④初歩の道具の使い方、ロープワークなどの会員研修。⑤里山住民の物産地域まつりや行事に参加し、竹炭や草木染作品を展示販売し交流と協力関係を深めつつある。

●事業成果

藪化していた森林は明るい森に変わりつつあり、林床植生に新たな広葉樹が確認できるようになった。元棚田であった湿地であるスギ林の除間伐と林床整理の活動は、参加者のやりがいと喜びにつながっている。地域の方々との交流も深まりつつある。

●事業をよく知る関係者の声

メンバーも徐々に増え作業性も向上した。今後は①伐採した材の活用方法の検討、②柴刈りした跡地に落葉樹を実生より育てていく、③メンバーのスキルアップを継続的に図る等が必要と思う。(森林インストラクター)

●参加者の声

- ・巣箱を設置して野鳥をよびたい。(71歳男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.5ha	0.4ha	6人	166人	172人
実施場所：埼玉県秩父市				



タケの伐採

日向の森 (千葉県山武市・人工林) 保全活用のための森林ボランティア 人材養成事業



(公財) Save Earth Foundation

東京都大田区羽田

●事業概要

平成25年に千葉県山武市と保全協定を結び活動を実施している「日向の森」において、都市住民と地域住民の協働による持続的な森林保全活動を行うことを目的として、森林ボランティア人材の養成を主眼においた取組みを推進した。①植栽地の整備活動、整備済み散策路の保全活動、間伐・除伐作業を計15回実施。②地域住民(親子)向け森林環境教育イベントを2回開催。③植樹会をイベントとして実施。

●事業成果

参加者は、Web検索等でボランティアを探していた学生の参加も目立つようになり、認知度の高まりを感じることができた。環境教育イベントは定員を超え、植樹会は都市の企業からも参加があり、活動の広まりを実感できた。

●事業をよく知る関係者の声

学生が多く参加するようになったのは良い傾向だと思う。地域の壮年～老年層の参加を得るため、市の広報なども活用してはどうか。(山武市・散策路整備委託先NPO代表)

●参加者の声

子どもたちの笑顔に癒された。これからも自然を体験できるこのようなイベントを継続してほしい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	間伐面積	県内	県外	計
0.1ha	150本	0.2ha	117人	164人	281人
樹種：スギ					
実施場所：千葉県山武市・日向の森(市有林)					



間伐体験

国民参画の森林づくり国際ワーク キャンプ



(特非) NICE日本国際ワークキャンプセンター

東京都新宿区新宿

●事業概要

①荒廃する森林を実践的な作業で改善し、②国民、特に都市の若者と住民の保全への意識と行動を高め、③世界の森林活動との交流・連携も生み出すために、日本・世界の若者達が住民と協働しながら、全国18ヶ所で森林保全に取り組む2週間程度の合宿型ボランティア活動を行い、成果発信・開催地によるネットワーク活動を推進していくために開催。こうしたワークキャンプが新しい活動モデルとして各地に広がり、参加者が保全活動の新たな担い手として活動を発展していくことも期待できる。

●事業成果

これまでに実施していなかった4ヶ所で新規開催をすることができた。

●事業をよく知る関係者の声

普段、森に入る機会はほとんどない若者が、少しでも環境保全や地域の現状を知ってくれたら良いのではないかと思う。最近は自然災害も多く、作業が思うように進まないこともあったが、安全第一で行うことができた。(受入団体スタッフ)

●参加者の声

なぜ木を伐るんだろうと思っていたが、ワークキャンプを通して、森のもつ機能や意義を初めて知る機会となった。(大学生)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.3ha	13.5ha	3.2ha	7人	270人	277人
樹種：ブナ					
実施場所：北海道・福井・三重・大阪・熊本など13道府県18町					



伐採木の運び出し

神奈川県山北町における森林整備活動事業



(特非) 地球緑化センター

中央区八重洲

●事業概要

目的は、町の大部分を森林が占める神奈川県山北町において、森林の持つ本来の機能を発揮させ、また景観を保全していくことで健全な森林を作り、森林について学ぶ機会とすることであり、大学生などを中心に参加者を募り、主な活動として年間を通じて以下のことを行った。①マテバシイ・スタジイなど枝切り、②雑木林の除伐、③ヒノキの間伐。④雑草類の下刈り、⑤ツル切り。

●事業成果

大学生を中心に参加者を募り、指導員の指導のもと、間伐、除伐、下刈りなどを行ってきた。後半の活動は参加者のうち、複数回参加している学生が、今後新しい参加者を指導していけるよう技術的なことも含めて教わる活動も実施できた。

●事業をよく知る関係者の声

これまで整備がされずに荒れた山だったが、次第に整備が進められて山がきれいになってきた。(指導者)

毎回ボランティアに参加してもらっているお陰できれいになってきた。今後も継続して実施していただきたい。(町役場職員)

●参加者の声

- ・刃物類の扱い方を学ぶことができとても勉強になりました。
- ・自分一人でも伐倒できるようなるのが楽しみです。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
1.06ha	1.06ha	1.06ha	84人	39人	123人
実施場所：神奈川県山北町					



伐採木の枝払い

森の次代を担う青年森づくり事業



(特非) 森の包括支援センター

東京都西多摩郡日の出町

●事業概要

次代の森づくりのために、まずは、授業を通しての森林整備活動への参加を積極的に促し、そして、興味を持った次代を担う青年たちを、今まで活躍してきた人たちが技術などの知識を伝授したりとサポートする。活動人数を増やすことだけが目的ではなく、地域とのつながり、連携をもって、地域の活性化にもつながるよう取り組んだ。

●事業成果

学校の授業として、中学2学年の授業(現在の「人間と社会」)の中に取り込んでいくこと。地域エリアでの活動につながった。

●事業をよく知る関係者の声

学校近くの活動場所では、地域とつながるいい機会になった。(指導スタッフ)

地域との連携や交流も密にしていくためには、授業としてもいい体験ができた。持続して、地域に認めてもらいたい。(教員)

●参加者の声

- ・うっそうとしていた場所が日が当たるようになって気持ちいい。(生徒)
- ・生徒たちが屋外授業で、こんなに楽しそうに作業するなんて驚きました。(教員)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
指導員、教員指導	「人間と社会」授業	都内	計
7回	2回	300人	300人
実施場所：東京都日の出町、青梅市			



竹林での授業

梅林の再整備と医院通り（A棟）の緑の環境改善活動

サンシティ管理組合

東京都板橋区中台

●事業概要

梅林（面積530㎡）の雑草対策・土壌改良・遊歩道・肥沃土壌流出防止土留・日照確保の中低木枝落としを行い、世代交代植樹を行い、梅林の再生化をはかる、また医院通りの開墾・中低木の枝落としを行い、野草園化を図り、雑草の生えない住居周りの緑の環境改善を行う。

●事業成果

植樹地を深さ1m掘削して、醸成した堆肥2・掘削した土壌8の割合で混ぜ合わせた土壌改良を行った結果、植樹したウメは100%活着した。

住民・外部から参加者（見学者含めて）は、緑を育てる仕組みを学ぶことができたとの声をいただいた。

●事業をよく知る関係者の声

梅林の土地は、マンション造成前は運動広場があったので、土壌改良が必要であるとの指摘があり、今回の取り組みは、成功であったという評価をいただいた。また、女性への技術伝授の試みについても評価をいただいた。

●参加者の声

・将来に向けた癒しの梅林が、生活をエンジョイさせてくれる場所となった（住民）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付本数	下刈	遊歩道新設	計
14本	0.12ha	58m	263人
樹種：ウメ			
実施場所：東京都板橋区中台			



ウメの植樹

富士山休養林の森林整備

富士緑化応援隊

神奈川県藤沢市用田

●事業概要

ヒノキの植林後、定期的に枝切り・間伐を行い価値ある樹木に成長させる。その過程の25～30年生の間伐とシカ食害防止策を講じている。当初1ha当り約3000本位植林するが、整備終期には800本位まで間伐を行い良質な材に仕上げる。私たちの行っている間伐は中間期で再々度間伐され、より良い材が可能となる。並行して森林内が整備されバクテリアや草が繁茂し鳥や動物の餌場になり、枯れ草なども肥料となり豊かな森林を形成していく。

●事業成果

間伐・シカ食害防止策：活動日数6日・延べ人員70人

選木マーキング：活動日数2日・延べ人員29人

マーキングテープ外し：活動日数1日・延べ人員10人

ヘキサチューブ撤去：活動日数3日・延べ人員36人

降雨により用具類掃除・手入れ：延べ人員51人

●事業をよく知る関係者の声

チェーンソーの手入れも数段良くなっている、作業後の掃除手入れや扱い方の指導等が功を奏している。研ぎが皆さんでできるよう努めたい。（常時参加している人）

●参加者の声

・活動の目的が明確で、その成果が目に見えやりのがある。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
間伐面積	間伐本数	県内	県外	計
3.61ha	447本	160人	49人	209人
実施場所：静岡県富士市、富士宮市				



間伐のための選木

水源林の保全・整備と森林の多目的利用の促進



(特非) かながわ森林インストラクターの会

神奈川県厚木市中町

●事業概要

目的は、多くの企業や団体が森林整備や森林を利活用しながら、森林の大切さや森林の持つ多様な機能を理解したり、水源林保全に積極的に取り組み啓発を行うことにある。

活動は、間伐、倒木処理、林床管理、植樹、階段や経路などの整備、水源林の役割や緑のダムの理解のための水源涵養実習、森林癒やし体験、水生生物や自然観察、丸太切り体験、間伐材や森からの恵みを利用したクラフトづくりなどの森林の多目的利用と募金活動である。

●事業成果

昨年は、台風による倒木が多く発生し、被害木や落枝の処理を積極的に行い、現場の整備が進んだ。昨年も新入社員研修が行われ、多くの参加者が作業現場に入ることによる現場の混乱を防ぐため、作業区域を現場に明示し安全確保と作業効果を高めた。

●事業をよく知る関係者の声

企業の新入社員研修に、やどりき水源林での森林整備や野外活動は非常によく、今後も研修に入れたい。

やどりき水源林のパートナー林にある樹木は大きくなりすぎ、ボランティアとしての間伐作業は困難であり、新たな場所で間伐を経験できるようにする必要がある。

●参加者の声

・間伐木が倒れた時には、全員から「やった」「すごい」の歓声上がり、間伐のすごさを知ることになった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付本数	林地整備面積	間伐面積	県内	県外	計
30本	0.1ha	0.28ha	547人	91人	638人
樹種：ミツマタ					
実施場所：神奈川県松田町、山北町、南足柄市					



間伐体験

南高尾風景林の整備活動と森林体験スクール事業

高尾グリーン倶楽部

東京都八王子市南浅川町

●事業概要

活動の目的は、八王子市南浅川町梅ノ木平国有林、及び部分林、民有林を対象に森林の整備を行うこと。作業フィールドや宿泊研修施設を活用して森林体験教育を行うことである。主な内容は以下のとおり。①過密となり暗いスギ・ヒノキ人工林の間伐と風倒被害木等の処理、②ツル切り、除伐、林床整理、歩道整備、③企業や地域グループ、親子などを対象にした森林作業体験教育、④間伐材を利用した木製品の制作と福祉施設への寄贈など。

●事業成果

①間伐・除伐等の作業を新規の森林で行ったことで、整備済み森林が拡大した。②親子などを対象に23回にわたる森林作業体験を行い森林理解の増進を図った。また、企業と高校の産学連携による森林作業の実施や間伐材で学生が製作した木製品を福祉施設へ寄贈するなどの活動を行った。

●事業をよく知る関係者の声

授業で木材を材料として使っているが、木材がどのように生産されるかを実践を通じて学んだ。これからも毎年この体験学習を続けていきたい。(高校教員)

子どもたちが山の中で安全に活動できたことは自信になったものと思う。(身障者学園教員)

●参加者の声

- ・除間伐のあと森が見違えるように明るくなった。(女性)
- ・森のためには木を切り、その木を使うことが大切だ。(男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
間伐面積	ツル切り除伐	複層林整備	都内	都外	計
1.5ha	1.7ha	0.2ha	990人	174人	1164人
樹種：スギ、ヒノキ					
実施場所：東京都八王子市（梅ノ木平国有林、部分林、民有林）					



森林整備活動

相模湖若者の森づくり、知足の森林整備活動



(特非) 緑のダム北相模

神奈川県相模原市緑区与瀬本町

●事業概要

目的は、手入れされていない人工林の再生、さらにそのことによる水源かん養林の保全活動を行うことである。今年度はさらに、これらのデータを一度まとめ、学会等での発表を行った。また、間伐材の積み木の利用したイベントを通して、小金井市、相模原市などと連携し、企業と、さらに東京学芸大学、同大環境教育研究センターと連携したイベントも行う。

●事業成果

今回は、これまでの活動データを担当する中高生ごとにまとめ、環境教育学会、森林学会での発表を行った。多くの専門家から高く評価していただき、彼ら自身が客観的評価を得たと自信を持たせることができた。今後も専門家との協働を進め、より高度な森林整備活動を行いたい。

●事業をよく知る関係者の声

普段知ることのできない山中の様子を教えていただけます。アナグマやイノシシ、なかでもシカの発見には驚きました。昔から聞いていたことが確認できたり新発見があったりと、報告を楽しく聞かせていただきます。(長福寺住職)

●参加者の声

- ・森林学会で発表をする機会をいただいた。専門家が集まった場所での発表は初めてで緊張したが、充実した時間を過ごすことができた。今まで感知していなかったジャンルの事柄についても、さまざまに教えていただき、興味を持つきっかけとなる良い機会となった。(高校3年)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
除伐面積	間伐面積	枝打面積	県内	県外	計
0.4ha	0.2ha	0.2ha	22人	223人	245人
実施場所：神奈川県相模原市					



竹林整備

里山保全安全技能研修をととした緑地整備の推進



(特非) よこはま里山研究所

横浜市南区宿町

●事業概要

目的は、里山保全活動に参加しているボランティアを対象に、毎月2回程度実施している里山保全活動の安全管理を確実なものにし保全活動を推進すること。主な内容は以下の安全技能研修を実施。①里山保全を安全に楽しく進めるための作業計画づくり、②手道具による里山保全作業講習、③刈払機の安全な使い方、④チェーンソーの基本動作とメンテナンス実習。

●事業成果

川井緑地の活動参加者と新規の受講者がほぼ半数であった。川井緑地からの参加者は安全意識の向上が図られ、新規の研修参加者の数名は川井緑地の活動に参加するようになった。安全管理に必要とされる研修方針や研修内容を確認することができた。

●事業をよく知る関係者の声

毎回の講習会で重視するポイントを絞り、少人数制(定員10名)で実施したことにより、安全に対する意識や基本的な技術の習得に繋がった。参加者のおよそ半数程度は、同じ活動場所で里山保全活動に取り組んでいるので、活動を継続しながら着実に知識や技術を習得できる点も評価できる。(理事長)

●参加者の声

- ・今まで、いい加減に道具を使っていたのがわかった。
- ・毎年参加しているが、少しずつ技術が身についてきているように思う。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
5.4ha	5.4ha	5.4ha	325人	12人	337人
実施場所：横浜市					



チェーンソーの基本動作とメンテナンスの研修

複数フィールドの持続的な竹林保全と活用



(特非) 日本の竹ファンクラブ

横浜市都筑区中川

●事業概要

手入れされていない竹林の保全と活用を主な活動目的とするが、複数フィールドの管理と会員の高齢化対策も課題。主な活動は6か所12haのフィールドの間伐作業。台風の風害による倒木、倒竹の伐採、整備。タケノコの育成と徹底した密度管理。間伐材を活用した竹灯籠祭りの開催。タケノコの加工食品づくり。竹の学校管理コースの指導者養成講座。竹細工教室の出前講座等を実施した。

●事業成果

竹林の整備は予定通り完了させることができた。課題である高齢化による作業負担の軽減と新たな支援者の広がりには手間のかかる小机の「竹灯籠祭り」に地元町内会や団体からの支援の輪が広がり大きな成果を得ることができた。

●事業をよく知る関係者の声

地域の環境保全とイベントはまちづくりにも繋がるのでできる限り協力したい。(連合町内会役員)

地元としても積極的に参加して手伝いたい。(まちづくり有志の会)

●参加者の声

- ・雨の中の作業は大変だった。(大学生インターン)
- ・大きなイベントに参加でき、大変だったが達成感があった。(作業参加者)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
間伐面積 12ha	1600人	200人	1800人
実施場所：神奈川県横浜市、中井町、静岡県伊豆の国市			



竹林整備

間伐材を利用した森の拠点 ～森のキッチンづくり～



(特非) 緑とくらしの学校

新潟県上越市滝寺

●事業概要

スギの間伐を進めることを目的に、間伐材の利用と森林整備に人々が集まるときの拠点の魅力づくりとして森のキッチンづくりを進めてきた。間伐材の利活用をすることで、間伐材の付加価値が増すこともねらいとして活動を行った。

●事業成果

今年度は小屋に屋根を張り完成させたことと、間伐をさらに進めたことだ。キッチン小屋が完成したことで、森林整備活動への愛着がわき、さらに自分たちが間伐した材料を次はどう活かそうかと希望をもって森林整備活動に臨むようになり、間伐の活動の動機がより明確になり意欲へとつながっている。

●事業をよく知る関係者の声

自分たちで間伐した木がどういう過程で建物となっていくのかを幼児期の子どもが見る事は、貴重な体験だ。大人でもなかなか見る機会は少ない。そして、大きな木が目の前で倒れる瞬間、運ぶ重さを知ったことは、実感を持った知識となっていこう。(くびきの森林組合職員：間伐講師)

●参加者の声

- ・目の前で木が倒れるのを見たのは初めてで、それだけでも心が動く体験だった。みんなで力をあわせて木を運ぶことで、人ってすごいなって思った。また、小学高学年の息子がすすんで薪を割ることを体験していたのは印象的だった。(間伐体験の保護者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	間伐	県内	計
0.6ha	10本	1.1ha	116人	116人
樹種：クリ				
実施場所：新潟県上越市				



皮むき

間伐材を活用した観光地の新たな魅力化事業



(一社) SwitchSwitch

福井県三方上中郡若狭町

●事業概要

目的は、若狭町の放置林の整備と森林資源を活用した三方五湖と鯖街道熊川宿の活性化である。主な活動は以下のとおり。①トレイルの整備、②間伐材やタケを活用したマルシェ出展者用テントと竹あかりの作成、③整備したトレイルでの散策イベント、マルシェ用テントを活用したイベント、竹あかりを楽しむイベント。

●事業成果

- ①トレイルイベント：里山を整備し3回実施した。小学生からのお年寄りまで合計52人の参加があった。また、専門家を招いたトレイルの講習会を実施した。
- ②マルシェテント：町内の間伐材を活用し、組み立て式のマルシェ用テントを4基作成し、イベントで使用した。
- ③竹あかりイベント：竹林整備で切り出したタケから竹あかり作りを行った。旧道は歩きやすく整備できた。地域のイベントで夜の演出を行うことができた。

●事業をよく知る関係者の声

竹あかりは知っていたが、熊川宿の町並みの雰囲気に合わせており良かった。作ってみると簡単で、もっと地域の子どもの参加も可能だと感じた。(地域住民)

●参加者の声

- ・初めて歩いた道だったが、子ども達も楽しく歩いていて良かった。いつも見ている集落を違う角度から見られて新鮮だった。(30代トレイルイベント参加者)
- ・久しぶりに工具に触ったが、地域イベントに参加できて良かった。(70代竹あかり参加者)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
除伐面積	間伐面積	トレイルイベント	竹あかり	県内	県外	計
0.4ha	0.1ha	3回	1回	148人	39人	187人
実施場所：福井県若狭町						



里山を整備してつくったトレイルウォーキングコース

古里越前の里山を育む未来への森づくり

(特非) 月尾くらし工房

福井県越前市轟井町

●事業概要

身近な里山を地域ぐるみで再生するため体験プロジェクトとして森づくり活動を行う。主な活動は以下のとおり。①人工林へ侵入してきたタケ除伐と間伐。②地域の小学校での森づくり教室。③一般市民、親子による食育・木育活動。

●事業成果

赤坂森づくりの会が結成され地域の里山を地域住民が守りながら、地区外での応援体制も整備されつつある。小学校、公民館、地域のボランティア組織、企業などとの連携が進んできた。

●事業をよく知る関係者の声

荒廃が進む人工林、広葉樹林にもタケ侵入が進んできているので、地域住民が広く参加ができるプログラムが必要ではないかと感じている。食育・木育は今後も継続していくべき。(赤坂森づくりの会)

●参加者の声

- ・森づくり教室をとおして森林の大切さがよくわかった。これからも里山を守る活動がしたい。(小学5年)
- ・木を使うことが地域の里山を守ることにつながることがわかりました。(親子)

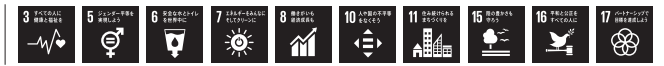
実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.2ha	0.1ha	1677人	60人	1737人
実施場所：福井県越前市				



子どもたちが木に触れ遊ぶ

昆虫の棲める故郷の里山再生



(特非) 自然とオオムラサキに親しむ会

山梨県北杜市長坂町

●事業概要

目的は、国蝶オオムラサキの日本一の生息地である北杜市の里山林を保全し、未来に伝えるためである。主な活動は、近年管理放置され荒廃の一途をたどっている里山林の下刈り、間伐、風倒木の整理やオオムラサキの餌となるエノキ・クヌギの苗を皆伐地に植樹して里山林を再生している。これまでに、クヌギ・エノキの苗を10万本植樹し、下刈りは55haとなっている。

●事業成果

北杜市、韮崎市エリアの情報誌に取り上げられ地域住民の認知度理解度が高まった。活動を通して林業者2社と協同作業等の連携を強めた。昆虫の棲むことのできる里山再生活動の講演依頼なども多くなっている。

●事業をよく知る関係者の声

これまでの継続した活動を見て、本気度を感じる。荒廃する山林が多くなっている中で活動は有難いことだ。今回、私の集落をやってくれることになり、協力していきたい。(山林所有者の取りまとめ役)

この里山保全活動は全国有数の活動です。(千葉県で里山保全活動をしている男性)

●参加者の声

- ・里山を再生する活動に共感する。(70代男性)
- ・植樹では、子どもにも優しく指導をしていただき、ありがたい。(ボーイスカウトリーダー)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
8.7ha	1万1500本	50ha	2.0ha	2280人	38人	2318人
樹種：クヌギ、ヤマザクラ						
実施場所：山梨県北杜市						



クヌギ、ヤマザクラを植樹

竹林整備・活用研究



もりの恵み研究会

岐阜県恵那市飯地町

●事業概要

目的は、タケやぶの整備促進及び、タケを活用した商品開発すること、またその活動を地域住民のみでなく、都市住民の参加を募ってワークショップを開き、交流促進を図り移住定住につなげることである。主な活動は以下のとおり。①タケの伐採。②伐採後のタケを活用したイノシシ除けマット作成及び試行敷設。③伐採後のタケを活用したタケ筒ご飯キット作成及び試行。④上述①～③の活動を地域住民及び都市住民との合同ワークショップ。

●事業成果

タケやぶが、きれいに整備されたことにより、美しい見晴らしができた。参加者はタケを切るポイントや注意点を経験者から習い、道具も使いこなせるようになった。また、左官職人の指導でタケ小舞網の技術を応用しイノシシ除けマットを作成し、縄網の技術を学んだ。タケ筒ご飯キットは大工さんの指導を受け作製。キャンプ場での販売の可能性を確認した。

●事業をよく知る関係者の声

みんなで力を合わせて楽しく作業をしていたのが印象的だった。見晴らしも良く、散歩道も確保されて、気持ちの良い場所になった。(近隣住民)

●参加者の声

- ・タケは細くて簡単に切れそうだと思っていたが、実際にやってみると重いし、ノコギリの刃はすぐに駄目になるし、手入れをするのは大変だと感じた。(40代女性)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
除伐面積			
0.2ha	52人	5人	57人
実施場所：岐阜県恵那市			



タケの伐採

地域の森づくり・里づくり一体型 拠点整備事業



なつかしい未来の会

岐阜県恵那市上矢作町

●事業概要

矢作川上流域の水源地域である岐阜県恵那市上矢作町において、水源林保全と木材活用の重要性を普及啓発していくことをめざし、水源整備及び地元木材を活用した山里文化体験の拠点整備および間伐材の利活用推進を実施する。

①森林整備の考え方とチェーンソー間伐の講習会。②コミュニティハウスづくりや薪づくり、炭焼き、キノコの菌打ちなどの木材活用体験。③獣害対策の柵の設置。④里山林の資源を活用した山里文化体験などを実施した。

●事業成果

①森林の密度調査から実際の間伐を実施できるよう講習会を開催した。②建築作業や薪づくりを含めた薪窯を活用したピザづくり体験、炭焼き、キノコの菌打ち体験などを行った。③ボランティアが参加し、集落の山際にイノシシ対策の柵を500m設置した。④地元材を使った施設で、多くの親子に山里体験をしてもらう機会をつくった。

●事業をよく知る関係者の声

魅力ある企画で地元と他地域との交流も生み出し頑張っている。林業的には急傾斜で条件の厳しい地域なので、いかに資源利用につなげるかを考える必要がある。(林業家)

初心者向けのチェーンソー講座を行い、山の手入れができる人を育てている。低年齢の子どもも気軽に木に触れられる環境で大変ありがたい。(高校教員)

●参加者の声

・初めてチェーンソーを使いました。講師の説明が分かりやすく、木を伐り倒すことまで体験できた。(10代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
間伐面積	森林資源活用	県内	県外	計
0.25ha	40本	183人	22人	205人

実施場所：岐阜県恵那市上矢作町



獣害防止柵の設置

水源地間伐支援事業



とよはしきこり隊

愛知県豊橋市豊岡町

●事業概要

「森林保護、環境保護」を目的に2005年の設立から、森を守り・育てる活動を継続し、本事業で次を実施した。①豊川上流の水源地保全、地域支援のため、新城市宇連ダム周辺にて、地元共有林を間伐、②民有林(豊橋市内)を間伐、③森林間伐作業講座(豊橋市開催)において実技を指導、④森林保全等をイベントにて、丸太切り体験等を交えアピール、⑤要請による公園の除伐整備を実施、⑥他のボランティア団体の依頼により、支障木を伐採。

●事業成果

水源地支援は、地域住民に信頼と感謝を受け、更なる継続活動を切望。豊橋市内の間伐は、山主の関心が薄れる中、共有林へ整備を促して30aを実施。4回目の森林間伐作業講座では、受講者から同きこり隊への加入が3人。

広報イベント・オレンジフェスタは、丸太切り体験、小枝利用の色鉛筆作成が人気を集める。

●事業をよく知る関係者の声

各種のボランティアが高齢化し、その存続が危ぶまれている中、きこり隊の様に若手加入は稀なことで継続した活動が期待できる。(関係する行政の担当者)

●参加者の声

・毎年の支援に感謝している。これからも間伐を継続してほしい。(水源地域の方々)

・内容に満足、今後も同講座を希望している。(市及び森林間伐作業講座受講者)

実績とりまとめ表

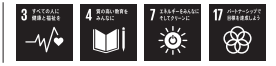
作業内容		参加者数	
除伐面積	間伐面積	県内	計
0.4ha	0.6ha	132人	132人

実施場所：愛知県豊橋市、新城市



間伐作業講座

間伐の推進と間伐材有効活用の実践



グリーンボランティア「森林づくり三重」

三重県四日市市小牧町

●事業概要

目的は、国有林の間伐推進及び私有林の間伐作業とその材の有効活用を図ることである。主な活動は以下のとおり。

①形質不良木の伐採と過密箇所の間伐。②間伐材の有効活用として薪づくりを実施。③間伐材を使った木工体験を主に子どもを対象に実施。④間伐丸太を使った秘密基地(ツリーハウス)づくりを実施。⑤企業の森づくりに協力し森林整備作業の指導を実施。

●事業成果

私有林の間伐では広葉樹が多かったので、伐った材を薪にして有効活用することができた。また、間伐したヒノキ丸太は子ども達で皮むきをしてツリーハウスの構造材に利用した。子どもが中心になって作業をすることで達成感が得られ、木に対する愛着が生まれた。

●事業をよく知る関係者の声

木工体験は子どもの参加希望が多いが、スペースの関係から人数を絞らなくてはならない。複数年参加している子もいるので、毎年新しいメニューを考案していただけて助かっている。(公民館職員)

●参加者の声

- ・木工体験はちょっと難しかったけど手伝ってもらったのでできた。(小2男子)
- ・DVDは面白かった。(小5女子)
- ・ツリーハウスづくりでクギを打つのが楽しかった。(小2女子)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
間伐面積	森林資源活用	県内	県外	計
0.7ha	15本	1218人	59人	1277人

実施場所：三重県いなべ市、四日市市、鈴鹿市、桑名市、菰野町、愛知県名古屋



ツリーハウスづくり

斎王竹の道「森林再生保全」



(特非) ういの郷クラブ

三重県多気郡明和町

●事業概要

目的は、荒廃した竹林・スギ林を景観林及び果樹園に変え、維持・管理していくことである。主な活動は以下のとおり。①再生した竹林の下刈り・間伐林内整備・間伐材の搬出・枝葉枯材の工房での焼却・焼却灰の肥料化、②荒廃林内に作業道を敷設し植樹場所を造成、③ボランティアによる植樹、④再生森林による果樹園の管理、⑤歴史古道沿いの路肩修景柵の修復、アジサイ500本の手入れ。

●事業成果

荒廃竹林0.4haを皆伐し株を除去してコナラを植栽した。新設した作業道沿いの荒廃林を整備した。森林ボランティア団体の活動や研修の場として活用し交流を深めた。

●事業をよく知る関係者の声

地域の竹林の所有者が立ち入ることができなかった荒廃林内に作業道を敷設。荒廃していた自治会の共有林を「緑の森公園」として整備し、小学校や少年団の活動の場として活用し続けてもらってありがたい。(自治会役員多数)

●参加者の声

- ・整備された山で隠れ家をつくったり、間伐体験や植樹体験をしたのが楽しかった。(小学生)
- ・間伐材を工房まで運ぶのは大変だった。果樹の管理について応援に来てほしい。(森林ボランティア)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈整備	間伐面積	県内	計
0.45ha	110本	5.1ha	0.16ha	392人	392人

樹種：コナラ、サザンカほか
実施場所：三重県明和町



伐採したタケを運び出す

寺林を生かした森林環境学習活動



フィールドソサイエティー

京都市左京区鹿ヶ谷

●事業概要

法然院寺林で継続している「観察の森づくり」として、森林生態系を保全する森づくりを学ぶこと、森林環境学習活動のフィールド整備や体験型のプログラムの開発を進めること。おもに以下の活動を行った。①健全な森の育成のために必要な除伐、後継樹育成のための防シカ柵設置の学習、②危険木・枯損木の除去、観察路の補修、③実生及び植樹苗、樹皮の食害防止の施業、④子どもたち対象の森林環境学習として、森の手入れ作業体験、自然観察。

●事業成果

防シカ柵設置について、専門家の指導の下、柵の役割や設置方法を学習、体験することができた。イノシシによる観察路の破損などに対しても対策を講じることができた。また、予期せぬ台風によりシイ等の大木の倒木も目立つなか、森林の診断の視点を学ぶ機会となり、復旧作業と並行して森林学習活動が行えるような林内整備に努めた。

また、高校生が大勢参加するなど、ネットワークが広がった。

●事業をよく知る関係者の声

防シカネットの設置は、足場の確保や設置場所の整備など準備段階で多くの労力を費やした。その点を踏まえて、事業計画を立てる必要がある。(森林環境プランナー)

●参加者の声

・台風で荒れてしまった森が新たな形で最高の森に変わっていくよう、参加できてよかった。(40代)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
除伐面積	単木柵施業	幹の防シカ施業	府内	府外	計
1ha	4ヶ所	6本	122人	10人	132人
実施場所：京都市左京区					



防シカ柵設置

里山整備事業



任意団体 清水寺の森

兵庫県尼崎市下坂部

●事業概要

目的は、清水寺の所有林が長期にわたり放置状態であったがために、森林が荒れ放題になっていた。今回の森林整備により、健康な森林に回復することにより森林が持つCO₂吸収機能の活性化・資源の活用・災害防止・生物多様性および野生動物の生存エリアを確保し森林が持つ機能を回復することを目的とする。活動として、下刈り、雑木除伐、間伐、間伐材の資源活用、通路設置と整地。子どもたちの体験学習時には葉の不思議発見や葉を使った帽子やコート作り、また、木を使った自由工作の楽しさも体験してもらう。

●事業成果

本森林は寺の参道入口に面している。森林整備により林内への見通しがよくなり、スッキリした景観を楽しみながら参拝への道を歩んでいる。参拝者に感謝されている。

●事業をよく知る関係者の声

昔の清水寺の森林は木材の宝庫とされていた。村民は農業・林業に従事し森は守られていた。時代が変わり木材ビジネスが縮小し、携わる人が減少し、森はだんだん放置されるようになった。今般ボランティアで寺の森林の整備を進めていただけるのは大変ありがたい。(住職)

●参加者の声

・できることは限られているが、都会の人達が馴染める活動にするにはどうするかも考えていきたい。(女性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	計
3ha	3ha	3ha	3ha	219人	219人
実施場所：兵庫県加東市					



「森の幼稚園」イベント

憩いの場としての健全な、景観の 良い森づくり



(特非) 森づくり奈良クラブ

奈良県橿原市城殿町

●事業概要

目的は、間伐遅れの人工林を整え、雑木の除伐によって景観を回復し、憩いの場として整備した。人工林の間伐に際しては、選木から搬出までの基本と機器の取り扱い方法の実地指導を同時進行、加えて機器の手入れを実施。一般参加者には、雑木の除伐間伐材の枝払い、皮むき、玉切作業を研修してもらい整備の必要性を体験してもらった。

●事業成果

間伐体験が初めての方は、作業前には躊躇されていた方も体験後には笑顔も見られた。

●事業をよく知る関係者の声

現場は、厳しい姿勢が必要なところがあったが無事に作業が終わり、よく整備してもらえ、感謝している。(公園管理者)

●参加者の声

- ・ヒノキの切り株から良い香りがして気持ちがいい。
- ・ノコギリはゆっくりと動かすと切ることができた。(小学生)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.6ha	0.3ha	0.3ha	206人	25人	231人

実施場所：奈良県大和高田市（県立「矢田山遊びの森公園」）



伐採木の枝払い

広葉樹林の整備事業



下御領自然と歴史を守る同好会

広島県福山市神辺町

●事業概要

目的は、所有者の高齢化等から手入れ不足となっている自然林の再生と水源かん養林の保全活動を行うことである。主な活動は以下のとおり。①クヌギの成長を阻害する小雑木、ササの伐採と下刈り、②クヌギ苗の植栽、③砂防防備の保水力の確保のため、④将来シイタケの植菌等の原木の採取。

●事業成果

墓地道等周辺の緩傾斜地で、枯損木・形質不良木伐採やササ切りなどを行い、日当たりが良くなるなど効果が出ている。また、普段、森林と触れ合う機会が少ない参加者が、手入れ不足の影響や、整備の大切さを学んだ。

●事業をよく知る関係者の声

継続した下刈り作業等の整備活動は、その作業の大変さとともに、植林した苗木の成長を確認することで、森林保全活動への参加意識の向上に繋がる意義のある活動である。今後は、各参加者が様々な条件下で作業できるよう内部での研修等が必要。(近郊の森林組合職員)

●参加者の声

- ・森の中から木々を見て、こんなに荒れていると初めて気づいた。一人一人ができることを取組んでいくことの大切さを感じた。(60代男性)
- ・雨の後の傾斜地は滑って危なかった。(70代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.2ha	100本	0.2ha	31人	31人

樹種：クヌギ
実施場所：広島県福山市神辺町



クヌギの植樹

気候変動を健全なものに正す持続可能な環境共生型森業の実践普及事業



(特非) 土佐の森・救援隊

高知県吾川郡いの町

●事業概要

森林整備に関心の高い都市住民や中山間地域で林業を生業/副業として暮らしたい若者たちを巻き込み、持続可能な環境共生型森づくりと森林経営を実践していくための研修的性格を持たせた森林整備活動を行った。

事業内容は、10～12 齢級の山林にて、作業道を開設し、適正な間伐を行い、A～C材を出しながら収入を得る施業・研修を行った。長伐期優良大径材生産を基本とし、高密度路網による崩れない最小限幅員(25m以下)の作業道を開設することで、小規模ながら安定した収入を得るきめ細やかで丁寧で強い森づくりを学んだ。また、施業林地がある地域(自治体)への小規模林業の普及・啓発活動を実施した。

●事業成果

今年度事業では、本事業(研修)を通して、仁淀川流域において20人以上の自伐林家が育った。また、自伐林家や若手グループ等との連携が密になった。

●事業をよく知る関係者の声

個人・小規模グループで林業はできることが県内に広く浸透し始めてきた。(本事業研修を受けた参加者)

各地の例を参考に高知モデルをつくるのが肝要であるとのアドバイスがあった。(高知県小規模林業推進協議会)

●参加者の声

・崩れない高密度な作業路の開設が基本となる施業を実践すれば、個人や小チームで施業が行えることがわかった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
間伐面積	作業道開設	計
3.0ha	700m	170人
実施場所：高知県高知市、佐川町、いの町、日高村		



作業道開設研修

岡垣町：放置竹林伐採・植樹プロジェクト事業



岡垣緑のまちづくりの会

福岡県遠賀郡岡垣町

●事業概要

岡垣町が所有する土地を作業の場所として活動している。元々この場所は、この団地を開発する業者が購入した土地であるが、30数年前に岡垣町が取得し、放置されていた。侵入竹等で荒廃した場所となっていたため緑化と美化のため活動場所として整備し植樹している。①放置竹林の全伐採、②荒地(雑木伐採)整備、③植樹後の下刈り、④景観を考慮した樹種の植樹(250本の苗を植樹)。

●事業成果

近くに住んでいる町民が入会し、草刈りや植樹に参加してもらえるようになった。近隣の住民から「ウメが咲いてとても心地よい。見違えるように綺麗に整備していただいて感謝しています」との感想を寄せられた。

●事業をよく知る関係者の声

岡垣緑のまちづくりの会の活動は10年間続いており、地道な作業に感謝する。(町住民環境課)

毎年参加しているが、見違える景観に驚いている。(岡垣町長)

●参加者の声

・とても楽しかった。(女性)

・来年の植樹祭にも参加します。(50代男性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	計
0.3ha	250本	0.3ha	0.3ha	300人	300人
樹種：ウメ、ミツマタ、ムクロジほか					
実施場所：福岡県岡垣町					



ウメ、ミツマタ、ムクロジほかを植樹

子供とミツバチの森づくり活動



(特非) 森と木の研究所

鹿児島市桜ヶ丘

●事業概要

スギ・ヒノキの人工林を混交林化し豊かな森とするために、スギ・ヒノキの間伐を行うとともに荒廃森林の地拵えを行い、養蜂に適した蜜源樹を植栽する活動を行った。

あわせて、子どもたちが森林体験学習の場として利用できる森林として、間伐材を使用した歩道、ウッドデッキを設置して、子どもたちが森林内で遊び、学ぶことのできる森としての整備を行った。

●事業成果

公有林のスギ・ヒノキの人工林の間伐し、蜜源樹を植栽し、混交林化するというモデル的な試みに、養蜂産業の振興にも寄与するという森林の機能が再認識されることとなった。

●事業をよく知る関係者の声

近年、市町村有林であっても、予算や技術者不在の関係から森林整備が十分とはいえない状況にある中で、先駆的でモデル的な取り組みを行っていただき感謝している。(市職員)

●参加者の声

- ・かねてから蜜源樹不足を認識し、その造成の必要性を感じていたが、このような形で実現し、自ら植樹できてよかった。(養蜂業者)
- ・近くに遊べる森ができてうれしい、また遊びに来たい。(子ども)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	計
0.4ha	140本	0.3ha	0.3ha	73人	73人
樹種：ヤマザクラ、エゴノキ、クリ、ユリノキほか					
実施場所：鹿児島県南九州市（馬事公苑の森）					



ヤマザクラ、エゴノキ、クリ、ユリノキほかを植樹

桜島新島町「ふるさと再生プロジェクト'18」事業



(特非) ふるさと再生プロジェクトの会

鹿児島市高麗町

●事業概要

桜島の北東に浮かぶ新島（シンジマ）は、1779年の桜島の噴火に伴い、海底が隆起してできた島で、松くい虫被害により荒廃し、2013年に無人島となった。目的は、島を再生し、青少年を対象にした森林環境教育の場としての環境づくりを行っている。主な活動は①メイン道路・周回道路の伐開整備。②新たに林間歩道伐開整備。③林間広場・緑陰広場の整備。④被害により疎林化したクロマツ・ツバキの植樹。⑤一般市民を対象にした森林体験学習。⑥島にある貝・軽石・流木などを使ったアート作品づくり。

●事業成果

今年度から本格的に周回道路、林間広場、林間歩道の整備を行った。広場の整備により、森林ヨガ教室等実施し憩いの場として利用できるようになった。二カ所の林間歩道を利用できる見通しがつき、体験学習の内容が拡大でき、参加者の広がりの可能性を確認した。

●事業をよく知る関係者の声

草やダンチク等は成長が早いので、安全に通行するためには期間を短くして刈払いが必要。

●参加者の声

- ・大きくなったツバキをまた見に来たい。(小学生)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	伐開面積	県内	県外	計
0.13ha	50本	0.35ha	506人	4人	510人
樹種：ヤブツバキ、クロマツ					
実施場所：鹿児島市新島町					



ヤブツバキ、クロマツを植樹

富士山麓における森づくり整備活動



(公財) オイスカ

東京都杉並区和泉

●事業概要

富士山の森で病害虫の被害により枯死したシラベの人工林を、生物多様性に富んだ強い森に再生させることである。そのために、産官民で構成される協議会を組織し、協働による森づくりに取り組んでいる。

現在は、ボランティアによって植栽された約4万本の広葉樹の苗木を育てていくための育林作業を行っている。

主な活動は、①獣害・雪害・風害により被害を受けた植栽木の補植、②植栽木の成長を阻害する自然に生えてきた木の除伐、③下刈り、④獣害対策ネットのメンテナンス、⑤植栽木のモニタリング調査、⑥地元小学生の体験活動支援、⑦普及啓発のための勉強会の実施など。

●事業成果

人材育成の場としてフィールドを活用していく可能性も見えてきている。また作業に加え、子どもや親子向けの自然体験プログラムの試行やバス内での講義内容の再検討などを行った。活動の意義や森林の大切さをより理解いただけるような工夫を少しずつ具体化することができている。

●事業をよく知る関係者の声

除伐すると視界が開け成果を自分の目で見ることができるので良かった。(参画企業担当者)

●参加者の声

・シカ被害は大変だと改めて分かった。様々な人が関わっていくことも重要だと感じた。(企業参加者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.92ha	0.92ha	43人	289人	332人
実施場所：山梨県鳴沢村				



ネットのメンテナンス

上下流連携の循環型森づくり活動



やまづくりくらぶ

東京都世田谷区若林

●事業概要

目的は、放置されている群馬県川場村内の人工林(スギ・ヒノキ林)を下流域の世田谷区住民が地元の地権者等の村民と協力して整備する。主な活動は①地元住民と協力したボサ刈り・枝打ち・間伐。②下刈り。③間伐材を燃料に、近くにある広葉樹や竹林・松林の整備で発生するタケとマツを原料として炭焼き。④地元で計画されているバイオマス利用への協力。「循環型」の森づくりのサイクルの完成。

●事業成果

村で進められている間伐材活用バイオマス利用の一環としてチップ化ボイラー焚きによるハウス等への熱利用について、燃料の提供を申し出ている。今年度は材の均質化などについて関係者と研究を重ねた。また、新規会員のための間伐等の技術講習や、広葉樹林での森林整備の方法について研修会を実施、技量の向上を図った点は大きな成果。

●事業をよく知る関係者の声

炭焼きはくらぶのメンバーにまかせられるレベル。ただ、新しいメンバーについては、安全作業も含め、くらぶ内での指導が急務。高齢化による間伐量の減少に歯止めをかけるためにも新しいメンバーの技量向上を図ってもらいたい。(地元地権者)

●参加者の声

・炭焼きなど間伐材の活用にも参加したい。(川場村50代)
 ・手のこによる間伐の実習で、ようやく初歩の段階に入れたと思う。(くらぶのメンバー・世田谷区70代)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
間伐本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
73本	1.5ha	5.5ha	3.5ha	30人	114人	144人
実施場所：群馬県川場村						



枝打ち

緑の遺産「胎内」災害に強い森づくり



四季を愛する会

新潟県胎内市赤川

●事業概要

松くい虫被害で喪失した海岸林を再生するため、地域住民や子ども達と一しょに海岸に適する広葉樹を植栽した。

●事業成果

地域住民や子ども達が植樹活動を実施したことから、「地域の森」という意識が育まれた。

●事業をよく知る関係者の声

今回は継続してこの植樹活動に参加されている方も多く、慣れた手つきで植樹しているのが印象的だった。担当区画を植樹後、終了していない区画への手伝いもスムーズに行われた。地域にこの活動が根付いてきたと感じた。(緑化推進委員会)

●参加者の声

・当初からこの植樹活動に参加しているので、植えるのにも慣れてきた。去年は悪天候で寒い中での植樹だったが、今回は天候に恵まれて良かった。海岸林の再生をめざしてこれからも活動に参加したい。(地元参加者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.48ha	2352本	172人	172人
樹種：エノキ、シロダモ、タブノキ、アベマキ			
実施場所：新潟県胎内市			



エノキ、シロダモほかを植樹

国民参加による災害に強い森づくり事業



(特非) 里山グリーン新潟

新潟県阿賀野市出湯

●事業概要

災害に強い森林づくりを目的に、森の整備および再生活動を行っている。

森林資源を有効活用し、地域の住民・子どもたちに伐採や植林活動を通じて楽しい時間を過ごしてもらい、かつ森林の大切さや森林エネルギーの仕組み等を学び体験してもらい、事業活動の周知および理解を深めていただいている。

●事業成果

少しずつ活動面積を増やし、山の魅力を発揮できる環境づくりを行った。結果、森林のもつ癒される空間づくりに寄与し、参加者に喜んでいただいた。

森の生物、植物と共生感を体験できるイベントを行った。結果、参加者へ森の生物や植物がなぜ必要なのかの意味を深めていただいた。

●事業をよく知る関係者の声

植林をする場所は草木が繁っており、サルがいても気づかない高さや密度であった。下刈り作業の目標範囲はなんとか達成できたが、これを維持するには定期的な下刈り作業の実施および伐採が必要である。(下刈り実施者)

●参加者の声

・伐採等、普段の生活では体験できないようなことを学べて嬉しかった。(10代)

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
1.5ha	300本	1.5ha	1.5ha	1.5ha	145人	10人	155人
実施場所：新潟県阿賀野市							



植樹会

北潟湖の森を育む子どもたちの森づくり

北潟の森協議会

福井県あわら市波松

●事業概要

あわら市北潟湖周辺め荒廃が続いている森林の再生を目的として市民、企業、小学校、こども園、NPOや行政が連携して森の中での体験活動（除間伐、枝打）と森の木やタケを利用した木育体験活動を実施した。活動内容は①浜街道の整備、②荒廃している森の整備、③森林、林業の木育体験。

●事業成果

北潟湖周辺の荒廃してきた森林が少しずつ再生され、地域の住民や小学校、こども園との連携もできつつある。あわら市だけでなく坂井市へも木育活動を通して拡がり出した。地域の小学校やこども園、公民館、NPO等の連携ができ、達成状況は良かった。

●事業をよく知る関係者の声

北潟の森協議会は会員を良くまとめ、森林体験活動を小学校や地域を巻き込みながら、活動して来ていると思う。今後の課題は後継者の問題。（学校関係者）

●参加者の声

- ・植樹や木育体験ができて良かった。（外国の親子）
- ・初めてなので次からも企画があれば参加したい。僕たちの学校の近くの国有林の中で林業体験（枝打）ができ、森林の大切さがわかりとても勉強になりました。（小学校5年生）

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	計
0.1ha	50本	0.1ha	0.1ha	0.1ha	258人	258人
樹種：トベラ						
実施場所：福井県あわら市、坂井市丸岡町						



トベラを植樹

持尾フィールド斜面林復旧事業



(特非) 里山倶楽部

大阪府松原市立部

●事業概要

目的は、台風時の大雨で流出した斜面林の復旧、および、ボランティアでも可能な作業方法を学び今後の森林災害に備えることである。主な活動は以下のとおり。①ボランティアによる斜面林の復旧作業（土留め工、排水溝整備、植樹など）、②災害復旧講座の開催（全7回、専門家を招聘、作業実習や安全管理など）。

●事業成果

前年度の整備は応急的なものであったため、一部土砂の再流出、地盤の割れ目、排水の不備などが生じていた。今年度は専門家に指導をうけて斜面復旧をやり直し、それらの不備を改善できた。また講座を開催することにより、現地調査、動力機械の使い方や救急法などを、新しい参加者とともに総合的に学ぶことができた。

●事業をよく知る関係者の声

参加者には伝えるべき要点は伝わったと感じている。現地については、いろいろ考えさせられます。地震・大雨・風害、どれも年々、地球温暖化と経年劣化によって、維持が難しくなります。早めからの予防。自然と共に生きる。まさに里山だからできる、未来への柔軟な対応を考えるべきかと。（防災講座講師）

●参加者の声

- ・全体の保全か防災か、1本の木を伐るにしても意見が違う。でも自然を守りたい思いは変わらないので、各々が意見を出しあって前に進むことが大切。（50代男性）

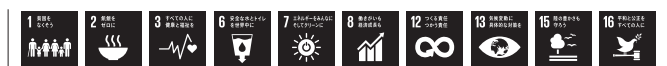
実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	府内	計
0.04ha	26本	0.11ha	135人	135人
実施場所：大阪府松原市				



下刈り

災害救援ボランティア活動



(特非) JLC兵庫

神戸市兵庫区塚本通

●事業概要

災害時に強い環境整備の一環として、樹木の伐採、河川の大雨洪水時に氾濫区域における樹木伐採を行った。

①千丈寺湖周回道路の樹木伐採、風化した樹木の伐採及び撤去。水路確保のために側溝整備。②河川の両側のり面部分の樹木伐採、川底の樹木及び草刈り、ツルの撤去。③一般ボランティアの参加による災害訓練。④年一回の訓練開催によって、災害時に有事即対応できる意識統一を図る。⑤林道等周辺の緩傾斜地で、枯損木・形質不良木伐採やツル切等を行い、日当たりが良くなるなど効果が出ている。また、市民の方々の憩いの場として、森林と触れ合う機会を通じて整備の大切さを共感できた。

●事業成果

足場の悪い傾斜地での作業だったが、高所作業の足場や重機なども使い、安全指導等を徹底し、初参加者は比較的細い木から伐採することで次の作業につなげることができた。参加者の中からもこの訓練を通じて、河川環境の整備の大切さを学び、今後も整備事業に参加したいとの声もあった。

●事業をよく知る関係者の声

短期間に活動地域の河川断面確保を完了いただき感謝しています。また、作業を通じ地域住民とも交流いただき、より良い関係を築いていただきました。(市役所担当課)

●参加者の声

・作業を通じて、森林保護や手入れなどについても学ぶことができ新たな発見となりました。(20代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	間伐面積	県内	計
1.6ha	3.94ha	437人	437人
実施場所：兵庫県三田市			



川底のツル撤去

蘇る熊野の森大日山プロジェクト 2018(3番区)



(特非) 三つの森

和歌山県東牟婁郡太地町

●事業概要

田辺市本宮町大日山の地滑り工事跡地の緑化が、斜面の表土排出と獣害のため進展しない。その不自然な景観の修復及び森林の再生による保水力増強を目的とした植樹活動である。

3番区に母樹とその間に小苗木を植え、地力強化のため堆肥、落ち葉を補充した。

●事業成果

植樹された苗木は着実に活着し、下草も次第に増え、土壌の保湿度は高まっているようだ。落葉樹(クヌギ、ヤマザクラ、コナラ、アカメガシワ等)は常緑樹よりも平均して活着率がよい。

●事業をよく知る関係者の声

国道から目立つ大日山の植樹斜面が年月と共に少しずつ緑地化が広がっていくことを期待しています。ボランティアの方々に感謝です。

●参加者の声

・平成30年8月の二度の台風直撃で大日山の被害も心配したが、斜面の崩落も少なく今まで植えた苗木も大きな被害もなく良かった。苗木は1番区、2番区が目立って成長している。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.2ha	2180本	38人	7人	45人
樹種：アラカシ、イチイガシ、ウバメガシ				
実施場所：和歌山県田辺市本宮町				



アラカシ、イチイガシ、ウバメガシなどを植樹

「銀林の恵み森活プロジェクト」で 山林災害を無くそう!事業



「銀林の恵み森活プロジェクト」実行委員会

島根県大田市大田町

●事業概要

平成28年度より当事業を続けている。目的は、「災害に強い森林づくり」をめざしている。おもな活動は、以下のとおりである。①35地点調査の「森の健康診断」の結果についての共有化、②国土防災技術(株)の田中賢治氏の現地指導の下に、アカマツ林の再生着手と災害に強い森林づくりの試行、③先進地域の情報の共有、④チェーンソー安全技術研修会の継続と技術の向上、⑤山主・市民・学生への普及啓発。

●事業成果

事業への参加者は100人前後と定着しつつある。また、新しい情報や知識の習得ができ、関係機関への広報の必要性を感じた。この3年間の取り組みは、今後の基礎となる実績を積上げることができた。アカマツ植栽手順の実地確認ができた。

●事業をよく知る関係者の声

事業対象山林の整備を行う基礎ができたので、活動に期待したい。(研修会講師)

アカマツの植栽方法についての知識が不足している。今回のような方法で行えば間違いがないので、普及してほしい。(研修会講師)

●参加者の声

・林業について、地元ではあまり関心がない。こうした活動にもっと参加すべきでは。(60代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付本数	除伐面積	研修会・講習会	県内	県外	計
30本	0.5ha	5回	90人	4人	94人
樹種：アカマツ					
実施場所：島根県大田市、川合町					



チェーンソー研修会

徳島県那賀町木沢 森林整備事業



(特非) 烏雲の森沙漠植林ボランティア協会

徳島市佐古五番町

●事業概要

那賀川上流域の台風被害を被った地域に、針葉樹の人工林に代え、保水力に優れているケヤキを中心に針葉樹なども植林し、自然災害に強い森林づくりをめざす。

近年の課題はシカの食害で、従来のネットに替えて支柱を立てネットを巻く方式にしている。しかし、ウサギが増え、この対策も考えつつ事業を行っている。また、シカが食べないミツマタを植林している。現地のミツマタクラブと連携して収穫したミツマタを売却する事で、地場産業と過疎対策に役立つと考えている。

●事業成果

広葉樹を植林して地滑りに強い森林をめざす。また、ミツマタを活用して微力ではあるが、地域の活性化につながればと思っている。

●事業をよく知る関係者の声

都市のボランティアの方々が長年に渡り支援をして下さり感謝している。引き続き皆さんに協力していただき、地元の山を元気にしていきたい。(地元林業家)

●参加者の声

・参加して初めて山の整備の大切さを知りました。針葉樹が地滑りに弱い事やシカとミツマタの関係など、良い経験をさせていただき感謝しています。引き続き活動に参加して、早く自然が戻って来る事を願っています。(初めての参加者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.2ha	650本	13人	1人	14人
樹種：ケヤキ、ヤマザクラ、ミツマタ				
実施場所：徳島県那賀町				



ケヤキ、ヤマザクラ、ミツマタなどを植樹

緑化の推進

「つたえよう美しき森」獅子吼高原 森のふれあい音楽会

「つたえよう 美しき森」推進委員会

金沢市古府

●事業概要

当委員会では、“森を知るにはまず森に行き森に親しむことから”といった考えによって、県民参加型の様々な事業展開を行っている。今年度はこれまでの「獅子吼高原 森のふれあい音楽会」を発展させ「獅子吼高原アウトドアFes.『もりもりの森』&森のふれあい音楽会」を開催。獅子吼高原の山頂での広葉樹の植栽やトレッキングのほか、テントブースでの工作体験などを実施。アーティストによるミュージックステージなどの多彩なプログラムにより、森で楽しく過ごしながら森林保全の必要性を石川県民に理解してもらう。

●事業成果

参加者増加につなげるため「アウトドアFes.」としてのイベント要素を多く盛り込む。山頂の森の遊歩道を散策するトレッキングやコナラの植栽には、昨年の倍近い参加者があり、広葉樹の森を広げながら森に対する理解を深めてもらった。芝生広場ではテントブースを並べ、木を使った様々な工作体験やハンドクラフトの販売があり、森に賑わいがあった。参加者は昨年の4倍となった。

●参加者の声

- ・家族で木を植えられてよかった。成長を見に来たい。
- ・今日はいろんなイベントがあったけど、これを選んでよかった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.1ha	20本	66人	66人
樹種：クヌギ			
実施場所：石川県白山市			



クヌギを植樹

子どもと地域のための森の健康診断 普及事業



森の健康診断出前隊

名古屋市熱田区六野

●事業概要

- ①目的：森の健康診断の手法を全国に広める。内容：森の健康診断出前事業を延べ33回実施。
- ②目的：熱意のある教師に体験してもらうことで、学校での実施につなげる。内容：教員向けの研修およびJr（高校・大学生）体験会を3回開催（主催）。
- ③目的：学校と地域と当団体とで連携して地域の子どもの森林教育を考える。内容：森林環境教育指導者と地域の活動者の体験&交流会を長野県で小規模出前実施。
- ④目的：モニタリング手法として森の健康診断の活用を紹介・広める。内容：森林整備活動団体のための森の健康診断活用研修会を4県に出前実施。

●事業成果

森の健康診断出前事業をさらに拡大。8県18団体延べ30回実施。講師158人を派遣し、受講者は954人だった。

●事業をよく知る関係者の声

森の健康診断の地道な活動が全国に広がり続けている。中でも子どもの森の健康診断は大人から子どもへ、教師や高・大学生を巻き込み、世代を超えて森についての学びをつないでいる。（森林整備NPO）

●参加者の声

- ・ビックリしたのは、切った木から水が出てきたことです。先生が、これは木が土から水を吸っているからだと教えてくれました。（小学5年男子）

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数			
	受講者	県内	県外	計
森の健康診断 30回	954人	95人	117人	212人
実施場所：愛知、長野、岐阜、静岡、滋賀、大阪など8府県				



小学校での「森の健康診断」

活樹祭～水源林・森の恵みと活用を学ぶキャンププログラム



(特非) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区神田小川町

●事業概要

目的は、生活を支える水源環境を学び、森林を守ることの大切さを学ぶことである。主な活動は以下のとおり。①森林が育む豊かな自然環境、特に水が森林によって適切に保たれることを学ぶ体験アクティビティである源流体験、②人工林のスギの伐採体験、③伐採したスギを利用した木工(スプーンづくり)、④木材を燃料として活用した食事づくり。以上の体験を通じて、森が生活全般に関わっていることを体験を通じて学ぶことができた。現地のNPO多摩源流こすげと協働し実施した。

●事業成果

森林整備の大変さを実感することができた。また、森の管理上、課題となっているシカの話をしていただき、夕食に現地で捕れたシカ肉を使った料理を行うなど、森林の持つ課題として話題の範囲も拡げて伝えることができた。

●事業をよく知る関係者の声

源流体験や間伐体験など、体験の最中にどんどん自分から進んでやるようになった過程を見て、子どもたちの成長ぶりを実感することができた。(ローソン)

●参加者の声

・シングルマザーではできない体験をさせていただき感謝しています。子どものイキイキとした姿を見ることができ、驚き、また同時にうれしく思いました。(母親)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
間伐面積	森林資源活用	県内	県外	計
0.5ha	3本	8人	54人	62人
実施場所：山梨県小菅村				



間伐体験

日豪環境ボランティアプログラム 2018in五木村～森と水の心のふるさとを未来につなぐ～



五木村 日豪環境ボランティア実行委員会

熊本県球磨郡五木

●事業概要

目的は、手入れ不足となっている山林の作業道路や保護を必要している自然資源の保全活動等を行うことである。主な活動は以下のとおり。①絶滅が危惧される希少植物(イワザクラ) 保全のためのネット設置、②Fishキャッチ&リリース区間周辺環境の整備(清掃)、③里山林の作業道兼遊歩道の整備、④手入れされた森、木材の活用事例、自然林のおりなす景観、山が生み出す清流を現地等で学習・体験、⑤貴重な山の恵みを(再)発見する場の創出。

●事業成果

今回の活動をきっかけに組織が立ち上がり、村民とボランティア参加者が協同することで、具体的に動き出すことができた。森林組合職員の指導を仰ぐことで、ケガ人もなくプログラムを終了することができた。

●事業をよく知る関係者の声

地域資源を保全し次世代へ継承することの大切さ・意義を再確認する機会になった意義ある活動である。(役場職員)

●参加者の声

・希少植物の保全活動の後、下山しながら専門家による木々や植物の解説をその場所で聞けるという取り組みは良かった。(30代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
ネット設置	作業道整備	県内	県外	計
240m	300m	56人	52人	108人
実施場所：熊本県五木村				



作業道の整備

活樹祭～森の恵みと活用を学ぶキャンププログラム



(特非) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区神田小川町

●事業概要

目的は、日本の森林課題や森の魅力・恵みを学ぶ環境教育プログラムを実施し、子どもたちの森林・自然環境への関心を育むこと。主な活動は以下のとおり。①人工林でのスギ伐採体験、②「ぼくらの里山いきものゲーム」を通して森の保全活動について学ぶワークショップ、③フィールビングを用いた森の散策、④木材を燃料として活用した食事づくり、⑤木材を使っのキャンプファイヤー、⑥スギの葉を使った草木染。これらを宮城県内で森のようちえんを運営している「森のようちえん虹の森」と協働し実施した。

●事業成果

宮城県母子福祉連合会の協力を得て母子家庭の家族を対象に参加者を募った。活動では「木を全て活用する」ということを参加者に意識付けすることもできた。これらの活動を通して、子どもたちの社会性の向上も見ることができた。また母親同士も交流していた。

●事業をよく知る関係者の声

1年生の女の子は、上級生がフォローしてくれたこともあって、最後にはみんな仲良くなっていた。(ローソン)

●参加者の声

・普段は子どもにこのような体験をさせてあげることができないので、とてもいい経験になった。(母親)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
間伐面積	森林資源活用	県内	県外	計
0.7ha	3本	8人	54人	62人
樹種：スギ				
実施場所：宮城県川崎町				



間伐したスギを玉切り

学校教育環境向上のための緑化事業



(公社) 島根県緑化推進委員会

松江市母衣町

●事業概要

目的は、2020年に全国植樹祭が開催される大田市三瓶山での緑の少年団によるサクラの植樹及び固有植物（オキナグサ、ユウスゲ、ヒロハノカワラサイコ）の保存を図るための植栽活動の実施である。主な活動は以下のとおり。①緑の少年団校である池田小学校敷地内のサクラ枯損木の伐採と跡地へのエドヒガンザクラの植樹、②北三瓶小学校、志学小学校、池田小学校の緑の少年団合同で固有植物の植栽と①のサクラ枯損木の材を利用した紹介看板の設置。

●事業成果

①平成31年3月に池田小学校サクラ枯損木伐採跡地にエドヒガンザクラ5本を3少年団合同で植栽した。

②平成30年10月に三瓶山西の原で固有植物の植栽活動を3少年団合同で実施し、3aの植栽ができた。

●事業をよく知る関係者の声

各少年団が継続して実施していくことが重要であり、今後も指導を継続していきたい。(植栽指導者)

植栽したエドヒガンザクラは地域活動として育成したものであり、地域の小学校で活用してもらえうれしい。大切に育ててほしい。(苗木を育成した地域団体代表)

●参加者の声

・植物の保護活動をしています。今まで以上に地域の人たちに知ってもらい、大切にしていきたい。(緑の少年団員)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.05ha	85本	101人	101人
樹種：エドヒガンザクラほか			
実施場所：島根県大田市三瓶町			



サクラを植樹

安全な間伐モデル事業



森づくり安全技術・技能全国推進協議会

東京都千代田区平河町

●事業概要

ボランティア等による効率的な過密人工林の間伐を推進する。さらに、安全に対する意識の定着と作業技術の向上を図り、安全な間伐活動のモデルを示し、全国の森林ボランティア団体間で同様の活動が広がる契機とする。

●事業成果

今回の事業は、高い技術と指導力を持つ講師を招き、安全な作業技術を学ぶ研修会と間伐作業の両方を行うものであることから、事業を実施した各フィールドにおいて、間伐による環境改善が実現したのみならず、参加者の技術・技能及び安全に対する意識が向上した。これは事業終了時の参加者の感想からうかがうことができ、参加者の高い満足を得られたと考えられる。

今後も実施してほしいとの声も聞かれ、安全な作業を学ぶ場のニーズが確かに存在するを知ることができた。

●事業をよく知る関係者の声

内容は優れたものであることは理解できるが、たとえば、受け口の角度をどのようにするのか等、既存のガイドラインとの整合をどのようにとるのが課題。(林業会社)

都道府県の研修機関等との連携協力が必要。(林業団体)

●参加者の声

・プロでもアマでも動力機械を使って作業を行うのであれば、森はどんなものでどのような付き合いかが適しているのかということを考える点において、この研修は効果的。(ボランティア団体責任者)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
間伐面積			
1.5ha	13人	34人	47人
実施場所：静岡県掛川市、岐阜県郡上市ほか			



伐採の研修

福を呼ぶ「フクギさんぽ道」プロジェクト



(公社) 沖縄県緑化推進委員会

沖縄県島尻郡南風原町

●事業概要

那覇市では、都市緑化を推進するため、昭和58年に公募によりフクギを市木として制定した。

フクギはこれまでも公園や街路樹等として市民に親しまれてきたが、那覇市内のフクギとしてすぐに思い浮かぶような名所がないのが現状である。

市民が緑に親しみ、那覇市のシンボルとして誇りをもてる「フクギさんぽ道」をめざし、企業の協力を得て、新都心に50年後、100年後の後世にも残るフクギの散歩道づくりをめざし「福を呼ぶ「フクギさんぽ道」プロジェクト」を実施した。このプロジェクトは、都市部の緑化の重要性をアピールするとともに、沖縄県で開催される全国育樹祭のプレイベントとして、式典を開催し、植樹・育樹作業を行った。

●事業成果

今年度は、約120mの植栽が実施され、残り100m程度となっている。

●事業をよく知る関係者の声

当該地は、那覇市内で来訪者の多い公園であり、植栽木の散水や除草等の管理が不十分であると苦情が寄せられることが多い。このため、地域住民の協力を得た維持管理を継続的に行うシステムの構築が必要となっている。

●参加者の声

・フクギが大きくなり緑陰をつくることに期待している。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
植付本数		
441本	150人	150人
樹種：フクギ、ミニサンダンカほか		
実施場所：那覇市		



フクギを植樹

学校教育環境向上のための緑化事業



(公社) 沖縄県緑化推進委員会

沖縄県島尻郡南風原町

●事業概要

全国育樹祭が令和元年12月に沖縄県において開催される。このため、お手入れ行事が開催される糸満市において、開催機運を盛り上げていくため、同市内の緑の少年団を有する小学校4校において、学校教育緑化事業を行った。

内容は、喜屋武小学校では、校内樹木植栽箇所の土壌改良等とタイワンコウメほか7種の植栽。米須小学校では、校内樹木植栽箇所の土壌改良等とヒカンザクラほかの植栽。真壁小学校では、リュウキュウマツの剪定、ソテツほかの植栽など。西崎小学校では、ハイビスカスほかの植栽等となっている。

●事業成果

糸満市内4校では、懸案となっていた校内の環境が改善され、各学校とも大きな喜びとなっている。また、緑の少年団の制服41着を贈呈したことにより、第43回全国育樹祭開催への参加協力が期待が高まっている。

●事業をよく知る関係者の声

各学校の緑化事業は、工事完成後に離任式等が実施され感謝を述べられた。植栽された樹木は大事に育てられるものと確信する。

●参加者の声

- ・参加校からは、全国育樹祭に期待する声が聞かれた。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
植付本数	40人	40人
147本	40人	40人
樹種：タイワンコウメ、パッションフルーツ、ヒカンザクラほか		
実施場所：沖縄県糸満市		



ヒカンザクラほかを植樹

こどもからお年寄りまで元気になる森づくり事業



羽幌みんなでつくる自然空間協議会

北海道苫前郡羽幌町

●事業概要

目的は、町内のビオトープをフィールドに、地域の幅広い世代がビオトープの森づくりに携わり、森の維持管理作業や動植物の観察などを通して、環境保全の意識醸成や世代間交流を図ることである。主な活動は以下のとおり。

①ビオトープでの補植や幼木周辺の下刈り等の維持管理作業を行い、ビオトープの緑化を推進する。②植樹会や外来種駆除イベント、クラフト体験会などの行事を通して、ビオトープの森林資源を活用しながら地域の自然環境や当協議会の取り組みを地域住民に伝える。③高校生に植樹、下刈り、樹木調査、生物調査などを体験してもらうことで、地域の自然環境を後世に伝える人材を育成する。

●事業成果

地元高校と協働し、植樹や草刈り、生きもの調査等の授業を行ったほか、こどもたちにビオトープの樹木について教えたり、クラフト体験を行ったことで、地域の自然を守っていく次世代の人材の育成に寄与することができた。

●事業をよく知る関係者の声

普段の活動に来てくれる若手を増やすには、高校生の参加をもっと呼びかけたい。(会員)

●参加者の声

- ・身近な自然の中で子どもが遊ぶ場所があるのは嬉しい。(30代女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付本数	下刈面積	イベント等	道内	計
240本	9ha	9回	689人	689人
樹種：ミズナラ、ヤチダモ				
実施場所：北海道羽幌町 ビオトープ「自然空間はほろ」				



ミズナラ・ヤチダモほかを植樹

活樹祭・親子森林教室 石垣島里山づくりプロジェクト



(特非) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区神田小川町

●事業概要

本プロジェクトは、耕作放棄地を森に育て、豊かな自然を育むとともに、森によるCO₂固定、海の環境保全にも寄与することを目的とした活動である。活動には、近隣の小学生をはじめ、地元のご家族にも参加していただき、島の自然の魅力や森が果たす役割を学ぶ環境学習も実施した。主な活動は以下のとおり。①森と海の関わりや森の重要性を学ぶ海辺での自然観察会とビーチコーミングの実施、②耕作放棄地への樹木の植樹、③県産材を使った木工体験ほか、昨年の植樹地の下刈りを行った。

●事業成果

今回のプロジェクトでは、地元のご家族をターゲットとしたことで、自然環境に対する特別感があまりないのではないかと心配していたが、地元の方だからこそ、気づかない自然があることに気付くことができ、自然の魅力や重要性を発信することができた。

●事業をよく知る関係者の声

活動の状況や報告を聞いて、参加者にとっても充実した活動になったことが伝わりました。

●参加者の声

- ・島に住んでいてもこのような活動はなかなかないので、とても楽しく過ごすことができました。(30代女性)
- ・子どもは翌日もクラフトの続きを一所懸命やっていました。宝物になっています。(20代女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.3ha	100本	0.5ha	29人	6人	35人
樹種：シナモン					
実施場所：沖縄県石垣市					



シナモンを植樹

「グリーンウェイブ2019」記念植樹会



南市原里山連合

千葉県市原市飯給

●事業概要

小湊鐵道沿線で里山保全活動を取り組んできた市民・行政・民間が連携・協働して、小湊鐵道の車窓から眺められる再生地で「グリーンウェイブ記念植樹会」を開催した。

市民・企業・行政関係者等が参画して、植樹活動とともに草刈りなどを実施した。

●事業成果

市民参加で植樹活動等を行うことで、イベント当日はもちろん、その後も鐵道に乗車する観光客等に、市民参加によって里山保全がなされていることをアピールすることができるようになった。

永年にわたって里山保全活動を行っている市民団体等が、行政・企業等と連携してシンボリックな活動を行うことで、日常的に行っている市民参加の森林づくり活動への社会的評価を感じて、活動意欲を育む契機を提供できた。

●事業をよく知る関係者の声

周辺の里山保全団体が一致団結して、小湊鐵道と市原市と連携して森づくりを行うことで、広く一般に活動をアピールするとともに、参加者の社会的な満足感を高められるような工夫されている。(国連生物多様性の10年日本委員会関係団体)

●参加者の声

- ・里山保全をしている方々の活動があって、豊かな里山の風景が創られていることを改めて感じた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付本数	下刈面積	県内	県外	計
10本	1.2ha	55	5	60人
樹種：カツラ				
実施場所：千葉県市原市				



カツラを植樹

「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業



(公社) 宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤道理雨宮町

●事業概要

緑とのふれあい等を通して、沿岸被害住民と山村住民の交流も図りながら、東日本大震災からの復興を誓うとともに森林づくりの重要性を普及する。

●事業成果

参加された被災地の方々は高齢者が多く、地元の子どもたちといっしょに様々な体験活動を通して、孫のような子どもたちとのふれあいは心が和み本当に楽しいひとときを過ごせることから、こうしたイベントの効果は大きく、さらなる継続を望む声が大きかった。

●事業をよく知る関係者の声

被災者の方々に喜んでいただけたことがなによりである。急峻な山での下刈りや植林の体験は、高齢者にとっては負担を強いられることから、一層の安全面での配慮をすべきと思われる。(登米市担当者)

●参加者の声

- ・地元ではなかなか体験できない森林散策や自然の中での体験作業が楽しかった。(80代女性)
- ・浜育ちの私たちが、森林の大切さを知ることができたほか、地元の子どもたちとの交流により震災復興に向けてさらに頑張る気持ちを持つことができた。(70代男性)
- ・木工体験はなかなか難しかったが、皆さんに助けられながら楽しく作ることができた。(70代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付本数	イベント	県内	計
1200本	4回	200人	200人
樹種：ヤマザクラ			
実施場所：宮城県登米市東和町（米川生産森林組合所有林）			



ヤマザクラを植樹

熊本地震復興支援事業 (学校等緑化)

(公社) 熊本県緑化推進委員会

熊本市中央区水前寺

●事業概要

平成28年熊本地震による被災地域において、地域の復興を支援するため、学校や幼稚園、保育園等周辺の緑化により、子どもたちの共同生活の充実を図るとともに、緑の大切さや木のぬくもりを感じてもらおう事業とした。

●事業成果

今年度は、昨年までに配布できなかった地域の学校等に、植樹及びプランターを配布し、緑や木製品による潤いや木のぬくもりを被災者に届けることができた。

●事業をよく知る関係者の声

市町立の幼稚園や保育園では木のおもちゃ類は高価でなかなか買えないのが実態である。木のぬくもりのある良いものを提供いただき感謝している。(市町村関係者)

●参加者の声

- ・木製プランターに地域住民や生徒が植栽し水やりを行っており、木や花が大きくなるのが楽しみです。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
植付本数	230人	230人
22本	230人	230人
樹種：サクラほか		
実施場所：熊本県大津町、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町		



サクラを植樹

熊本地震復興支援事業 (学校等木製品提供)

(公社) 熊本県緑化推進委員会

熊本市中央区水前寺

●事業概要

平成28年熊本地震による被災地域において、地域の復興を支援するため、学校や幼稚園、保育園等の子どもたちの共同生活の充実を図るとともに、緑の大切さや木のぬくもりを感じてもらおう事業とした。

●事業成果

今年度は、昨年までに配布できなかった地域の学校等にベンチ、木製遊具等を配布し、緑や木製品による潤いや木のぬくもりを被災者に届けることができた。

●事業をよく知る関係者の声

市町立の幼稚園や保育園では木のおもちゃ類は高価でなかなか買えないのが実態である。木のぬくもりのある良いものを提供いただき感謝している。(市町村の関係者)

●参加者の声

・ベンチや木製遊具に木のぬくもりを感じながら、過ごし遊ぶことができありがたい。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
ベンチ、木製遊具等配布	310人	310人
72個	310人	310人
実施場所：熊本県大津町、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町		



木製遊具で遊ぶ子どもたち

平成30年7月豪雨災害広島支援事業



広島県林業改良普及協会

広島市中区基町

●事業概要

目的は、豪雨災害により長期化する避難所生活においては、プライバシーの保護や生活用品の整理など生活環境の改善を図るために実施した。

主な活動は、避難所等において、間伐材を活用した組立て式の棚(組手什)を組立て、提供した。

この取組みは、広島県林業関係8団体が連携して行い、避難所での組立ては、これらの関係団体及び広島県林務関係OB職員の協力を得て行った。

●事業成果

避難所等において、組手什を提供することにより、生活環境の改善は図られた。

また、間伐材の利用や森林整備の意義の普及が図られた。

●事業をよく知る関係者の声

組手什を見た避難者からは、自分もほしいとの希望が寄せられた。課題としては、避難所へは早期に対応する必要があるが、組手什の製作には期間を要するため、災害時に早期に対応するためには、ある程度在庫を確保しておく必要がある。

●参加者の声

・災害支援のボランティア活動に参加でき、少しでも被災者の役に立つことができ満足感や充実感が得られた。(組立てを担当した林業関係団体及び県OB職員)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
組手什提供		県内	計
大24組	小73組	30人	30人
実施場所：広島県熊野町、坂町、三原市			



組手什の組み立て

九州北部豪雨復興支援事業 (学校・仮設住宅団地等緑化・木製品提供)

(公財) 福岡県水源の森基金

福岡市中央区天神

●事業概要

平成29年7月に発生した九州北部豪雨による被災地域において、地域の復興を支援するため、学校や仮設住宅団地等周辺の緑化により、子どもたちや被災者の共同生活の充実を図ると共に、緑の大切さや木の温もりを感じてもらう事業である。主な活動は、被災地域の保育所、幼稚園、小中学校及び仮設住宅団地等へ県産材を使用した遊具、プランター、テーブルなどの贈呈を行った。

●事業成果

被災から1年半経過した現地で、特に要望が強かった主に幼稚園、保育所、保育園等において木製の遊具やテーブルセット、園児の靴箱等を提供。園児達の喜ぶ姿と笑顔に接することができた。

●事業をよく知る関係者の声

県産木材にこだわって製品を作成したため、製作期間が長期に渡り、納品が契約期日ぎりぎりとなった。こだわりを持った製品を提供するためには余裕が必要。

●参加者の声

- ・福岡県産のスギ・ヒノキの無垢材を使った製品は重く運ぶのが大変だった。しかし、その分被災された方の心が和むように感じられた。
- ・子どもの笑顔を引き出せる物品提供は参加者にとっても充実感が得られる。

実績とりまとめ表

木製品提供		参加者数	
設置箇所	設置数量	県内	計
25	358	17人	17人
木製プランターカバー、ヒノキ製ボックスほか			
実施場所：福岡県朝倉市、東峰村			



木製の遊具やテーブルセットを寄贈

平成30年7月豪雨災害西予地区支援事業

西予地区林材業振興会議

愛媛県八幡浜市北浜

●事業概要

平成30年7月豪雨災害は、当地区において甚大な被害をもたらし、西予市内の被災者は約2ヶ月に及ぶ避難所生活を経て、今後、最長で2年間の仮設住宅での生活が始まったが、生活用品を整理するための収納棚等が不足していた。

このため、平成30年10月11日に間伐材を活用した組み立て什器(組手什)70セットを仮設住宅2カ所に提供し、生活環境の充実を図るとともに、あわせて木のぬくもりと間伐材利用等森林整備の意義について普及を行った。

●事業成果

これまで当会は、林業関係者が集まり、地域で行われる催し物の場での地域材のPR活動や研修会を開催するとともに森林林業教室等を開催してきた。

今回、仮設住宅の住民に対し、木材という素材の自由度と、木製品を住環境に利用することによる心のゆとり等について伝えることができた。

●事業をよく知る関係者の声

平日であったため、仮設住宅からの参加者が少なかった。後日の組み立てのフォロー等にも努めるようにした。

●参加者の声

- ・余りを残さずにカットする方法や利用方法が理解できた。
- ・また、他の住民から“あれなら欲しい”という声が聞かれた。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
組手什配布			
70セット	15人	3人	18人
実施場所：愛媛県西予市			



組手什の組み立て

植樹会と間伐材利用イベントを通じた、富良野の森づくり人づくり事業



(特非) C・C・C富良野自然塾

北海道富良野市下御料

●事業概要

目的は、植樹や間伐作業を通じて、我々動物が生きていくために必要不可欠な森の役割を伝えることである。また、森づくり作業に参加することにより、地域の人(特に若い世代)を育てることにある。主な活動は以下のとおり。①元ゴルフ場跡地のフィールドに自分たちの手で穴を掘って木を植える。②森づくり活動の重要なフェーズである間伐の意味を知り、実際に間伐を行う。③間伐材を利用した調理やクラフトプログラムを開発する。④スノーシューや双眼鏡を用いて冬の森に入り、森に触れ合う。

●事業成果

富良野地域で野外での幼児教育(森のようちえん)を行っているNPO「森のたね」と協働で、小さい子どもたちにも森づくりの大切さを教えるプログラムを実施できた。また、ボランティアの受け入れが昨年に比べて倍増した。

●事業をよく知る関係者の声

植種にヤナギを混ぜていることが、北海道の森づくりという観点からすると素晴らしい。(道南の自然ガイド)

「なぜ木を植えるのか」について説明してから植樹するので、目的意識をもって活動できる。(ボランティア)

●参加者の声

・みんなが植えた木達はどんな森をつくってくれるかな？
また大きくなったか見に来ようね。(20代男性 保育士)

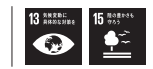
実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	間伐面積	道内	道外	計
1.2ha	1831本	0.3ha	207人	5人	212人
樹種：ミズナラ、ハルニレ、ヤチダモ、ホオノキ、ナナカマドほか					
実施場所：北海道富良野市					



ミズナラ、ハルニレなど16種を植樹

森と緑と湖のマチ、そらの森づくりプロジェクト



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ運営 代表者会議

北海道釧路市新川町

●事業概要

遊休地となっている弟子屈空港跡地を観光客や地域住民が楽しむ為の森づくりをすることを目的としている。主な活動は、①植樹活動、②環境に対する意識向上と共生社会の実現をめざした木育教室の開催。

●事業成果

跡地に植樹を行い、一昨年からはじめたシラカバ並木の植樹も順調に延伸している。木育教室では地元の木材を使用したカトラリーを作成し、日常の中に地元の木製品が活用され木の温もりを学んでもらえる事ができた。

●事業をよく知る関係者の声

森全体の育成を見据えた活動をしている。(植生業者)

参加者が楽しそうに作業しているのが印象的だった。自分で作ったスプーンやナイフを愛着を持って大切に使用してもらいたい。(木工業者)

●参加者の声

- ・去年植えた木が成長していてびっくりした。(30代女性)
- ・自分で作った木のスプーンだと何だかおいしく感じられそう。(50代男性)
- ・ドングリの鉢植えをいただいた。早くこの森の一部になれるよう頑張って育てたい。(10代女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	道内	計
0.3ha	250本	0.8ha	114人	114人
樹種：ハルニレ、ミズナラ、トドマツ、アカエゾマツ、シラカバ、クルミほか				
実施場所：北海道弟子屈町				



ハルニレ、ミズナラ、トドマツほかを植樹

いのちの森づくり植樹祭 IN 奥沢 水源地 VOL 6



北海道千年の森プロジェクト

北海道小樽市築港

●事業概要

さまざまな人が集まり、地球環境を意識し、地域住民との協働で植樹を行う。そのことで防災や自然環境への意識を高めるとともに、近年、都市開発などにより多くの自然が破壊されるなか、「いのちの森」を守り再生させる為、奥沢水源地にて6回目となる「いのちの森づくり植樹祭」を開催した。

●事業成果

土地所有者の小樽市や北海道の関係機関との協働体制もとれ、スムーズな運営ができた。近隣の小学校や中学校からの参加もあった。千年の森会員企業の家族での参加が多くみられたのも効果が出てきた実感である。小樽市が今後進める奥沢水源地の公園化に向け、私達が植樹を続ける事により市民公園の計画に関与し、今後も環境教育との二本柱で事業を進めたい。

●事業をよく知る関係者の声

続けて参加する人も多く、また学校や企業単位で参加してくれるようになって、環境保全などへの関心の高さを感じた。(理事)

●参加者の声

- ・来年は友人を誘って参加したい。(中学生)
- ・これからも地域の環境保護活動に参加したい。(50代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	除伐面積	道内	道外	計
0.05ha	1850本	0.07ha	160人	12人	172人
実施場所：北海道小樽市					



小・中学生も植樹に参加

オオヤマザクラ等の保育活動を通じた地域を結ぶ森林づくり

岩木山桜会議

青森県弘前市御幸町

●事業概要

目的は、津軽地方のシンボリック的存在である岩木山の麓の沿線に植えられた街路樹(オオヤマザクラ)の保育・保護と景観の維持及び体験林業と森林観察会の開催。内容は、①街路樹への補植、ツル切、枯木・枯枝・被陰木の伐採撤去及び作業沿線清掃、②弘前城築城400年記念として植えた森へ補植、下刈り・ツル切り及び森林観察。

●事業成果

街路樹の手入れは、毎年場所を変えて実施していることから景観が充実してきている。体験林業・森林観察会は公募により実施したため、一般市民の参加者が多く、木々の成長には手入れが大切なことや名札をつけたことによる木の知識を得ることができた。なお参加者は2市3町に渡り、地域住民と世代間の交流の場ともなった。

●事業をよく知る関係者の声

継続して街路樹の手入れをしていることに頭が下がる。今後も安全第一で取り組んでもらいたい。(温泉経営者)

●参加者の声

- ・皆さんと一緒に汗を流したことに楽しさを知りました。今後も参加しようと思います。(70代主婦)
- ・記念樹が年々成長するのを見て感激しています。今日は木の名前も覚え、今後ますます楽しい森になっていきます。(60代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	計
8本	1ha	1ha	92人	92人
樹種：オオヤマザクラ				
実施場所：青森県弘前市(東岩木山国有林)				



オオヤマザクラの植樹

陸奥湾を守る周辺の森の仕組みを学ぶ植林体験事業



(特非) 白神山地を守る会

青森市浜館

●事業概要

青森市民の飲み水は八甲田山の恩恵を受けています。また、青森でホタテ養殖が盛んなのも豊かな森とフルボ酸を含んだ水があればこそです。しかし、青森市内の子どもたちは、そういう現場をあまり知りません。そこで、私たちが青森森林管理署と締結し植林活動をしている「社会貢献の森」で、山と川、川と海が自分たちの暮らしに与えてくれている仕組みを植林と学習を通して学び、広葉樹の森の必要性を体感してもらいたい。

●事業成果

校長会でのプレゼンテーション時に、青森市内でも大規模小学校からの参加の植樹祭と、「水質 生物調査・むつ湾水系」体験会を実施した。また、八戸市の大学生も参加しての植樹祭となり、小学生から大学生が参加したイベントを実施でき、その広がりを感じることができた。

●事業をよく知る関係者の声

青森市内でこれだけの規模で植樹活動を行っているのはこの会だけで、ますます広がりを見せているのに驚いている。応援していきたい。(森林管理署担当官)

●参加者の声

・植林は土がかたくて大変でしたが、いっしょうけんめいに掘って植えることができました。今回の行事で、自然を守る大切さとやさしさを学びました。(小学5年男子)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.7ha	140本	1.5ha	141人	141人
樹種：ミズナラ、イタヤカエデ				
実施場所：青森県平内町				



ミズナラ、イタヤカエデを植樹

八幡山桜(はな)の森整備事業 紅葉の森整備事業



手ノ子区協議会

山形県西置賜郡飯豊町

●事業概要

目的は、農地としての再生が困難な元採草地を「里山の森」に再生すること。桜の森、早春・初夏・初秋の花木の森、新・深緑の森、紅葉の森などを造り、雪解けから降雪までの期間、人々が楽しめる里山に整備する。今年度は、昨年度の「新・深緑の森」に「紅葉の森」づくりに着手した。また、「森づくり」と「里山を考える」集いでは、今年度も森づくりの意義と里山再生の重要性について学んだ。

●事業成果

「紅葉の森」の4分の3を整備ができた。森づくりは数世代にわたる取り組みが必要なことから、その一環として児童を対象に「苗作りからの森づくり」を行った。また、森の公益性は、周辺や川下だけでなく広範に及ぶため、都市との交流の必要性を痛感した。

●事業をよく知る関係者の声

昨年に比べ参加者が少なかった。特に子どもの参加呼びかけが必要。(協議会役員)

植栽が早く終わったため講演会の参加につながらなかった。日程を検討した方がよい。(協議会役員)

●参加者の声

・木を植えるのが楽しかった。(小学男子)

・このような里山の利活用を実践していることに驚いた。(70代森林組合役員男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.35ha	60本	0.4ha	111人	111人
樹種：サクラほか				
実施場所：山形県飯豊町				



ふるさとの風景づくり植樹祭



ふるさとの風景づくり実行委員会

福島県東白川郡矢祭町

●事業概要

耕作放棄地として荒廃している場所を、子どもたちに自慢できる風景となるようにすることを目的とした植樹活動である。あわせて新元号の記念と福島復興を側面から支援することを祈念する植樹祭とする。

子どもたちやその親、地区を離れた出身の方などによる植樹活動を行った。ここがふるさを見つめる(思い出す)原点になることもめざしている。

あわせて、原発事故で立ち入り規制されている富岡町のサクラを増殖した苗木、森林総合研究所が開発したサクラ「はるか」を植栽。

●事業成果

予想を超えて老若男女、幅広い世代の方々に参加いただいた。子どもを連れてお母さん、孫とおばあちゃんの姿が多かった。「この年齢になって記念植樹ができるとは思わなかった」と、喜んでいただいていたのは印象的だった。

●事業をよく知る関係者の声

土地所有者の方々の理解を得るために、日頃のつきあい(情報交換)と地域の人たちが本事業に取り組む気持ちを高めていくかが課題である。

●参加者の声

・地区でこのような催しは初めてで参加して良かった。耕作放棄地が広がっており何とかしなければと思っていた。子ども達にとっても良い思い出ができた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.1ha	55本	30人	23人	53人
樹種：サクラ				
実施場所：福島県矢祭町				



サクラを植樹

川内ふるさと ふるさと触れ合いの森づくり

川内村商工会

福島県双葉郡川内村

●事業概要

目的は、地域民が身近に慣れ親しんできた森林を誰もが触れ・感じる事ができる場所に創生すること。

●事業成果

特別養護老人ホームの空地がすべてに植樹がされ、子どもたちの森林環境学習に活用されることで、入所者ばかりでなく近隣のお年寄りの憩いと触れ合いの場となる可能性がある。

●事業をよく知る関係者の声

川内村の樹種を植樹し森を構築することにより、人と自然のつながりを身近で体感することができる機会となる。(行政職員)

継続して手入れをする任意団体を立ち上げなければ朽ち果ててしまう。(婦人会)

●参加者の声

- ・雨続きで土がぬかるんでいたので足を取られて大変だったが、特養に緑が増えて散歩をするとき気持ちが良いだろうと思った。(50代入所者家族女性)
- ・村民の方と入所者さんの触れ合いの場にしたい。(60代特養職員女性)
- ・自然に触れる大切さが子どもたちの教育学習に役立つと良い。(30代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.02ha	285本	34人	34人
樹種：ヤマモミジ、アオハダ、ナツハゼほか			
実施場所：福島県川内村(特別養護老人ホームかわうち)			



ヤマモミジ、アオハダほかを植樹

市民・子どもたち参加の里山保全活動

(特非) こが里山を守る会

茨城県古河市恩名

●事業概要

目的は、里山の保全整備活動に市民・子どもたちが加わることで、多くの市民が里山に関心を持って、ふるさとの里山保全と自然環境保全の認識が高まる事業である。主な活動は、会員による月2回の定例活動(下刈・藪地の整備ほか)を実施。小学生の体験活動は、里山の生物調査・恵み体験、中学生は、立ち枯れ木のモニタリング調査・保全整備活動、園児は里山体験(どんぐり拾い)。市民・子どもたち参加による観察会・下刈・サクラを植樹した。

●事業成果

活動がマスコミ等に取り上げられ、市民の関心が高まったことと、子どもたちは里山との「ふれあい」が強まったことにより、親子間における里山体験会話等から、身近なふるさとの里山を残そうとの保護者の認識が高まってきた。

●事業をよく知る関係者の声

市の支援が積極的であることにより、里山に関わる市民の反応が良く、活動に参加したいとの声が多い。また、市内の進出企業から社員のCSR活動として、里山整備活動に参加したいとの声があり、保全活動を実施した。現在、加盟企業は計21社である。

●参加者の声

・市民が関心を持って「ふれあう」里山として、景観を重視した「花山」づくりを加えた里山をすすめてほしい。

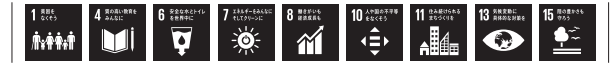
実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	計
0.5ha	100本	6.5ha	0.4ha	1139人	1139人
樹種：ソメイヨシノ					
実施場所：茨城県古河市					



サクラを植樹

渡良瀬川源流の荒廃地緑化事業



(特非) 足尾に緑を育てる会

栃木県日光市足尾町

●事業概要

目的は、銅山の煙害で荒廃した足尾の山に木を植えることをとおして、自然環境の健全化に貢献することである。主な活動は以下のとおり。①ボランティアを募集し植樹会を開催(春の植樹デー)。②植樹後の下刈りや枝打ち等の管理作業(夏の草刈デー、毎月第3土日の作業デー)。③小学校を中心とした団体の植樹活動の支援(体験植樹)。

●事業成果

樹木管理の道具購入により、生長してきた樹木の管理作業を円滑に安全に行うことができた。植樹行事の助成により、広くPRすることができ多くの参加につながった。また、環境学習バスツアーという新たな取組を行い、植樹活動への新規参加者を増やすことができた。

●事業をよく知る関係者の声

植樹参加者及び植樹本数が順調に規模拡大している一方、植樹場所の草刈や間伐、動物の食害防止など維持管理が増加し、スタッフの確保や育成が必要になってきている。足尾の荒廃地は広く緑化はこれからも必要なため、長期にわたり活動を続けていける組織の基盤整備を進めてほしい(県内の団体会員)

●参加者の声

・若いボランティアが頑張っていてうれしい。(60代男性)
・紙芝居や写真を使用した説明は、植樹の意義や目的、その方法について理解しやすい。(小学校教員)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
1.2ha	1万5587本	0.4ha	2959人	4912人	7871人
樹種：コナラ、クヌギなど35種					
実施場所：栃木県日光市足尾町					



コナラ、クヌギなど35種を植樹

高尾小仏植樹祭2018



(特非) 国際ふるさとの森づくり協会

東京都世田谷区若林

●事業概要

目的は、約50年前の中央自動車道建設時に発生した小仏トンネルのズリ置場(小仏盛土場)に市民の手による森づくりを行うことで、周辺の豊かな自然環境にふさわしい景観を創り、災害防止機能や水源涵養機能などの多面的機能を持つ森林再生の普及・啓発を行うことである。

主な活動は、9月24日に、市民約280人が参加し、郷土樹種の常緑及び落葉広葉樹のポット苗を植える植樹祭を開催した。

●事業成果

晴天に恵まれ、昨年の約4倍の人数が参加した。家族連れでの参加が目立ち、幅広い年齢層の参加者にお越しいただいた。植樹を指導する植生工学士の呼びかけによって、企業からの団体参加が増えた。

●事業をよく知る関係者の声

今年は借り上げバスの運行があったため、会場へのアクセスが良くなった。全体的に時間が押してしまったため、植樹する時間が限られてしまい残念だった。(協力団体担当者)

●参加者の声

- ・楽しかった、やり甲斐がある植樹だった。
- ・森づくりと社会のつながりが実感できるイベントだった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	都内	都外	計
1.08ha	4089本	140人	140人	280人
樹種：アカガシ、ガマズミ、コナラほか				
実施場所：東京都八王子市				



アカガシ、ガマズミ、コナラほかを植樹

市民参加による茨城高萩の森づくり人づくり



(公財) ボーイスカウト日本連盟

東京都杉並区下井草

●事業概要

目的は、地元小学生と共にどんぐり植樹を含む「緑化推進活動」を行い、次の100年につなぐ森づくりと社会との交流機会の創出することである。主な活動内容は以下のとおり。

- ①誰もが利用できる活動エリアとするための下刈り、
- ②高萩を草木あふれる場所とするための植樹体験、
- ③森で遊んだことのない小学校児童のための自然体験活動、
- ④次代につなげるための森林環境学習(NPO法人「響」による指導)。

●事業成果

今年度は、2校3回183人の児童の参加を得て、植樹体験プログラムを新たに組み込んだ。結果として、動植物などの生き物を大切にしていきたいという気持ちが増えた表明を9割の児童から得ることができた。6年生の児童の中には、子どもっぽいという素直な評価もあった。

●事業をよく知る関係者の声

毎年、プログラムの質が向上している。今年は、植樹を体験させてあげることができて子どもたちの生き物を大切にするという気持ちが違っていた。(過年度経験スタッフ)

自分たちでできること、森の中でしか体験できない経験をさせてもらいました。(小学校教員)

●参加者の声

- ・自分で火を起こして作ったポップコーンが最高に美味しい。(小学4年)
- ・大切な自然、リサイクルやごみの分別などをしていきたい。(小学6年)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.3 ha	270本	0.6ha	0.4ha	195人	34人	229人
樹種：サクラほか						
実施場所：茨城県高萩市						



サクラほかを植樹

一般市民による湘南海岸林整備事業



(特非) 地球緑化センター

東京都中央区八重洲

●事業概要

目的は、昭和初期から植栽が進められている湘南の海岸林を管理している県藤沢土木事務所と連携を図りながら海岸林の維持管理に協力し、あわせて海岸林の機能や役割を知る学びの機会とすることである。

主な活動としては、①海岸林内のツル切り、下刈り。②クロマツ苗を育てている苗圃の草取り。③間伐・除伐など。

●事業成果

首都圏の大学生が参加者の中心となっている。これまでボランティア活動に参加したことがない学生たちも気軽に参加できるようで、学生にとって「きっかけ作り」になっていることも成果としてあげられる。また企業の参加も多く、多彩な方々が参加できる場になっている。

●事業をよく知る関係者の声

県内だけでなく、東京・千葉・埼玉からも参加してもらい、また苗圃の草取りなどは人手がかかる作業なので、大人数でやってもらえると、とても助かります。湘南海岸林のことを知ってもらえる人が増えて嬉しく思います。(神奈川県藤沢土木事務所職員)

●参加者の声

- ・砂防林についてあまり知らなかったが、役割などを学びつつ除草などができてよかった。(10代大学生)
- ・社会貢献をしている実感が得られた。(30代会社員)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
2.97ha	0.98ha	50人	57人	107人
実施場所：神奈川県茅ヶ崎市、藤沢市				



ツル切り

みんなの家でみんなの森づくりプロジェクト



(特非) 野外遊び喜び総合研究所

東京都府中市四谷

●事業概要

本事業の拠点である「みんなの家」周辺には、手入れ不足の森林が多く残っている。森林整備ができる人たちがいないためだ。そのため、地域の森林を守るとともに、都市部では体験することのできない森林での活動を通して自然との共生や重要性に気づくことを目的として活動を実施した。主な活動は以下のとおり。①小学生を対象とした自然体験プログラムを3回実施、②親子を対象にした林業体験プログラムを2回実施、③当法人ボランティアスタッフが行う森林整備を4回実施。

●事業成果

子どももスタッフも多くのことを感じ学び体験することができた。近隣住民は自給自足の暮らし、自然（里山、動物）と日常的に共生しており、都市部では体験することができない。近隣住民の協力のもと、本事業を通して自然の偉大さや自然と共生することの大切さに気付くことができた。

●事業をよく知る関係者の声

幡野地区（活動拠点）に多くの子どもたちや若者が来てくれて活気にあふれている。定期的に来てくれ、森林整備を進めることで獣害も減ってきた。(区長)

若者が継続的に来てくれ、お祭りや地域の整備をしてくれることにとっても感謝している。(地元住民70代女性)

●参加者の声

- ・自然がいっぱいで楽しかった。また来たい。(小学生)
- ・次世代の森づくりを改めて意識した。(40代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	除伐面積	県外	計
2.5ha	2.5ha	45人	45人
実施場所：山梨県大月市猿橋町			



小学生の自然体験

「水が繋ぐ地域と世代」促進事業



(一社) 全国森の循環推進協議会

横浜市神奈川区金港町

●事業概要

目的は、山の学校に参加した学童が家庭や友人へ実際に体験した事や気付きを話してもらう事で森林整備・森林環境保全の大切さ、問題意識の共有や啓発活動について世代や地域を超えて広めてもらうことである。主な活動は以下のとおり。①下流部(都市部)の学童と保護者を対象に上流部水源エリアにて間伐見学と体験等を通して水源地保全について学ぶ体験学習山の学校の実施、②下流部においてジオラマや木工・学習体験、募金活動を通して水源地保全の啓発活動及び山の学校参加者募集。

●事業成果

これまで横浜と水源地である道志村を中心に事業を行ってきたが、川崎、横須賀とも連携し、より広域に活動の幅を広げたことにより多くの学童が参加可能となり、山の学校の開催地も選択肢が広がり活動の幅が広がった。また、山の学校参加者が下流部に一堂に会し、表彰式典と大使任命を行う事で、活動をより多くの家族や仲間、他の参加者へ伝えることができた。

●事業をよく知る関係者の声

水源林整備の必要性等の講習を受けてから間伐体験を行うことにより、森林整備が自身が使用する水に直接関わっている事を認識して頂いている。(間伐体験指導員)

●参加者の声

・横浜の水は道志村からきている事や良い土の為に木を切ったりしている事を知ってびっくりした。(8歳)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
山の学校	啓発活動	県内	計
		981人	981人

実施場所：神奈川県横浜市、川崎市、横須賀市、相模原市、山梨県道志村



道志山の学校

子ども達の将来に残す森林整備



菅浜炭焼きの会

福井県三方郡美浜町

●事業概要

①炭焼き炭材の循環使用のために炭材伐採跡にコナラを植栽した。

②耕作放棄地に害獣の侵入を防止するためミツマタを植栽した。

③マツ枯れした公園に抵抗性クロマツを植栽した。

●事業成果

炭材用のコナラの植栽や、耕作放棄地にミツマタを植栽することにより、山や田畑の手入れができた。また、マツ枯れした公園に抵抗性クロマツを植えて数年後の美観を取り戻せる見込みが見ついた。

●事業をよく知る関係者の声

山の保全は必要なので、これからもこの様な支援がほしい。(森林組合長)

●参加者の声

・楽しかったけど寒かった。植えた木が大きく育ってほしい。(小学5年男子)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	除伐面積	県内	計
1.33ha	450本	1.0ha	32人	32人
樹種：コナラ、ミツマタ、クロマツ				
実施場所：福井県美浜町				



ミツマタを植樹

第2回「海をつなげるいのちの森 づくり植樹祭」

(特非) 時ノ寿の森クラブ

静岡県掛川市倉真

●事業概要

自然災害が頻発する状況の中、森づくりの重要性を広く社会へ啓発することを目的とし、静岡県掛川市倉真地内の廃村集落跡「大沢地区」の荒廃民有林の伐採跡地を再生するため、市民、企業を巻き込んだ植樹祭を開催した。

当該地区は、昭和50年に集落が廃村となり、それ以降、森林所有者の森林管理は遠のき、荒廃が進んでいった。水源林が下流域の環境や防災に重大な影響を及ぼすことを憂い、当団体は2006年から森林再生活動を進めてきた。本事業の対象地も荒廃森林であったが、水源林としての機能を高め、さらに市民が気軽に森に親しめるプラットフォームとするため、針葉樹中心の真っ暗な人工林を除伐し、広葉樹の森への樹種転換をめざした植樹計画である。樹種は、地域に根差した潜在自然植生を基本とし、四季を通じて花や実をつける広葉樹を植樹した。

●事業成果

今回は、植樹地全体からみて川筋を含む林道側に近い部分であるため、四季を通じて花や実を結び、1回目の後背地の植樹が見えるように広葉樹13種類を植樹した。

●事業をよく知る関係者の声

森林が8割を占める過疎化の著しい中山間地域の価値や魅力を社会に広めるために、同事業に対して大きな期待を寄せ、地域をあげて協力している。

●参加者の声

・植えた樹が大きくなるのが楽しみ。第二の故郷のように思って、来てみたい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.2ha	1000本	0.2ha	140人	50人	190人
樹種：広葉樹13種類					
実施場所：静岡県掛川市倉真					



親子で植樹

猿投山北西山麓斜面の環境林整備



猿投の森づくりの会

名古屋市中区富士見町

●事業概要

目的は、名古屋近郊の猿投山北西斜面を環境林として整備すること。おもな活動は、人工林の除間伐、雑木林は保健保安林・水源涵養林として定期的に除伐・整備する。県民が森を散策し森の恵みを楽しむように自然観察道を整備する。全国植樹祭が愛知県で実施されるのに合わせ「応援イベント」として記念植樹も音楽祭とともに実施する。

●事業成果

アジサイコース(自然観察道の一部)を集中的に整備。ソヨゴや枯れたナラ、マツなどを除伐。人工林は急傾斜地の間伐を行い下層木が生育できる環境にした。秋には、全国植樹祭の応援イベントとして瀬戸市長や小学生も参加して記念植樹(音楽祭)を行った。

●事業をよく知る関係者の声

瀬戸市主催のせと環境塾を森で開催している。その感想で「観察道がきれいに草刈りしてある」「植物の名前を教えてもらえる」「たくさんの昆虫がいる」など生物多様性のある森、環境林として整備している活動に対してお褒めの言葉をいただいている。また東海自然歩道の管理者から枯死木処理に対するお礼の言葉をいただいた。

●参加者の声

・森に入り汗をかき森が良くなるのを見て皆生きがいとしている。多くの県民が森を訪れてくれるようになってやりのいがある。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
除伐面積	間伐面積	県内	計
0.5ha	04ha	1289人	1289人
実施場所：愛知県瀬戸市			



マツの枯死木を伐倒

揖保川源流の森づくり



兵庫ドングリ千年の森をつくる会

兵庫県明石市材木町

●事業概要

揖保川の自然風土を後世に引き継ぐ活動を通して、地域住民の森林に対する意識を高め、地域で交流をはかり、地域の森づくりを推進することを目的としている。

●事業成果

平成30年度は200本の苗木を宍粟市波賀町に植樹した。シカ対策のために苗木を金網でガードする作業も平行して実施した。

●事業をよく知る関係者の声

シカ対策では苗1本ごとに金網でガードしているので、シカ害が少なくなっている。苗が成長したらガードを外す必要があるので、外す時期の判断は関係者と協議する必要がある。(波賀町森林関係者)

●参加者の声

・植樹会は天候が悪く、植樹場所の足元が滑りやすく長靴を準備する必要がありました。天候を考慮した準備をして次回も参加したい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
1 ha	200本	2 ha	390人	390人
実施場所：兵庫県宍粟市波賀町、明石市、姫路市、神戸市				



植樹会

花粉症対策の森づくり事業



(特非) ピースウィンズ・ジャパン

広島県神石郡神石高原町

●事業概要

目的は、花粉症を発症させる針葉樹(スギ・ヒノキ)の人工林を地元の森林業者に協力いただき70%間伐し、シラカシなどの広葉樹を植えることで、本来の植生を取り戻し、花粉症の抑制に加え、災害に強い、広葉樹の入り混ざった豊かで強い森づくりをめざすことである。

●事業成果

普段、森林と触れ合う機会が少ない参加者が、実際に植樹することにより、苗木が樹木となる10年後20年後の森林の姿を想像するようになり、周辺のスギ・ヒノキの人工林のあり方、土砂災害に強い森づくりの大切さを学んだ。

●事業をよく知る関係者の声

60年前、子どもだった頃にスギ・ヒノキを植樹した思い出がある山だが、今まで手入れをして来なかった。間伐、植樹をしたことで、山林も明るくなり、植樹に参加した子ども達にとっても樹々がいかに大切かという学びになったことがうれしい。(森林所有者)

●参加者の声

- ・自然と触れ合える機会があまりないので、このような経験をもっと子どもにさせたい。(40代女性)
- ・木を植える事がこんなに大変だと思わなかった。(30代男性)
- ・自分たちが植えた樹が1年後にどれくらい大きくなっているか楽しみ。(小学生男子)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	間伐面積	県内	県外	計
0.4ha	2000本	0.4ha	36人	11人	47人
樹種：シラカシ、コナラなど					
実施場所：広島県神石高原町					



シラカシ、コナラなどを植樹

山の日記念植樹祭



(特非) ひろしま人と樹の会

広島市西区鈴が峰町

●事業概要

「山の日」に小室井山(標高1072m)の山頂付近で植樹祭を行った。山の日への感謝と理解を深め、森林再生へのきっかけになればと期待を寄せている。主な活動は、次のとおりである。①植樹祭の式典を開催、②山頂付近に記念植樹、③2回目の植樹祭は天候が悪く、麓での植樹となった、④地元報道機関等を通じて参加を呼びかけた、⑤事前に地拵えを行い、安全に登山するため登山道整備を行った。

●事業成果

一人1本オーナー苗を植樹する活動を広島から発信、次世代に引き継ぐ第一歩とすることができた。

スペシャルオリンピックのアスリート(知的障害者)が参加した。お互いを思いやる心を学ぶことができた。

●事業をよく知る関係者の声

継続した植樹の活動は、苗木の成長を確認することで森林保全活動への参加意識の向上につながる。(公務員)

今後は企業に呼びかけてはどうか。(運営関係者)

●参加者の声

- ・家族での山登りは初めてでした。植樹も一人で穴を掘り苗を植え楽しかった。花が咲くころまた来たい。(小学生)
- ・山頂がレンゲツツジの園になるのが楽しみ。(50代女性)
- ・健常者といっしょに植樹を行う体験は今までなく大変良い企画で感謝している。(施設職員)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植栽本数	植付面積	登山道草刈	県内	県外	計
200本	0.12ha	2.0ha	187人	3人	190人
樹種：レンゲツツジ					
実施場所：広島県廿日市市(県立もみのき森林公園小室井山)					



レンゲツツジを植樹

「山野草350種の花が咲く」 森の保存による里山事業

「山野草のエキ」保存会

山口県周南市大字大潮

●事業概要

西日本でも貴重で350種以上の山野草の花が見られる森を一人で17年をかけて創設、その森をボランティア会員が引継ぎ保護し後世に残していく。

山野草の森を多くの方に安全に見学してもらえるよう、山野草の森の維持と倒木処理を行い、魅力的な森づくりをめざす。

●事業成果

環境を低下させていた倒木を処理した事で、森全体の環境改善がすすんだ。

●事業をよく知る関係者の声

今回の事業で倒木処理はできた。今後も、立ち枯れマツなどが発生した場合、その都度の処理が望まれる。

●参加者の声

- ・倒木処理は皆さんの念願でした。今回の事業には格別な達成感があります。

実績とりまとめ表

作業内容	
植付面積	植付本数
5ha	886本
実施場所：山口県周南市	



山野草が楽しめる森に整備

森づくり活動による都市・山村交流 ふれあい事業



(公社) 徳島森林づくり推進機構

徳島市川内町

●事業概要

豊かな森林を次世代に引き継ぐ、県民総ぐるみの森づくりモデル団地をめざし、自助努力によって適切な森林整備が難しい森林、100ha～300haのまとまった森林活動拠点を設け、森林整備を行うことで参加者が環境保全の重要性を知り、次世代へ継承できる森林を整備することを目的とする。

①皆伐後の森林への広葉樹の植栽、②地元で生息する貴重な高山植物などの観察、③森林環境教育、県産材を利用した木工クラフトの実施。

●事業成果

多くの企業・団体が参加し、植栽活動を実施できた。このことから豊かな森林を次世代に引き継ぐことや森林整備の重要性が県民に浸透し森林保全への意識が高まっていることが実感できた。今回は学生や20代が多く参加し、次世代に活動の意義が伝わっていることを確かめられた。

●事業をよく知る関係者の声

幅広い年齢層に対応したメニューが用意され、森林環境についても考えるいい機会となった。(林研グループ員)

このイベントを社員も楽しみにしており、今後も継続して実施していただきたい。(企業担当者)

●参加者の声

・地元の山が元気になり木の成長が楽しみです。(高校生)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.94ha	1880本	151人	12人	163人
樹種：ケヤキ、コナラ、トチノキ、ミズメ、ヤマザクラ				
実施場所：徳島県神山町				



ケヤキ、コナラ、トチノキほかを植樹

炭焼と住民や子供達が自然体験出 来る森づくりPJ



(特非) 北九環浄研

福岡県北九州市小倉南区

●事業概要

都会に近い採石場跡地の緑化予定地を借用することができた。ここで、将来、緑地復元に貢献できるように廃材をエコで炭化できる炭焼場づくり、道を整備して小さな自然農縁を整備し、植樹をして、近隣の市民が炭焼き体験や自然農園で体験できる体制をつくった。市民や子どもたちが自然体験できる森づくりを始めた。

●事業成果

7月北九豪雨災害で、地盤の崩れや工作物の倒壊等の被害にあい、復旧作業に大半の時間を取られた。今後さらに強力な雨や風が予想されるため、計画の再検討が必要と考えている。ただし、温暖化対策に貢献する植樹と炭作りは積極的に進める必要があると考えている。

●事業をよく知る関係者の声

海外では炭による温暖化対策及び土壌改良がブームとなっている。近々日本にも伝播してくると思う。その時の為に炭づくりは基盤強化しておくべき。なお海外では廃棄物を炭にすることが原則になっている。(大学院農学部准教授)

●参加者の声

・近くにできてうれしいが、日曜に利用できるるようにしてほしい。

・山菜が採れるようにしてほしい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	樹勢回復	県内	県外	計
1.5ha	50本	50本	30人	20人	50人
実施場所：福岡県北九州市小倉南区					



炭焼き体験会

三宅島復興森林づくり交流事業



(特非) 地球緑化センター

東京都中央区八重洲

●事業概要

2000年の雄山噴火被害から復興の途上にある三宅島において、森林環境の再生活動および参加者の防災意識の向上を目的に実施。噴火による火山ガスの影響で木が枯れてしまった雄山中腹での植林活動および現地の自然ガイドと伴に島内を巡り、三宅島ならではの植生や動植物、島の歴史、噴火の脅威などを学び、三宅島についての知識と防災意識を深める活動とした。

●事業成果

今年度は、これまで以上に三宅島を知る機会につながるようなプログラムを企画した。植林活動だけではなく、夜には星空観察なども行い、より三宅島の自然に触れる機会とし、また、アシタバ摘み、ところてん作りなどの体験を通じて島の特産品を知る機会になる内容とした。また、島民との交流も図ることができた。

●事業をよく知る関係者の声

島外の方々が三宅島に来て植林活動をしてもらえることで、島民としても大きな力をもらっている。今後も島民との交流も深めていただきたい。(三宅村役場)

●参加者の声

- ・三宅島には噴火以外のイメージがなかったが、いろいろなことを知ったり見たりすることができて良かった。
- ・長年のあこがれだった植林活動ができてうれしかった。意味あることができたのでは、と思いました。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	島内	島外	計
0.26ha	2300本	8人	34人	42人
樹種：ヒサカキ、スダジイ				
実施場所：東京都三宅村				



ヒサカキ、スダジイなどを植樹

湘南国際村めぐりの森づくり



(一社) Silva

横浜市西区北幸

●事業概要

目的は、失われた森林の再生である。当該地は、民間事業者により約20年前から200haにわたる開発行為が行われていたが、業績不振に陥り県へ無償譲渡された。荒地となった土地をどう再生したらよいか検討したところ、土地本来に生育する常緑広葉樹林に再生する気運が高まり、神奈川県は2008年より森林再生を市民による協働参加型による活動を始めた。具体的な内容は、①通年の育樹、②通年の荒廃地の大地再生施工、③通年の各種調査(毎木調査・土壌動物調査・植生調査・出現順植物調査)、④植樹用マウンドの施工、⑤年間2回の公開イベント植樹・育樹祭、⑥実地訓練型「森林再生指導員」認定事業。

●事業成果

平成30年11月に第15回湘南国際村めぐりの森植樹祭、令和元年5月に第16回植樹祭を開催し、地域における安全な生活環境の確保を目的として、森林の復旧と災害を予防する海岸防災林づくりを行った。また、当法人は「かながわSDGsパートナー」に登録された。

●事業をよく知る関係者の声

広報紙の協力などを得て、地元の方への認知度を上げている。運営関係者の努力の成果が伺える。(地元の協力団体)

●参加者の声

- ・植樹は楽しかった。(10代)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付本数	草刈	育樹	県内	県外	計
5090本	0.16ha	0.24ha	1173人	203人	1376人
樹種：自然植生種33種					
実施場所：神奈川県横須賀市、葉山町(湘南国際村めぐりの森)					



植樹祭

海岸防災林や未利用放牧地等の森林整備事業



(特非) 森のライフスタイル研究所

長野県伊那市荒井

●事業概要

手入れ不足の森林の整備を拡大していくためには、山村地域に暮らす人々と森林の公益機能を楽しむ都市住民との交流・協働を重ねていく必要がある。また、専門家との連携も大切。そのためには、関わる人たちが理解しやすい森づくりのストーリーを持つことが大切であり、それを解決するべく行った内容は次のとおり。

- ・千葉県山武市(海岸防災林)①下刈。
- ・長野県木島平村(未利用放牧地)①森林に戻すための植栽。
- ・長野県佐久市(コナラの森)手入れ不足となっている人工林を薪が穫れる広葉樹の森へと再生させる。①形質不良木の伐採と地拵え、②植栽。
- ・東京都八王子市(上川の里特別緑地保全地区)照葉樹林化が進む里山の再生①照葉樹林化が加速している人工林の伐採と地拵え、②伐採木を使って散策路や階段づくり。

●事業成果

ボランティアのリピート率が高まり、手入れ不足の森林整備の拡大に貢献している。新たな参加者も増えている。

●事業をよく知る関係者の声

地域とのコミュニケーションも円滑に進みはじめ、より整備活動が進んでいくことと期待されます。(行政関係者)

●参加者の声

- ・参加したことで、山への見方が変わりそう。(20代女性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
1.2ha	4600本	6.1ha	0.5ha	419人	280人	699人
樹種：コナラ、ブナ						
実施場所：千葉県山武市、東京都八王子市、長野県佐久市、木島平村						



コナラの植樹(佐久市)

グリーンベイ OSAKA 森を育てる活動



(特非) グリーンベイ OSAKA

大阪市西区江戸堀

●事業概要

大阪湾岸の都市部に沿った埋立地に、自然林に近い森をつくることを目的とした活動。この森はの大地震が発生した際に都市部を襲う津波の緩衝帯として機能する。5月26日に植樹を行った。ボランティアのみでは不可能な作業路整備と整地等は事前に準備した。さらに植樹後は下刈り、施肥、灌水など維持管理に必要な活動も行った。

●事業成果

これまでの植樹した場所が森のようにうっそうとして、見る人にその成果を訴えるようだと感じた参加者がいた。植樹をしながら、その成果を語り始めたのが継続していることの成果である。

●事業をよく知る関係者の声

植樹方法にユニット混植方法をとることに関心を持つ人、さらに昨年の台風の影響について尋ねた人がいた。植樹の成功例として評価している声が聞こえた。

●参加者の声

- ・この現場は昨年の台風に負けなかったね。
- ・青空のもと、植樹で汗をかき、充足感があつた。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	府内	計
0.03ha	144本	0.41ha	82人	82人
樹種：カキ、レモン、キンカン				
実施場所：大阪府堺市				



カキ、レモン、キンカンなどを植樹

菊炭で文化と里山を未来へつなぐ事業



大阪能勢田尻菊炭振興協議会

大阪府豊能郡能勢町

●事業概要

茶の湯炭として文化的価値を有する菊炭の製炭者は減少している。私たちは菊炭を核として都市と農村住民が交流し文化と里山をそして地域自体の持続化を目的に、以下の事業を行った。①里山の雑木を使った木工イベント、②里山の雑木を使ったスツール作り、③植樹地地拵え体験イベント、④菊炭を使ったクラフト講座、⑤菊炭と里山を未来につなぐ植樹会。

●事業成果

伝統の菊炭を守ることは地域を守ることにつながるを理念に展開した多角的な事業は多くの都市住民と地域住民との新しい交流の機会をつくることができた。原木を育成する里山に興味をもってもらうことを目的とした「里山の雑木を使った木工イベント」「地拵え体験イベント」「菊炭を使ったクラフト講座」では菊炭の持つ文化を幅広い層に発信するとともに里山の現状なども知ってもらう機会となった。地元共有林での植樹活動は山利用について諦めかけていた地元民の意識改革につながった。

●事業をよく知る関係者の声

継続的に参加することで活動の意味が理解できてきていると思う。今年の事業は一步踏み込んだ形となつてとても良かった。(地元高校担当教諭)

●参加者の声

・気持ちがいい1日でした。貴重な経験になりました。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	除伐面積	府内	計
0.2ha	200本	0.23ha	276人	276人
樹種：クヌギ				
実施場所：大阪府能勢町				



クヌギを植樹

入来浜海岸防災林保全活動



(特非) 森と木の研究所

鹿児島市桜ヶ丘

●事業概要

入来浜海岸防災林は、集落を保全すると同時に県立自然公園として多くの県民に親しまれている。しかし、近年松くい虫の害や台風災害により、欠損した部分も見られるようになり、地域の入来浜自治会の生活環境保全上の課題となっていた。このため、入来浜自治会のメンバーと地域の住民と当研究所が協働でクロマツなどの植樹と同時に歩道やウッドデッキを設置して親しめる防災林として整備することとした。当年度は、欠損箇所にもマツクイムシ抵抗性クロマツ植栽と、中下層の暴風効果を得るためシャリンバイの中下層木を植栽するとともに、歩道、ウッドデッキ、防風垣を設置した。

●事業成果

入来浜自治会は、自主的に当該防災林の保育活動を実施していたが、募金事業を導入した今回の活動で、植樹や歩道の整備など飛躍的に進んだ。

●事業をよく知る関係者の声

原則として、国有林で管理すべき部分は管理していきたいが、このような形で保全対象となる自治会やNPO法人が海岸防災林の管理に参加していくのはすばらしい。(森林管理署職員)

●参加者の声

・保健保安林として歩道設置など実現でき、県立自然公園としての体制が整いつつある。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.4ha	400本	0.4ha	53人	53人
樹種：抵抗性クロマツ、シャリンバイ				
実施場所：鹿児島県日置市（入来浜海岸防災林）				



抵抗性クロマツ、シャリンバイを植樹

「地球に緑を 桜島を緑に」 どんぐり照葉樹の森づくり



桜島どんぐりころころ植樹祭実行委員会

鹿児島市川上町

●事業概要

植栽地は、桜島の麓で鹿児島市有地（採石場跡地）の荒地である。錦江湾近隣の学校で「緑の少年団」を有する学校（20団体）を実行委員が定期的に訪問し桜島に既存しているどんぐり種を採種し育苗体験活動を計画的・継続的に体験してもらい、3年間育てた苗を桜島に植栽する体験活動。おもな活動は、次のとおり。①下刈り・枝打ち作業、②第18回桜島どんぐりころころ植樹祭、③追肥活動・補植活動。

●事業成果

鹿児島県地球温暖化対策課の査定で、5年連続CO₂吸収量認証の交付を受け、団員は誇りにし、地球温暖化に関心を持ちながら取り組んでいる。下刈り活動・追肥活動を計画的に実施したことで、参加者（緑の少年団員）は、森林は手入れが不可欠であることを学ぶことができ、今後の森林ボランティアに興味・関心を示した。

●事業をよく知る関係者の声

継続した植栽活動が大きな森となりつつある。今後は植栽活動の趣旨を一層広く浸透させるとともに指導する人の後継者育成も必要である。

●参加者の声

- ・穴掘りは大変だったが、植樹し終わって達成感を覚えた。また、仲間づくりもできた。（緑の少年団員）
- ・計画的・継続的な巡回指導で団体・団員を支援されるなど組織的な取り組みに敬服しました。（保護者）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.28ha	1035本	1.82ha	687人	6人	693人
樹種：ウバメガシ、アラカシ、マテバシイ					
実施場所：鹿児島市桜島					



ウバメガシ、アラカシ、マテバシイを植樹

天売島・持続可能な未来の水源地林 づくり事業



（一社）天売島おらが島活性化会議

北海道苫前郡羽幌町天売

●事業概要

はげ山から水源地林に蘇った天売の森を島民の手によって後世に引き継ぎ、また、森の恵みを島民や島を訪れる人々に享受してもらえようとするのが目的で、主な活動は以下のとおり。①子どもたちの未来の森づくり事業（島の子どもたちに島外の森を知ってもらうことで未来の天売の森について考える）。②枝打ち・間伐。③主伐、地拵、植樹、下刈り（持続可能な森へ誘導）。④事業のPR。

●事業成果

天売の子どもたちが留萌の森に行き、アウトドアの専門家と一緒に森で楽しんだり、島の森との違いを知ることができ、あらためて島の森の未来図を考える体験ができた。

山採り苗の植樹方法を学ぶことができ、記念植樹に役立つ技術移転となり観光振興に活用できると考える。

治山事業で出た間伐材を薪やベンチ、案内看板づくりなどで有効活用することにつながった。

●事業をよく知る関係者の声

中学生が森について興味を持ち炭づくりや未来の森のデザインを考えたことは大きな成果だ。（中学校教員）

間伐材の活用に関心をもつ島民が増えた。（役場職員）

●参加者の声

・島の水のために昔の人が植えてくれた間伐材を使って炭を作ることができて良かった。（中学生女子）

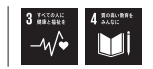
実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	枝打面積	間伐面積	道内	計
0.1ha	6本	0.4ha	0.2ha	140人	140人
樹種：ミズナラ、イタヤカエデ、トドマツ					
実施場所：北海道羽幌町天売島内					



枝打ち

小学校における森林体験学習（総合学習）の支援事業



北海道林業技士会

札幌市中央区北1条西

●事業概要

現在の学校教育で、実際に自然に触れて勉強する学校は極めて少ないのが現状であるが、その中で、札幌市立幌南小学校、江別市立野幌小学校、江別市立上江別小学校は、総合学習の中で自然の仕組みや生物の多様性について情操教育を兼ねて取り組んでいる。この事業は、当会がこの三校から教育カリキュラムや教材の作成、ガイド派遣の要請を受けて行う事業である。

●事業成果

事前打ち合わせを行って作成した配布資料、実際のフィールドにおける各講師の児童に対する説明・応対、パワーポイントによる講義等について感謝の意が表されている。

●事業を良く知る関係者の声

当会に森林環境教育支援を要請した各学校は、今回を含め、これまでの当会が現地の状況に即して作成する教育マニュアルについて理解を示し、豊富な知識を有するガイドによる児童の環境教育に効果をあげていると認識している。

●参加者の声

幌南小学校（4年生）、上江別小学校（4年生）は、大多数の子どもたちが前者は藻岩山、後者は野幌森林公園（カラマツコース）の大自然に触れての初めての野外学習で、当会講師の説明・対応にに興味津々であった。また、野幌小学校・特認校（全校生）は、校舎の裏側が野幌森林公園となっており、森の学習には満足しているものと考えている。

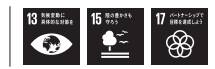
実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	道内	計
森林体験学習	315人	315人
6回	315人	315人
実施場所：札幌市、江別市		



森林について学ぶ小学生

人と森と触れあう。「親子で秘密基地」ワークショップ



シェアガーデンみやのもり

札幌市中央区南1条

●事業概要

親子で参加できる「秘密基地を作るワークショップ」を開催した。

ファシリテーター役に芸術家や林業指導者を招き、参加者が5人1チームとなり、複数回開催の日程において一つの秘密基地を作り上げるなかで、森の生態系など学びながら整地、植樹、冬囲いなどを行い、想像力、コミュニケーション力を養うと同時に、環境問題に対する意識を高めることを目的とした。

●事業成果

札幌中心部から最も近い「活動が可能な民有林」といえる「シェアガーデンみやのもり」は、子どもたちに森や自然に親しむ機会を提供する場所のとして適している。今後は町内会、企業との連携はもちろん、学校や行政の活動の場所の一つとして、積極的に場の提供を行うことのできる可能性が見えた。

●事業をよく知る関係者の声

自然や環境問題へ認識を向ける事ができる有意義な事業。レクリエーションで使用するためには、森の環境を維持しつつもさらに安全対策を強化したい。（環境調査会社）

●参加者の声

- ・薪割りが楽しかった。（小学4年生）
- ・子どもたちがこんなに楽しく山遊びができると思わなかった。（40代男性）

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	道内	計
植付本数	11人	11人
5本	11人	11人
樹種：アカエゾマツ		
実施場所：札幌市		



薪割り

市民参加による虹の湖公園育樹事業



(一財)黒石市観光開発公社

青森県黒石市大字板留

●事業概要

目的は、広く市民に親しまれている「虹の湖公園」をフィールドとして植樹及び育樹活動を行うことで、地域の子どものための自然環境に対する思いやりの心を育むこと。主な活動は以下のとおり。①地域の子どもたちとボランティアによる、既存樹の剪定、下刈り及び施肥等の育樹活動。②枯死木の撤去及び植栽のための地ごしらえ。③子どもたちを対象とした、ソメイヨシノの植栽及び植物観察を通じた自然環境学習。

●事業成果

育樹活動は、森林の役割と緑の大切さ、手入れの必要性について学ぶよい機会となった。また、保護者にとっても、親子で共に学び、ふれあう場となり、非常に有意義であった。作業をすることで、自分が手掛けた木の成長に関心を寄せている様子がうかがえ、今後も地域の自然環境が守られていくことが期待される。

●事業をよく知る関係者の声

植樹や下刈りなどを体験することは、子どもたちにとって緑の大切さや自然に対する思いやりの心を育てるのに意義ある活動だと思う。(町内役員)

●参加者の声

- ・子どもに貴重な体験をさせることができた。(40代男性)
- ・植えたサクラの根っこはすごく細くて、これが大きくなるなんてすごいと思った。(小学生女子)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.16ha	13本	0.16ha	69人	69人
樹種：ソメイヨシノ				
実施場所：青森県黒石市				



サクラを植樹

「大沢の臥竜梅」樹勢回復事業



大沢の臥竜梅を守る会

岩手県下閉伊郡山田町

●事業概要

多くの人々が来訪する「大沢の臥竜梅」は、東日本大震災で津波被害を受けた。毎年花を咲かせるものの脆弱化が認められるようになったため、樹勢を維持することを目的として治療を実施した。治療は樹木医の指導の下、ウメを管理している「大沢の臥竜梅を守る会」会員や地域の住民が参加して行った。さらに、今後自分たちで維持管理できるように学習会を開催した。

●事業成果

今回の活動を通じて、樹勢維持に必要な作業や用具等、樹木医の丁寧な指導のおかげで知識と技術を身につけることができた。また、学習会においてはウメの特性について学ぶことができた。

作業を地域の皆さんに見ていただいたことで、臥竜梅を地域の宝として守っていこうという機運を醸成することができた。

●事業をよく知る関係者の声

今回は、今後保存会や地域の皆さんの手で樹勢維持作業ができるよう、なるべく簡単で、かつ効果的な方法を実施した。樹齢300年の古木でありながら東日本大震災による津波被害を乗り切った臥竜梅を、自分たちの手で守ろうという気概を感じた。(樹木医)

●参加者の声

- ・いつも開花時期に行って鑑賞しているが、木を維持するために年間を通じて作業が必要なことを初めて知った。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
樹勢回復	県内	計
7本	20人	20人
実施場所：岩手県山田町		



施肥や剪定などを行った

未来につなぐもりの学び舎協働事業



(特非) 宮城県森林インストラクター協会

宮城県宮城郡利府町

●事業概要

学校や子ども会が安心して自然体験活動を行うためには、安全で安心できるフィールドづくりと、活動を主導する森のプロ団体の支援が必要である。

学校、子ども会、親子と、企画を提案し多様な主体と協働して実施した。①活動しやすい近場でかつ駐車場が確保できる森林を安全に自然体験を楽しめるレベルまで整備する。②安全でかつ魅力的な森づくり・自然体験プログラムを提案する。③経験豊富なスタッフを配置して、子どもたち安全に楽しく森のこと、自然のことを体験しながら学べるイベントを実施し、森に来ることが普通のことになる地域づくり、社会づくりをめざした。

●事業成果

散策を楽しむ方々を常に見かけるようになった。虫かごと網を持って遊んでいる親子にもたくさん出会った。確実に地域の自然体験の普及に貢献した事業であった。

●事業をよく知る関係者の声

明るく、すばらしいフィールドができた。クマの出没増加という面からも、このような整備はとても大切でありがたい。(県民の森管理事務所所長)

散策者が多い県有林を整備していただけたことはありがたい。(県森林整備課職員)

●参加者の声

・安全で素敵なフィールドで楽しかった。(家族参加)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.1ha	92本	1.72ha	0.1ha	699人	15人	714人
樹種：ヒノキ、ユスラウメ、ヤマボウシほか						
実施場所：宮城県利府町						



遊歩道整備

「そだてよう！どんぐりの森2018」プロジェクト



男鹿ツーリズムプラットフォーム

秋田県男鹿市船越

●事業概要

自然の大切さ、自然との共生、自然環境のすばらしさに気づききっかけづくりとして「どんぐりの森づくり」を位置付け、持続可能な自然環境を将来に引き継ぐことをねらいとし活動した。平成26年に男鹿市で開催された、「森の教室-どんぐりくんと森の仲間たち」において、園児たちがポットに蒔いたドングリはその後無事発芽し、立派な苗木に成長した。

今年度は、小学生を主体とし、植樹した苗木を育て、木育・木づかいなどの自然体験活動も取り入れ、森づくりに関わり、将来にわたる森林再生活動に繋げていく。

●事業成果

園児の他に、小学生も活動に加わり、植樹した苗木の観察会、葉っぱを使ってのネイチャークラフトを取り入れた。6月には、平成29年に開催された「森の教室」で園児たちがポットに蒔いたドングリを植樹した。植樹会や観察会を通して、自然の大切さに気づききっかけ作りになった。

●事業をよく知る関係者の声

子どもたちが生態系におけるドングリの役割を知る大切な機会になっている。森林機能や海との繋がり、環境対策など質の高い教育である。(男鹿市地域おこし協力隊)

●参加者の声

・ドングリ大きくなればいいなあ。(園児)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	計
0.02ha	150本	0.1ha	0.02ha	218人	218人
樹種：コナラ、ミズナラ、果樹					
実施場所：秋田県男鹿市					



観察会

癒やしの森作り



(特非) 斜平山保全活用連絡協議会

山形県米沢市大字川井

●事業概要

目的は、マツ枯れで全てのマツを伐採した跡地に森林再生事業を行い、将来はブナとユキツバキの群生地を実現し、近くの「大森山森林公園」と共に素晴らしい大公園とすることである。

ブナ植林地の下刈り、地拵え、山道の整備、植林の準備(堆肥づくり)、親子記念ブナ苗植樹会を実施した。

●事業成果

8年前からブナ苗記念植樹会を始めているが、ブナの木は「雪超え」するとドンドン伸びる(年60cm)といわれている。2月に調査した結果、30本以上雪超えしていた。山砂に活性チップ、鶏糞、化成肥料を混ぜ1本あたり6~10kg入れると、立ち枯れがなく成長が速いことがわかった。

●事業をよく知る関係者の声

市内から植林している場所が見えるようになり、市民から注目されるようになった。今後は、学童、保護者、先生にもっとPRしていきたい。(米沢市民)

●参加者の声

・スコップやクワなどで穴掘り、堆肥入れ、苗植えを体験したので木々の成長が楽しみだ。(小学生)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	計
1ha	227本	2ha	1ha	139人	139人
樹種：ブナ、クヌギ、ケヤキほか					
実施場所：山形県米沢市					



森林整備作業

子ども達の自然体験活動フィールド整備事業



(特非) いわきの森に親しむ会

福島県いわき市常磐藤原町

●事業概要

幼児から小学生までの子ども達が安全に気軽に里山で活動できる空間を整備し、森林ESDの役割の一部を担うことを目的として取り組むもので、2年計画の1年目のものである。今年度は、①安全に走り回れるような空間整備のために除草と間伐を実施(0.4ha)。②幼稚園児対象のツリーハウスの製作。③本格的な空中回廊製作のために回廊の試作品づくり。④実のなる樹木の植樹等を行った。

●事業成果

フィールド内の一部について枯損木、不要木等の除伐と除草をした後、機械による作業により広場を整備した結果、子ども達の遊び場のための目途をつけることができた。

国際ワークキャンプメンバーの若者に対して2週間フィールド整備の一翼を担ってもらうことができた。

小学生の森林体験学習のフィールドとして活用してもらうことができた。

●事業をよく知る関係者の声

フィールド内のササが生えているところについては、転倒してもケガをしないように整備する必要があると思う。

●参加者の声

・ササ刈りと除草、除伐作業を行った。想像以上に大変だった。(20代男性)

・ノコと鎌を使った作業は楽しかった。(小学生男子)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.2ha	67本	1.4ha	0.9ha	312人	136人	448人
樹種：サルナシ、ナツハゼ、ヤマモモ、カキ、ヤマボウシほか						
実施場所：福島県いわき市常磐藤原町						



下刈り

名久田川源流学びの森づくり



本宿殖産組合

群馬県吾妻郡高山村

●事業概要

本村は林野率が76%、うち水源かん養保安林が34%を占めている。名久田川に全ての降雨が流入するなど水の流れが分かりやすい地形になっている。そこで、名久田川の源流を決定し、高山村の水源林のシンボルとして『森林』と『水』と『生活環境』について自ら子どもたちが考えられるフィールドづくりを行った。①学びの森づくり(安全に森林整備が体験できる環境づくり)、②水源地の決定(湧水箇所を標柱を設置)、③学びの森までの作業路の整備、④自然観察会の実施。

●事業成果

子どもたちに特化した自然観察会の開催は前例がなく、多少の不安があったが、整備した森の中で遊ぶ姿を見ると不安は解消した。倒木や溪流で、自らが工夫して遊ぶ様子に事業効果が現れていた。

●事業をよく知る関係者の声

「山での遊び」を子どもたちに伝える活動を、共有林が組合の活動として取り組み、森林整備や観察会を自力で実施した。こうした、地域活動を今後とも継続してもらいたい。フィールドを開放し都会の子どもたちにも「学びの森」として活用してもらいたい。

●参加者の声

- ・水が冷たくて気持ち良かった。サンショウの葉が採れて楽しかった。(子ども)
- ・子どもが安全に遊べる所があるとは知らなかった。次回も親子で参加したい。(保護者)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
下刈面積	175人	175人
2.0ha	175人	175人
実施場所：群馬県高山村		



整備された森林で遊ぶ

ハッ場ダム水没桜を守ろう



群馬県樹木診断協会

前橋市苗ヶ島町

●事業概要

ハッ場ダムの建設が進んでいる長野原町の旧東中学校校庭跡地にあるソメイヨシノのうち1本を「ぐんまフラワーパーク」へ移植し、ダムの歴史や水没地の文化を広く県民に伝えるとともに、子ども達に移植の見学会や体験を通して、次世代へ緑の大切さを伝えていく。更に、旧東中学校関係者とぐんまフラワーパーク関係者・地域住民との交流の輪を広げていくことを目的とする。

ソメイヨシノは高さ11m、目通り3.8m、枝張り10mで、剪定後でも10トンを超える大木である。この桜を根回し養生を行い、運搬可能な大きさに剪定して、約50km離れたぐんまフラワーパークまで運搬して園内に定植した。

●事業成果

移植前の見学会では、地元小学校児童に対し歴史ある桜の大切さを理解してもらい、定植作業時には地元幼稚園児に作業を見学してもらうことで、将来にわたり木を大切にすることを子ども達に伝えられたものと思われる。

●事業をよく知る関係者の声

ハッ場の地元の気持ちを多くの人に伝えられた。今後、樹勢の回復を確認し、後継樹を育成してハッ場ダム周辺に植栽してほしい。(県緑化推進委員会担当者)

●参加者の声

- ・この場所でずっと咲き続けた大切な桜。またきれいに咲いてくれたらうれしい。(小学生)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
桜根回し	後継樹づくり	県内	計
1本	30本	148人	148人
樹種：ソメイヨシノ			
実施場所：群馬県長野原町、前橋市			



菌根菌の散布

生物多様性のある里山の森づくり



埼玉県立浦和第一女子高等学校麗風会
さいたま市浦和区岸町

●事業概要

目的は、人の手が入っていなかった里山を整備・再生し、その恩恵を学び守り育てることである。あわせて生物多様性の保全に努める。主な活動は以下のとおり。①下刈り、除伐、間伐等の森林の整備。②間伐した木材を利用したコースター等の作成。③高校文化祭での森林活動の展示と普及活動。④現地に自生する絶滅危惧種、準絶滅危惧種である植物の観察会と保護。⑤普及パンフレットの作成。

●事業成果

この活動を行う経緯、現地に生育する絶滅危惧種等の情報、現地周辺のお出かけ情報などを記載したパンフレットを作成した。現役高校生に加えて、卒業まもない会員の参加が得られた。

●事業をよく知る関係者の声

森は手を入れて維持するものであることを痛感した。(元本会役員)

休憩時間がこまめにあったこと、無理をしないようにとのアドバイスがあったことで、疲れを感じずにゆったりと作業できた。(毎回参加の高校教諭)

●参加者の声

- ・自然の中でできる簡単で楽しく老若男女問わずのダンスを検討したい。(60代ダンス講師)
- ・パンフレットを見て、個人的にもこの森林へ行ってみたくなった。(50代女性)
- ・ジブリの世界に舞い込んだようだった。(高校生)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	除伐面積	県内	計
0.36ha	0.88ha	539人	539人
実施場所：埼玉県寄居町			



下刈り

『木育』による地域里山再生プロジェクト



子育て支援ステーション ニッセ

千葉市中央区千葉寺町

●事業概要

目的は、荒れ放題となっていた地域の里山を『木育』による多様な取り組みによって再生し、その過程を通して小中学生が森林循環について学ぶこと、そして持続可能な森づくりへの一歩を踏み出すことである。主な活動は以下のとおり。①森の整備：溝腐れしたスギの間伐(子どもたちによる皮むき間伐)と枝払い、植栽、下刈り、ツル切り、薪割り、②木づかいプログラム：間伐材を使った箱椅子づくりほか、③環境保全の周知啓発イベント：森のフェスティバルほか。

●事業成果

子どもたちは、林業の仕事を目の当たりにしたり、自分たちも皮むき間伐や地拵え・植栽、木工作を体験することで、季節に応じた作業やその手法を学び、時間経過と共に里山が美しくなっていくことを実体験できた。また、地域のさまざまな年代の親子が里山を訪れ、子どもたちによる再生プロジェクトについて知ってもらう機会を得た。

●事業をよく知る関係者の声

今後も自発的に森林保全活動に取り組みたくなる工夫を続けてほしい。(サポーター)

●参加者の声

- ・森を蘇らせるには人手が必要だと知った。(小学6年)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.12ha	46本	0.48ha	0.08ha	337人	5人	342人
樹種：ヤマザクラ、スタジイ、クヌギ、ヤマボウシほか						
実施場所：千葉市若葉区						



ヤマザクラ、スタジイほかを植樹

希少植物自生地の針広混交林整備



(特非) 富里のホタル

千葉県富里市中沢

●事業概要

目的は、荒廃した針葉樹林に自生している希少植物の生育環境を整えて、子ども達への環境教育を通して自然環境の価値を認識できる場とすること。主な活動は以下のとおり。①林床を暗くしているヒノキや溝腐病の杉を間伐。なお将来性のある杉やヒノキを選定し、計画的に配置して残す。②樹木の生長を阻害する侵入竹の伐採と下刈り。③クヌギ等の間伐材でのほだ木づくり。④ヒノキを輪切りにして芳香剤として活用。

●事業成果

林床が明るくなったせいか、間伐前に比べて植物の種類が増えたり、成長の度合いが大きくなっている。植樹祭では近隣市町や都内からも参加者があり、広がりを感じた。地元高校生4名がボランティアとして手伝いしてくれた。

●事業をよく知る関係者の声

下刈りなどの定例作業は、その大変さと共に植樹した苗木の成長を確認する事で、里山保全活動への参加意識の向上につながる有意義な活動である。(市議会議員)

環境学習の場として、定期的な観察会や動植物調査に参加してもらう事や、子どもや女性でも参加できる条件を整えて、広く活動の機会をつくる必要がある。(主婦)

●参加者の声

- ・外から見る森は美しいと感じたが、中に入ると溝腐病に罹った杉で荒廃していたので残念だった。(40代女性)
- ・落ち葉が柔らかくて気持ち良かった。(小学生女子)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.46ha	100本	0.15ha	0.46ha	59人	6人	65人
樹種：クヌギ、コナラ、ソロ、ヤマザクラ、コブシほか						
実施場所：千葉県富里市						



クヌギ、コナラ、コブシほかを植樹

豊かさを学ぶ森作り



上総自然学校

千葉県袖ヶ浦市川原井

●事業概要

子ども達が森の豊かさを学ぶため、遊歩道や林内の整備を行い、野鳥、昆虫、キノコなどの観察会を行った。

●事業成果

袖ヶ浦市郷土博物館との共催で、谷津田の生き物観察会を行った。“袖ヶ浦の水辺”という企画展と連動したもので、袖ヶ浦市の水源という位置づけである。猛禽は、冬場はノスリとオオタカが、夏場はサシバが狩場として利用している。サシバは今年2、3羽の幼鳥が飛んでいた。環境省のモニタリング1000のサイトになり、整備されたフィールドが役立っている。

●事業をよく知る関係者の声

猛禽が狩りをしやすい開けたフィールドに変化してきた。(鳥類の専門家)

クルミが増えて、カメノコテントウが増えるなど、多様性が増している。(昆虫の専門家)

●参加者の声

- ・とっても良いイベントだったので、他のイベントにも参加したい。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
1 ha	70本	21ha	0.7ha	130人	170人	300人
樹種：クルミ、サクラ、モミジ、マツ						
実施場所：千葉県袖ヶ浦市						



遊歩道を整備

遊びにきたい森へ向けて ～森に手を入れ、次代を育む～



(特非) フジの森

東京都西多摩郡檜原村

●事業概要

目的は、子どもたちのために、わくわくするような気持ちが生まれる森の空間をつくる体験を通して、豊かな森林環境の引継ぎに携わりながら、将来の持続可能な社会を担う次世代を同時に育成することである。活動は以下のとおり。①中高大生と協力して当該エリアの森づくりを行った。②事業期間後半における小学生対象の「木づかい体験・森づくり体験」イベントプログラムでは、解説や進行の主体を協力の大学生に持たせながら開催した。

●事業成果

協力してくれた大学生メンバーが、事業後半では「SDGs」と絡めながらイベントの参加者に事業の意味について解説できるようになった。また、イベントの回数を重ねる中で、協力の大学生が関心のある友人を誘ってきてくれるなど、活動への参加者の広がりが自然に発生した。

●事業をよく知る関係者の声

フィールドで実体験を伴った学びであり、貴重な教育活動の場でした。(中高教員)

自然の中で遊んだり体験したりする楽しさを小学生に伝えることを通じて、未来の森の保全につなげられるということを学べる場でした。(大学生リーダー)

●参加者の声

・木を1本植えるだけでも、時間と手間が必要になることがわかった。木は大切にしたい。(中学1年)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	除伐面積	都内	都外	計
0.4ha	60本	0.4ha	250人	7人	257人
樹種：コナラ、カシ、サクラ					
実施場所：東京都檜原村（檜原村教育の森）					



コナラ、サクラほかを植樹

『木とふれあい、木に学び、木と生きる』取組を通して～【木育】～



相原小学校 木育を進める会

東京都町田市相原町

●事業概要

本校のある町の先人は、町の人々の教育のために、資金の必要性を感じ、30haにスギやヒノキを植林し、それを育て、売ったお金で本校の校舎を建て替えたという歴史をもつ。4・5年生は、下刈りや間伐体験を通して、先人の想いを知り、自分たちが育った町の良さを知り、大切に思う心情を育てている。その活動を広げ、林業体験だけでなく、オオムラサキほかの大型のチョウを地域に呼び戻すための植林活動やホタルを育てる等を通して、自然を愛し、地域を愛する児童を育成し、あわせて地域の人々が自分たちの地域を大切に思う気持ちを育てるため。

●事業成果

各学年において木育の年間指導計画が完成し、6年間を通しての活動を見通すことができた。

5年生が取り組んだ竹の灯笼が、今後も地域主催の「竹あかりの街」事業に出展されることになった。

●事業をよく知る関係者の声

「竹あかりの街」の企画には、今後とも小学校の協力をお願いしたい。(相原まちづくり協議会会長)

●参加者の声

・木育に、町づくりの視点を組み入れていくことは、主権者教育につながっていく。(三鷹市教育委員会指導主事)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	間伐面積	都内	計
0.1ha	20本	0.5ha	1239人	1239人
樹種：エノキ、クヌギ				
実施場所：東京都町田市（相原中央公園・大地沢共有林・相原小学校）				



下刈り体験

歴史ある恩方の森で、地元の小学生へ体験学習



パウロの森くらぶ

東京都立川市錦町

●事業概要

目的は、聖パウロ学園高校の学校林であるパウロの森をフィールドにした体験学習で、地元の子どもたちが森の役割や自然の大切さなどを学び、それに相応しい安全な森づくりに継続的に取り組むことにある。具体的にはパウロの森くらぶが森を整備し、恩方第1小学校・恩方第2小学校児童に対し4回のプログラムを企画実施した。

9月に1年生「いろいろなはっぱをあつめて、すきなはっぱのえをかこう!」、10月に2年生「落ち葉や木の実で作ろうクラフト」、10月に3年生「森のたんけん隊」、10月5日に4年生「間伐・玉切り体験」。

●事業成果

本年は4回中2回雨で学校での授業になったが、子どもたちや先生方からは「パウロの森に行きたい」という声が多く現場の重要性を実感した。

●事業をよく知る関係者の声

子どもたちが書いてくれた手紙で、とても喜んでいたことを確認した。(担任の教員)

本年も子どもたちに大好評で、来年もこの授業をやっていただきたい。(副校長)

●参加者の声

- ・パウロの森にまた来たい、教室の授業も楽しかった。(小学生)
- ・子どもたちの笑顔が楽しみで進んで関わりたい。(幹事)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
体験授業	文化祭	都内	都外	計
4回	1回	47人	11人	58人
実施場所：東京都八王子市				



「森のたんけん隊」プログラム

みんなで守ろう育てよう！よしみ里山プロジェクト事業



(特非) ナチュラルリングトラスト

東京都世田谷区千歳台

●事業概要

里地里山保全活動を始めてから7年が過ぎ、近年では希少な野草が見られるほど回復してきた。

隣接地に太陽光発電設備が設置、広葉樹の落ち葉が影響することから伐採、その跡地が課題となった。そこで、地元住民に呼びかけ「親子」を対象とした地域の森づくりをワークショップ形式などで行った。主な活動は以下のとおり。①里山保全活動の意義と意味、世界の森林の現状(SDGs説明)、②自生樹木の観察、③保全活動、④植樹、⑤間伐材の看板づくり、⑥クラフト活動、⑦樹幹ロープによる綱渡り遊びなど。

●事業成果

予定計画はすべて実施できた。地域住民は気軽な参加を希望しているため、半日程度の作業と、子ども連れで参加しやすく工夫することで多くの参加が実現した。

①普段できない体験、②親子で一緒に体験、③協働による仲間づくりができるようプログラムを工夫した。

●事業をよく知る関係者の声

参加者に若い家族が多く、今後のためにもすばらしい。

●参加者の声

- ・おちばにはいったとき、あったかかったです。はっぱにさわったらザラザラしていました。(小学1年)
- ・森はとっても楽しかった。(小学4年)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.5ha	30本	0.5ha	0.1ha	155人	27人	182人
樹種：広葉樹						
実施場所：埼玉県吉見町						



伐採体験

吉野 落葉樹・どんぐり苗返しの森造り森林再生事業



(特非) 地球と未来の環境基金

東京都千代田区神田須田町

●事業概要

目的は、奈良県吉野町において、「森林多様性の自然環境」をめざし落葉樹林を再生することである。また、同再生において、地域の子どもたちの環境教育の場のモデル事業地とすることも織り込んでいる。

主な活動は以下のとおりである。①伐採地で、中低木性の樹種が植生している場所で除伐、地拵え、②地域の子どもたちが森でクヌギのどんぐりを拾いポットで育苗、③子どもたちが育てた苗木と調達した苗木を地拵えした場所で植樹、④植樹した場所の下刈り。

●事業成果

吉野町の森で、山主がシイタケ生産のためのクヌギ林育成へ樹種転換中の山において、地元幼稚園の子どもたちが森で拾ったどんぐりを育苗する活動が継続できた。また、前年植樹した場所の下刈りも実施した。

●事業をよく知る関係者の声

子どもたちが地元の森で植樹することは良い環境教育になると思う。(教育委員会役員)

近年樹種転換などを希望する山主も出てきている。本活動のような支援はありがたかった。

●参加者の声

・地元の関係機関が連携した活動は、林業の町に新たな息吹をもたらすと思う。(60代)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.15ha	120本	0.4ha	33人	3人	36人
樹種：クヌギ					
実施場所：奈良県吉野町					



クヌギを植樹

三浦半島の真ん中に自然ふれあいの森をつくろう



協働参加型めぐりの森づくり推進会議 「自然ふれあい楽校」

神奈川県横須賀市秋谷

●事業概要

ゴルフ場建設途中で放置され荒廃していた県有地『湘南国際村めぐりの森』において、緑の再生・保全のための里山保全活動と、一般市民(特に子ども達)を対象にした「森づくり体験教室」「自然ふれあい教室」を実施する。活動内容：①サマースクールとオータムフェスタ、②こども自然ふれあい楽校、③地元小学校の環境教室として植樹と育樹作業、④「自然ふれあいの森ファミリー植樹祭」、⑤植樹地の下刈り・枝打ち、⑥茅場整備作業と植樹用堆肥づくり、⑦観察路および作業道の整備保全作業。

●事業成果

貸切バスにより移動の時間が短縮され、学校時間割のなかで充実した森づくり体験学習を行うことができた。

●事業をよく知る関係者の声

地域の自然を自分たちで守ろうという意識から参加する地域住民が増えることを願う。(作業ボランティア)

持続可能な地域づくりに子どもたちが参加することの意義はたいへんに大きい。(小学校教員)

●参加者の声

・植えて育てるのは、大変な事だと思いました。(小学6年)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	観察路等整備	県内	計
0.9ha	32本	0.4ha	1200m	225人	225人
樹種：クヌギ、コナラ					
実施場所：神奈川県横須賀市(めぐりの森)					



クヌギ、コナラを植樹

鬼太鼓の森再生事業



「鬼太鼓の森づくり」協議会

新潟県佐渡市千種

●事業概要

「鬼太鼓の森」は、佐渡の伝統的芸能である「鬼太鼓」で使用される太鼓やバチ等の材料となるケヤキ等を国有林に植栽し、保育等の森林整備活動を継続している。平成19年に造成して以来、当協議会とボランティアにより活動を実施してきたが、周辺のスギによる被陰や積雪圧の影響で植栽木の生育状況は思わしくない。

今年度は、植栽木の光環境を改善するため、昨年度に引き続き被陰木であるスギを伐採するとともに、一般市民の関心を高めるためのイベント（育樹作業及び、樹名板の設置・林内散策等）を開催した。

●事業成果

被陰しているスギの伐採を行ったことでケヤキ等の植栽木の光環境が改善された。また、植樹イベントに参加した人達に対し、鬼太鼓の森の存在やその目的について伝えることができた。

●事業をよく知る関係者の声

下刈りイベントに小学生が活動に加わって良かった。今後は更に環境整備を進めて一般市民が参加しやすい環境づくりに取り組んでほしい。（協議会員）

木工教室やネイチャーゲーム等を行うことで一般参加者をさらに増やしてもらいたい。（緑化団体役員）

●参加者の声

- ・昨年に続き参加したが子どもたちが楽しみにしているので今後も参加したい。（40代会社員）
- ・色々な木や草があって勉強になった。（小学生男子）

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	伐採本数	県内	計
0.24ha	71本	240人	240人
実施場所：新潟県佐渡市			



樹名板の設置

緑の里山保全の森づくり活動



(公財) オイスカ富山県支部

富山市下大久保

●事業概要

目的：植樹や下刈り等の活動を通じ、市民や次世代の子どもたちに森林の役割や環境保護の大切さを伝える。

内容：①立山町天林地区の面積1.1haのフィールドにて下刈り等の育樹活動、②植樹及び周辺樹木観察（森の寺子屋講師・ボーイスカウト指導者による解説）。

●事業成果

現地で2年目の活動となり、初年度に植樹した苗木の成長を参加者が見届けることで自らの活動の成果を強く認識でき「活動継続のモチベーションが高まった」「次回は家族と一緒に参加したい」との声が多数あった。また、参加者の習熟により、より安全・迅速に作業を実施できた。

●事業をよく知る関係者の声

植樹により環境が良くなること、大勢の人が集いこの地区の良さを知ってもらうことは地元にとっても有意義。（地元自治会役員）

有意義な活動であり会員企業にも参加を呼びかけたい。（経済団体事務局員）

●参加者の声

- ・1年前に植えた木が大きくなっていてうれしかったし、森の大切さをあらためて感じた。（ボーイスカウト）
- ・草刈り機等の機材がもう少しあると、より作業がはかどるのではないかと。（60代男性）
- ・有意義だった。次回は家族と参加したい。（40代男性）

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.8ha	300本	2.2ha	0.2ha	197人	12人	209人
樹種：ヤマザクラ、シラカバほか						
実施場所：富山県立山町						



ヤマザクラ、シラカバほかを植樹

ふるさとの絆の森再生事業



石川フォレストサポーター会

金沢市古府

●事業概要

目的は、小松市の憩いの森、輪島市道下のメモリアルパークにおける人工林の整備と水源かん養林の保全活動を行うことである。主な活動は以下のとおり。①植樹区域の下刈り。②形質不良木の伐採、過密箇所の間伐。③憩いの場としての植樹。④学童への森林環境学習。

●事業成果

傾斜地での下刈り作業やチェーンソーによる除伐作業だったが、ベテラン会員の安全指導等を徹底し、比較的細い木から伐採することで安全に作業ができた。また、誤伐の恐れのある場所では、手鎌による事前の下刈り作業を行うことで、次の作業につなげることができた。

また、学童への森林環境学習や、整備作業の大切さを学ぶフィールドとしても使用されることで、保護者も含め参加者のさらなる広がりの可能性を確認した。

●事業をよく知る関係者の声

憩いの森では、休日には遊歩道でのウォーキングやランニングを楽しむ市民が少なくないが、樹木伐採時の周辺への安全確認が適切になされていた。(公園管理事務所員)

輪島市道下では、メモリアルパークに隣接した法面の樹木は順調に成長している。(地元住民)

●参加者の声

・憩いの森で伐倒した木が立木の状態では想像できないほど大きく、周囲の安全確保の大切さを知った。(50代女性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	計
0.05ha	20本	3.55ha	0.32ha	210人	210人
樹種：サクラ					
実施場所：石川県小松市、輪島市					



サクラを植樹

鎮守の森の再生



中番環境を守る会

福井県あわら市中番

●事業概要

近年の台風と大雪で損傷した鎮守の森を子どもたちと一緒に再生を図る。①小学生や住民を対象に専門家を招き森の観察会を開いた。②森づくりでは子ども達と100本余りの樹木を植えた、半分は実生の苗を使用した。③森の中にチップを敷いて歩道を作り、薄れる自然とつながり、樹木や野鳥を観察できるようにした。④ドングリを蒔き実から育て、卒業時に移植することで継続して森づくりに関心を持つようにした。

●事業成果

森の観察会を開き、台風や大雪で損傷した森を歩き見て、植樹の意義等を理解してから、子どもたちにとっては初めての植樹を行い、ドングリを蒔いて育てるという一連の活動が良かった。子どもたちが作成してくれた「春日の森新聞」や「植樹活動感想」から、よく見て理解していると推定される。

●事業をよく知る関係者の声

自然災害で荒廃した森が整備され感謝している。(区民)
子どもたちが観察会をとおして、植林に関心を持った事を感想文を読んで強く感じた。(区民)

●参加者の声

・ドングリにもいろいろな種類あることがわかり、世話をするのが楽しみだ。(小学3年)
・大きなケヤキも苗のときはあんなに小さいのでびっくり、台風や雪にまけないでほしい。(小学3年)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.4ha	110本	1.4ha	0.1ha	48人	19人	67人
樹種：スギ、ケヤキ						
実施場所：福井県あわら市						



スギ、ケヤキなどを植樹

ただ風の谷プレーパーク ～あそびの森プロジェクト～



(特非) 森のほうかごがっこう

福井市八重巻町

●事業概要

長年手入れなく茂った里山が雪害により荒れてしまったが、隣接する子どものあそび場プレーパークには、自然に親しもうとやってくる親子が多数いる。そうした子どもたちのために里山を整備し植林をしていく事で、里山を守り、子どもたちも森を守ることへの関心を持てるようにすること。主な取り組みは、①スギの成長を阻害する侵入木の伐採と下刈り、②プレーパークの実施、⑤一般市民による森林環境学習。

●事業成果

昨年、植林をした家族が様子を見に来たり、次の展開、環境整備への興味を持ってもらえるようになり、協力者が増えた。

●事業をよく知る関係者の声

初めての取り組みで、みんな迷いぎみだったが最終的に実施できたことで地域にとってもこれからこの森を拠点に活動できそうな見通しができた。継続に知恵をしぼっていききたい。

●参加者の声

・家族だけでは体験できない事なので参加できてよかった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.2ha	100本	3ha	111人	9人	120人
実施場所：福井県丸岡町					



親子で植樹

元学校林を利用した教育の森創造事業



(特非) グリーンウッド自然体験教育センター

長野県下伊那郡泰阜村

●事業概要

現在子どもの体験活動等で活用されている元学校林にて、以下の活動を行う。①自然への理解を深めるための都市部住民向け「森のようちえん」及び地域の子どもの向け「プレーパーク事業」。②安全な活動をするための支障木処理や除間伐。③②における人材育成。④②で出た材での炭焼き及び薪としての利活用。⑤②にあわせて森の整備事業。

●事業成果

継続的に手入れを行い、明るい森になったことはもちろんだが、なにより村の地域住民やPTA、有識者で森の活用を考える会議を実施したことで、これまで子どもだけの活動場所だった元学校林が大人たちにも、その役割や価値が理解された。

●事業をよく知る関係者の声

森がこれほど村の子に使われていることに驚いた。人が管理しつくした公園のような森をめざすのではなく、人が暮らしている自然の里山的な森をめざしていきたい。(森の活用を考えるメンバー)

●参加者の声

- ・真っ暗な森でキャンプをして星がきれいだった。(地域プレーパーク活動)
- ・チェーンソーを使うことに戸惑ったが、丁寧に教えていただき少しずつ自信がついた。森を正しく管理するためにも必要なスキルと感じた。(人材育成対象者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
森林資源活用	森のようちえん	プレーパーク	県内	計
60㎡	1回	1回	192人	192人
樹種：ヒノキ、アカマツ				
実施場所：長野県泰阜村				



間伐後の森林

ぼくらの裏山ランド整備事業



(特非) 信州フォレストワーク

長野市丹波島

●事業概要

小川小学校の裏山は、急傾斜地で倒木や枯損木が多くあり、安全のためにも整備の必要がある。また、裏山のスギやカラマツ林は手入れがされずに不健康な森になっており、整備をしてモデル林として児童が安心して遊べる山とする。主な活動は、歩道・階段整備、枯損木の処理、除間伐などを行う。また間伐材などを使ってクラフト教室を児童対象に行う。

●事業成果

歩道・階段を整備したので、児童も安全に登ることができるようになった。

枯損木や除間伐をしたので、明るく安全に遊べる森になった。

●事業をよく知る関係者の声

きれいに整備していただき感謝しています。今後、森林整備をさらに広げていってほしい。(小川村役場担当職員)

●参加者の声

・壊れていた階段が直り、低学年でも安全に裏山に登って遊べるようになった。(学校関係者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付本数	間伐面積	歩道整備	県内	計
5本	0.5ha	50m	40人	40人
樹種：シダレザクラ				
実施場所：長野県上小川村				



枯損木の処理や除間伐作業

清流と共に生きる子どもたちの100年の森林づくり事業



(公社) 静岡県林業会議所

静岡市葵区追手町

●事業概要

清水中河内小学校では、森林を整備整備して活用を増やし地域のシンボルとして復活させたいと考えていた。ただ、資金的な問題もあつて実行を躊躇していた。本会では地域のシンボルとなる森林づくりのため子どもたちの成長を促す「森林環境教育」と約274haある学校林に児童が入りやすい作業道の整備、境界確認と杭の設置を行った。

●事業成果

学校林へのアプローチ作業道が新設され、児童や先生が学校林に入りやすくなったことで活用が活発になった。イベントを通して、小学校と地元の森林組合、林業家、農林事務所、市役所、林業会議所など地域連携が広まった。児童が林業を実践している外部の指導者による「森林環境教育」を受け、森林大切さと山づくりの大変さを学んだ。

●事業をよく知る関係者の声

児童が森林・林業のことを学べることと学校林に入りやすい環境整備が同時にできる良い取り組みです。今後も継続してほしい。(小学校教員)

●参加者の声

・木を切ると中にもようがあつてそれが木の年の数ということをはじめで知ったので驚きました。(小学2年)

・すごいと思ったことは、木を切るとき他の木に当たらないように木を大事にしていることです。(小学4年)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
間伐面積	作業道設置	県内	計
0.5ha	150m	80人	80人
樹種：スギ、ヒノキ			
実施場所：静岡市清水区			



間伐の指導を受ける

富士のさと「子どもたちの未来の森づくり事業」



(特非) 土に還る木森づくりの会

静岡県御殿場市竈

●事業概要

18万㎡のエリアを有し、全国の青少年教育施設として中核的な施設でありながら施設エリア内の樹木や自然環境の整備は不十分であった。平成26年度より「富士山麓の施設に相応しい森づくり」と「青少年の施設にマッチした森づくり」を計画的に実施している。

●事業成果

野外研修所付近の樹種転換を拡大し、計画通りほぼ達成できた。子どもたちのウォークラリーを充実させるため、動物オブジェ14体を製作した。遊歩道ほかにウッドチップを敷設した。施設内の看板を新設・修理を行った。

●事業をよく知る関係者の声

樹種転換が図られ、より利用者に親しまれる自然環境となった。木製の動物オブジェクトは、構内の自然環境に調和し、また、利用者によく親しまれている。

遊歩道やクロスカントリーコースにウッドチップを敷き詰めたことで、ランナーはもちろん青少年が散策する場としても相応しいものとなった。

●参加者の声

- ・木製のオブジェクトは、児童が自然で遊ぶのにいいきっかけになっている。
- ・ウッドチップは木の香りが味わえ、散策したくなる。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
5ha	228本	2ha	128人	40人	168人
樹種：クヌギ、ミズナラほか					
実施場所：静岡県御殿場市					



クヌギ、ミズナラほかを植樹

サバイバルマウンテン整備



上野間学区青少年を守る会

愛知県知多郡美浜町

●事業概要

目的は、技術や資金不足のために手入れが十分に行き届いていない学校林（通称：サバイバルマウンテン）の整備を行うことである。主な活動は以下のとおり。①樹木の生長を促すための間伐・除伐。②階段枕木の取り替え（伐採樹木を加工）。③ターザンロープ、ブランコなど遊具ロープの取り替え。

●事業成果

間伐・除伐を行い、日当たりがよくなるなどの効果が出ている。5年生は、手入れ不足の影響や間伐・除伐などの整備の大切さを学んだ。

●事業をよく知る関係者の声

今後も継続して手入れをする必要がある。学校の職員だけでなく地域の住民も活動に参加して補修方法を学ぶことができたことが良かった。今後も学校と地域で連携して整備活動に取り組んでほしい。（上野間区区会議員）

●参加者の声

- ・運んだ木は重かったけど、自分たちも整備に関わることができて良かった。きれいになったサバイバルマウンテンで遊べるようになってうれしい。（小学5年生）
- ・枕木交換作業は厳しい作業であったが、子どもたちのためにという気持ちで取り組んだ。自然とふれ合える機会が減少している中、このような場所が学校校地内にあることは非常に良いことだと思う。（50代男性）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付本数	除伐面積	間伐面積	県内	計
3本	0.2ha	0.2ha	77人	77人
樹種：サクラ				
実施場所：愛知県美浜町（町立上野間小学校学校林）				



伐採樹木の運び出し

150周年記念に向けてふるさとに残す夢の里山の森



愛知県豊田市立明和小学校PTA

愛知県豊田市赤田和

●事業概要

目的は、創立150周年を迎えるにあたり、地域のみなが学び、集うことのできる夢の里山の森を再現すること。主な活動を以下のとおり。①夢の里山の森を作る場所の整地、②学習に適している樹木の選定と植樹、樹木の立て看板の設置、里山の看板の設置、③子どもたち、地域の方、事業団体者による完成除幕式、④夢の里山の森の維持管理。

●事業成果

苗木は新芽が出て、少しずつ成長している。子どもたちは、個々に選んだ樹木に愛着と責任をもって灌水や草取りなどの世話をしている。また、広葉樹の大切さや里山のもつ意味を学ぶ良い機会となっている。

●事業をよく知る関係者の声

実で遊んだり、実や葉を食べたり、紅葉を楽しんだりすることができる樹木が選定されているため、樹木が生長したときがたいへん楽しみである。(森林関係者)

日照りが続くときには灌水の時刻を早朝や夕方に行うことが必要である。(造園業者)

里山となるまでの維持管理の継続が大切である。(区長)

●参加者の声

・「大きくなってね」「いっぱい水を飲んでね」と木々に優しく声をかけてあげたい。(小学5年生)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.02ha	36本	0.3ha	376人	376人
樹種：ガマズミ、ムラサキシキブ、ミツバツツジ、アセビ、コナラほか				
実施場所：愛知県豊田市（市立明和小学校）				



樹名板を設置

マキノ高原千本桜の樹勢回復事業



牧野区

滋賀県高島市マキノ町

●事業概要

マキノ高原ではサクラが数多く植栽されており、サクラの名所として知られている。しかし、近年、テングス病がまん延し樹勢の衰えが目立ってきた。このため滋賀県樹木医会の協力を得ながらテングス病の治療を行うとともに、作業を通じて地元区民が樹木医から指導を受けることにより、サクラの保全意識の高揚と今後の自発的な取組の推進を図った。主な活動は次のとおり。①地元区民を対象とした勉強会の開催、②被害の激しい樹木の伐採、③テングス病罹病部の剪定（剪定枝の整理等は地元区民が分担）。

●事業成果

罹病木の治療を行うことで樹勢回復を図るとともに、病原菌の伝染源を除去することができた。これにより多くの人々に花見をより楽しんでもらえるものと思われる。また、地元区民への説明会や作業への参加を通じて、地元区民のサクラの保全意識の高揚を図ることができた。

●事業をよく知る関係者の声

普段からの手入れが重要である。今回、多くの地元の方々が説明会に参加され、ボランティアで作業を手伝っていただいたことにより、今後の地元の方々による維持管理が期待できる。(樹木医)

●参加者の声

・作業に参加させていただき、今後、どのように維持管理すれば良いのかよくわかった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
樹勢回復	罹病木伐採	県内	計
66本	16本	25人	25人
実施場所：滋賀県高島市マキノ町			



テングス病罹病部の剪定

くぬぎーランド！いきもの夢の森 づくり事業



甲賀愛林クラブ女性部

滋賀県甲賀市甲賀町

●事業概要

平成23年より耕作放棄地において子どもたち自身が森を育て、自然を学ぶ取り組みを進めてきた。平成30年度においては、森林保全や木材利用などについて子どもたちの関心を高めてもらうため、子どもたちとともに活動のシンボルとしてのツリーハウスをつくり、様々な体験を通じて森づくりや自然に関心を抱いてもらうこととしている。

●事業成果

生き物調査を行った結果を踏まえて、チョウの食草を中心に植樹を2回行うことができた。また、ツリーハウス建設のワークショップを数回行った。常連の参加者以外にも広く参加者を得ることができた。

●事業をよく知る関係者の声

鳥類昆虫類の調査を主としているが多様性があるとはいえない。一因として、①スギ・ヒノキ植林が多く自然林相に乏しい。②昆虫類の食草や蜜源植物が少ない。③敷地内に河川がなく生息環境として変化に乏しい。ただし、敷地中央に広がるススキ原においてカヤネズミの営巣、またアカガシ大径木や希少着生ランの自生が確認できた。(生物調査・観察会の講師)

●参加者の声

・山や森から“自分の手でつくること”を子どもといっしょに教えてもらって、感謝しています。(40代女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.5ha	300本	2.0ha	314人	24人	338人
実施場所：滋賀県甲賀市甲賀町					



子どもたちが自然に親しむことのできる森づくり

能勢ささゆり学園「学びの丘」整備 事業



能勢町立能勢小学校PTA

大阪府豊能郡能勢町

●事業概要

目的は、児童がPTA会員や地域の学校支援者とともに、校庭の背後に広がる「学びの丘」で自然と出会い、ふれあう機会を充実させること。主な活動は以下のとおり。①学びの丘敷地内の遊歩道での「親水広場」の整備、②屋外教室として展望棟の整備、③学びの丘でのソメイヨシノの植樹。

●事業成果

学びの丘の環境を整えたことにより、親水広場や展望棟だけでなく、そこを拠点としての学びの丘全体の活用が増えた。春見つけや生き物探しといった活動のみならず、展望棟を使っでの教科学習にも活動の幅が広がっている。実際に自分達で植樹することで、森林づくりへの興味関心が高まった。今回の事業を実施する上で、多くのボランティアや教職員が参加した。また整備された学びの丘の開放を行い、多くの地域の方に見ていただいた。

●事業をよく知る関係者の声

ボランティアとして地域の方々を巻き込むことで、学校で行っている森林保全活動への理解が高まった。子ども達の森林をフィールドとしての活動を、今後も応援していきたい。(学校運営協議会委員長)

●参加者の声

・今後の児童の活用が楽しみです。(40代保護者)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	府内	府外	計
植付本数	210人	12人	222人
13本	樹種：ソメイヨシノ		
実施場所：大阪府能勢町			



サクラを植樹

都市近郊での『山とまちをつなぐ』 豊かな里山教育環境の整備



bioa

大阪府茨木市白川

●事業概要

約1万㎡の段々畑(タケ侵入や直径40cm以上の樹木などでブッシュ化)を間伐し、森林ESD・環境教育に活用するフィールドづくりを行った。①多世代が自然と関われる環境を整備し、森林に興味を持ち、環境課題を解決する人材の育成するために、特に小学生では学年別に年間を通した森林環境教育のカリキュラムを作成し活動した。②森林(里山)整備は、若い人材が関われるような仕組みづくりを行った。③茨木市や大阪市の小学校で授業を行った。

●事業成果

地域、学生、小学生など多くが関わり、パートナーシップを形成しながら森林整備を行い、ESD・環境教育を推進できるフィールド整備ができた。①幼児から中高年までが自然と身近に関われる環境が整備できた。②森林(里山)整備においては多くの若い人材が関わり、地域の森林整備に関っている方々の指導の下に伐採や植栽を行った。③カリキュラムの実践校として3校で授業を行った。

●事業をよく知る関係者の声

間伐は一定のスキルが必要で、講習を受け経験を積んだ指導者が必要である。また、その指導者と一般ボランティアをうまく繋ぐ人材も必要である。(森林ボランティア)

●参加者の声

・住民が多く参加できる仕組みがあれば良い。(50代男性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	府内	府外	計
1ha	10本	1ha	1ha	150人	22人	172人
樹種：ヤマザクラ、クヌギ、コナラ						
実施場所：大阪府茨木市						



落ち葉などを活用した土づくり体験

雌岡山梅林の管理育成及び環境保全



雌岡山梅林を育てる会

神戸市西区神出町

●事業概要

目的 現地は神戸市の公園として整備管理されていたが阪神淡路大震災の後、放置状態が続き荒廃していた。有志数名が環境整備、管理育成に努め、観梅期には地域の人々の交流の場として再生され、近隣の学校や老人施設など来訪者が増え活用されるようになった。

内容 草刈り剪定施肥は適期に行った。県産間伐材を使い交流縁台を製作設置。梅林内周辺の巨木、台風による倒木の撤去等来訪者の安全の確保。梅見会、ウメの実収穫祭を行い好評を得た。活動PRを兼ねて、広報誌作成、イベントポスターも作成し、新規メンバー勧誘にも努めた。

●事業成果

梅林周囲及び遊歩道に来訪者との交流を持てるよう、県産の間伐材を使い手作りによる交流縁台を設置。また近隣の保育所、幼稚園、小中学校、特殊養護学校、高齢者養護施設等へポスターの掲示、広報誌の配布と交流を深め梅林訪問の機会が増加した。ウメの実収穫祭を初めて実施。

●事業をよく知る関係者の声

荒廃した梅林は美しくなった。眺望や親しみやすさは神戸ではNo.1だと自慢してもよい。(山頂神出神社宮司)

●参加者の声

- ・整備は毎年やるべき。作業は健康にも良い。会員を増やしまだまだ手を入れたい。(梅林整備活動)
- ・学校から歩いてきたのはきつかったが、梅林から見えた明石大橋や淡路はきれいだった。(小学6年女子)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	樹勢回復	県内	計
80ha	180本	297人	297人
実施場所：神戸市西区神出町			



下刈り

境港市竹内西緑地マツ林復元・整備事業



竹内マツ植樹隊

鳥取県境港市竹内町

●事業概要

境港市竹内西緑地は、かつて美しいマツ林であった。昭和53年頃より砂浜を埋め立て工業団地を造成し、その工業団地と住居地域の緩衝緑地としてマツ林を設置した。しかし、30年経過し、緑地は荒れ緑はあるが人も入れない状態となった。そこで、地区住民を中心に、平成25年に「竹内マツ植樹隊」を結成し整備を始めた。現在、第6期整備事業で3.9haの雑木林を開墾・整備し、5750本のマツを植樹した。完成後は、地域住民の交流の場・憩いの場所として活用したい。

●事業成果

平成30年度は、開墾・整備、植樹と日照りで被害のあったマツを植え替えた。また、市が導入した乗用型四駆草刈機を借り、効率よく除草している。結果、徐々に整備された景観が良くなってきた。

●事業をよく知る関係者の声

今後は、マツ林の除草作業の継続と地域の皆さんが集まる広場をどうつくるかである。整備後の白砂青松のマツ林の管理と利用方法を行政と相談しながら検討したい。(近隣住民)

●参加者の声

- ・以前と比べると見違えるようになった。(60代女性)
- ・木も少しずつ大きくなってきている。(60代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	補植本数	県内	計
0.75ha	1200本	125本	350人	350人
樹種：クロマツ、耐性クロマツ				
実施場所：鳥取県境港市（竹内西緑地）				



クロマツを植樹

僕らの秘密基地づくりプロジェクト



(特非) 隠岐しぜんむら

島根県隠岐郡海士町

●事業概要

交流施設前の放置林を整備することにより、子どもを含めた地域住民が森林体験のできる場所として、森林整備を行う。主な活動は以下のとおり。①放置された森林内の下刈り、②森林内の除伐、③森林内へ入れるようにはしごなどの設置、④植樹による整備完了の広報活動、⑤整備完了の看板設置、⑥森林環境学習のフィールドとして活用。

●事業成果

メダケ等が密生しており森林環境は良いとはいえない状態だったが、内部は平地になっており、整備すれば里山のような環境になると考えたため整備を行った。下刈り、除伐を行うことで小さな子どもでも入れる空間をつくった。このことにより、交流施設を利用している子ども達が遊べるようになり、学校林を持たない近隣の小学校から森林環境学習のフィールドとして活用したいとの申し出があった。

●事業をよく知る関係者の声

森林内部は外部から見えなくなっているため、安全管理には気を付けなければいけないが、秘密基地の感じが出ており、子どもたちは喜ぶと思う。(交流施設管理スタッフ)

山の環境学習が身近で行える場所がなかったので、とてもありがたい。(小学校教員)

●参加者の声

- ・草刈りなどの整備は大変だろうが、環境学習には最適だと思う。(環境学習担当者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	計
5本	0.2ha	0.2ha	15人	15人
樹種：ヤマグワ				
実施場所：島根県海士町				



林内整備

「粒江の栗山」保護事業



粒江小地域学校協働本部実行委員会

岡山県倉敷市粒江

●事業概要

目的は、粒江小学校の学校林(クリ山)におけるイノシシ等からの被害を防ぐために、防護柵を設置し、児童や地域の方々が安心してクリ拾い等の活動に参加し、里山の自然に親しむことができるようにすることである。

主な活動は以下のとおり。①イノシシ除けの柵の設置、②学校林の下刈り、消毒、③児童等によるクリ拾い、④児童等による苗の植樹。

●事業成果

イノシシ除けの柵を設置したことにより、クリ山の下刈り、消毒等を安心して実施することができた。柵設置後のクリ拾いは9月以降になるが、イノシシが入るのを防ぐことができているため、

荒らされることなく、安心して収穫できそうである。

●事業をよく知る関係者の声

柵を設置できたことにより、下刈りや消毒等も安心してできる。クリの収穫量も増加が見込める。(PTA会長)

長年愛されているクリ山なので、今後も地域の子もたちがより安全に自然に親しむことができることは大変喜ばしい。(粒江学区コミュニティ協議会会長)

●参加者の声

- ・毎年、園児がお世話になっているが、柵ができたことで、より安心して参加することができる。(幼稚園園長)
- ・柵が設置されたことで、苗木も大きくなることができると思う。(小学6年生)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
下刈面積		
0.94ha	150人	150人
実施場所：岡山県倉敷市		



下刈り

緑の景観事業による里山創生



「鹿野の風」プロジェクト

山口県周南市大字大潮

●事業概要

継続して雑木を植える事で、疲弊する地域を活性化させる事業。地域の店舗や事業所等に統一感を持たせたコナラを中心に雑木やコグマザサを植栽する。

●事業成果

今年度は、特に雑木植栽チラシをつくり広く告知する事で、念願の活性化拠点に雑木を植える事ができ、本格的な雑木植栽事業が広く認知させる元年になりそうだ。

●事業をよく知る関係者の声

今回の念願の場所に植える事ができ、地域住民や拠点に興味ある人から雑木植栽の件を好印象で評価されている。

●参加者の声

- ・継続は力なりです。今後「ベンチ」を統一感を持たせ全ての植栽場所に配置すればオシャレで、統一感が出るのではないのでしょうか。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
植付本数		
12本	16人	16人
樹種：コナラ、ヒメシャラ		
実施場所：山口県周南市		



コナラ、ヒメシャラなどを植樹

未来に向けた親しみある森づくり

防長の吉野をつくる会

山口県周南市鹿野下

●事業概要

目的は、サクラ、ツツジ、アジサイの植樹やアヤメほかの植栽等を行い親しみある地域づくりを行い、交流人口の増加を期待している。地域づくりは、すぐに効果が見られるものと20年先に効果が見られるものを織り交ぜて実施している。ツツジの植栽については、5月にはずらしい景観になると確信している。

●事業成果

景観を変えることで交流人口の増加や次世代に繋ぐことができることを感じた。特色のある地区になるように管理面も含めて育てていきたい。

●事業をよく知る関係者の声

平戸ツツジが満開となり、すばらしい地域となる映像が浮かんできます。地域の皆が協力して取り組みたいものです。しかし、課題もたくさんあると思われるので話し合いの機会も持ち、盛りあげたい。(緑の少年隊事務局長)

●参加者の声

- ・ツツジが咲く日が楽しみです。少しでもこの地域が元気になり多くの人に来ることを期待しています。(70代)
- ・自然を体験できてとても楽しかったです。少しでもきれいな町になればいいなと思っています。(中学生)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.3ha	230本	10人	10人
樹種：ツツジ、モミジ			
実施場所：山口県周南市金峰			



ツツジ、モミジを植樹

集まれ光井っ子！ 里山整備プロジェクト



光井地区連合自治会

山口県光市光井

●事業概要

目的は子どもたちの遊び場・学びの場づくりのために小学校裏山の竹林を伐採、あわせて危険木の伐採を行った。薬草園の植栽、伐採したタケの粉碎で肥料づくり、里山循環コースをつくった。

●事業成果

山頂にあるクヌギの大木、危険木の撤去を実施、伐採したクヌギの木にシイタケ菌を植え再来年の収穫を期待した。タケ粉碎機で粉碎したタケを周辺及び畑に蒔き、土壌改良を実施。タケノコを食べるイベント花まつりを実施、光井川周辺にシバザクラを植栽するなど地域住民の注目を得てボランティア参加意欲が高まってきた。

●事業をよく知る関係者の声

PTAの参加がないのが気になり、具体的な活動方法を検討し学校と協議して活用していくことが大切。

●参加者の声

- ・暑いときは作業が大変である。維持管理の下刈りや倒れたタケの除去等の作業が多く、一日一日の成果が表れにくいので足が重くなる時がある。楽しみや子どもたちとの交流など目に見える成果があるとうれしい。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	計
3ha	100本	1.5ha	1.5ha	312人	312人
樹種：シバザクラ					
実施場所：山口県光市光井地区					



タケの伐採

子ども達と楽しむ気晴らしの丘の森づくり事業



象頭山再生プロジェクト

山口市大内氷上

●事業概要

森林環境教育のフィールドとしての活用や地域住民の憩いの場となるための環境整備を行った。

●事業成果

小学生が再び学校行事として象頭山に登ったのは46年ぶりという感激的な事業であった。児童がこの山から市内を眺め「山口市は大きいまち」と叫んだことは、この事業にかかわったものとしては喜びでいっぱいとなった。小学生110人が班ごとに植樹をしたり樹木医から木についての話を聞く態度も良く、野外活動の大切さを実感できた。

●事業をよく知る関係者の声

継続した下刈り作業等の整備活動は、維持管理の面で大変な作業であり、負担も大きい植林した苗木の成長を楽しむに参加している。これからも地域の連携により環境整備を意義のある活動として参加者募集を行う。また、山の植物や樹木の観察は、子どものみならず大人も多様な生物の生息状況を知り、森の生態系を実感する良い機会となるようPRに努めたい。(会員)

●参加者の声

- ・自分が植えたツツジが元気に育ってほしい。(小学生女子)
- ・自然とふれあえる機会が減少している中、このような企画は子どもの教育に非常に良いと思った。(校長)
- ・樹木と仲良しになってほしい。(樹木医)
- ・ぜんざいをおいしく食べてくれた元気な子どもたちに元気をもらった。(70代女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.1ha	150本	0.1ha	300人	300人
樹種：ツツジ				
実施場所：山口市				



ツツジを植樹

紙屋の里山等再生事業

紙屋有志会

宮崎県小林市野尻町

●事業概要

紙屋小学校・中学校は、学校林もすぐ近くにあるが、学校近辺の森林はタケが侵入したりスギの風倒木があるなど放置状態にあった。このため、地区の区長やボランティア等で組織する「一徳協議会」とPTAが連携して、学校の近隣の森林整備、国際交流・還暦祝いを兼ねた記念植樹などを実施した。活動への参加者を地域外に広げるため、宮崎県の呼びかけで設立された「中・山間盛り上げ隊」にも協力依頼したところ約20人が新たに参加した。

●事業成果

紙屋地区内の賛同者が増えるとともに、「中・山間盛り上げ隊」からも参加があった。また、昨年度に引き続き、電力会社、NTT、警察、地元行政も理解を示し、人的・物的支援をしてくれた。さらに、学校から離れた場所の里山の整備等を実施したことから、紙屋地区全体に浸透しつつあり、この活動が点から線になる礎の年度となった。

●事業をよく知る関係者の声

小林市の地域活動のモデル的な事業であり、今後ともを実施してもらいたい。(小林市議会議長)

大変きれいになり子どもの通学も安全になった。以前シイタケ種ゴマ打体験したホダ木からシイタケが発生し、子どもたちも喜んでいる。(幼稚園長)

●参加者の声

- ・雨の中の作業であったが、地元の方と協働しながら予定個所を無事終えて達成感があった。(電力会社責任者)
- ・電力会社やNTTなどの協力も得てすすめることができ、大変感銘した。(市職員)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.2ha	70本	1.2ha	0.1ha	310人	8人	318人
樹種：ヤマザクラ、ヤマボウシ						
実施場所：宮崎県小林市野尻町						



タケの伐採

国 際 協 力

地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業



(特非) サヘルの森

東京都町田市原町田

●事業概要

村人が参加できる里山の資源再生を図り、その持続的な利用で、生活の安定化を図っていくことを目的としている。

①住民による里山再生では、2万6千本余の苗木配布と植林ワークショップを実施。②篤農家研修と里山モデルの実践では、2人の苗木生産者を講師として、3カ村で、里山で活用できる技術研修を実施。③試験地・見本林での植生回復技術及び栽培技術の開発では、試験地でのチャンガラの実生苗を増やすため小さな盛土を作り播種。④里山の保護では、伐採された森林の林床に生育する樹木を保護管理。

●事業成果

マリの首都100km圏にある3地域で、97カ所の村、学校などに苗木配布と植栽を行い、緑化に貢献できた。3カ村で技術研修を行った。前研修者が井戸の設置や苗木生産を行い、里山再生の植林を開始することができた。

●事業をよく知る関係者の声

「サヘルの森」がしている試験は私達にとっても大事であるので続けてほしい。(ニヤマトブグー村長)

教師だけでなく村の管理者との接点ができたので、学校を緑の拠点とする事業を進めてほしい。(サヘルの森理事)

●参加者の声

- ・苗木ポット用の袋はありがたいが劣化しやすい。(女性)
- ・学校の周囲に樹木を植えたい。(男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	マリ	計
42ha	2万6500本	8800人	8800人
樹種：ユーカリ、バオバブ			
実施場所：マリ・バマコ100km圏			



ユーカリ、バオバブなどを植樹

日本ーラオス友好の森展示林造成事業



高尾グリーン倶楽部

東京都八王子市南浅川町

●事業概要

ラオス政府は今後焼畑を縮小し、恒久森林を7割にまで増やす計画である。このプロジェクトは、ラオス国と締結したMOUに基づき、地元樹種による植樹を行い、かつての自然林を復元すること。また、共同で植樹祭を行い植林を通じた国際交流と森林保全の普及啓発を行い、植栽後20年経過した森林で間伐を導入実施。その展示林を造成して森林管理手法を検証することを目的としている。目的達成のため、植樹、間伐の展示林造成を行った。

●事業成果

9種類の郷土樹種を20本ずつ群状植樹して3haの展示林造成を行った。植樹祭は、日本とラオス側から156人が参加、森林講座も行い交流を深めた。間伐では、間伐の意義、間伐計画、標準地調査、選木の方法、安全伐木技術などについて、実技講習会を行った。

●事業をよく知る関係者の声

森づくり支援は、地域住民に育林意欲を喚起するために貴重であり、継続を期待する。(森林局副局長)

間伐の手法は大学演習林でも導入したい。現地実習は拡充してほしい。(ラオス大学林学副部長)

●参加者の声

- ・植樹祭は、子どもに森林保全の大切さを教えるいい機会になった。(村長)
- ・将来どんな森になるのか楽しみ。(高校生)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	日本	ラオス	計
3.0ha	3333本	8.0ha	2.0ha	114人	953人	1067人
樹種：トンキンチク、アフゼリア、ビルマカリン、メラワン、アビトンほか						
実施場所：ラオス・ビエンチャン県バンビエン市						



郷土樹種を植樹

フィジー 森林と海の生物多様性保全に向けた植林と環境教育推進プロジェクト



(公財) オイスカ

東京都杉並区和泉

●事業概要

森林やマングローブの伐採が進み、生物多様性が劣化するとともに、異常気象による被害が深刻化しているフィジー・ビチレブ島において、持続的な緑化・環境保全活動を促進するため、植林活動及び実践的な環境教育を実施。主な活動は以下である。15の学校及び周辺地域における植林・環境教育活動、育苗活動、エコキャンプの開催、マングローブ植林など。

●事業成果

初年度は、効果的な植林活動の展開を図るため、モデル的实施学校・地域をニーズや意欲の高い4か所に設定。約6.76haの緑化を行うことができ、目標を達成することができた。マングローブの活動では、沿岸部の子どもたちや地域住民だけでなく、内陸部からも参加者を招待し、地域を超えて自国の環境問題について学び、互いに協力しあう意識を育んだ。また実践的な環境教育にも力を入れた。

●事業をよく知る関係者の声

子どもたちと地域住民が活動に参加することで、地域全体が植林に理解を示し、住民も積極的に管理活動に参加している。(マタソ村村長)

●参加者の声

・海やマングローブの大切さ、その役割についても理解することができた。(小学生)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	フィジー	計
6.76ha	7707本	2104人	2104人
樹種：フィジーマツ、マホガニー、テリハボク、レモン、マングローブほか			
実施場所：フィジー・ビチレブ島			



マングローブの植樹

平成30年度 緑の国際ボランティア研修 (タイ国)



(特非) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

●事業概要

研修員が国際緑化活動の重要性や緑の募金が果たす役割について理解を深めることをめざし、9日間の緑の国際ボランティア研修をタイ国にて実施した。研修員はバンコク、パトタニ県、チャイナート県、ナコーンラーチャシーマー県においてタイ国中部・東北部の開発に伴う森林伐採地を訪問し、NGOが取り組む植林活動地の視察、植林体験、地域住民との意見交換等を実施した。

●事業成果

チャイナート県、ナコーンラーチャシーマー県の植林活動地を初めて訪問し、各県の現地住民のみならず民間企業とも交流し、協働して植林活動に従事したことで、多様な人々との相互理解を深めることができた。

●参加者の声

- ・複数の植林活動に参加できたため、地域による植林環境の違いを見ることができた。
- ・インターネットからでは得られない森林保全に取り組む現地住民の生の話を聞くことができた。
- ・民間企業(ローソン)の取り組みを知ることができた。今後の就職活動において企業のCSRに注目したい。
- ・国際緑化活動には様々な関わり方があることを知ることができた。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	タイ	計
5.4ha	7680本	2.1ha	30人	133人	163人
樹種：緑化樹種(在来樹種)					
実施場所：タイ・チャイナート県、ナコーンラーチャシーマー県					



地域住民と協働しての植樹

タイ国チャイナート県における森林再生を目指した植林事業(フェーズ2)



(特非) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

●事業概要

チャイナート県において、薪炭材の確保や非木材林産物の収穫を通じた地域住民の生活安定と自然環境および生物多様性の保全を両立できる森林再生・保全システムを根付かせていくことをめざして、以下の活動を実施をする。①地域住民、民間企業と協働での在来樹種の植林、②持続可能な森林管理に向けたステークホルダー間におけるワークショップの開催、③森林管理住民グループの形成に関する支援、④地域住民の持続可能な森林管理に関する知識・技術向上を図る研修。

●事業成果

地域住民、民間企業と協働して協力を得て植林を実施するとともに、ワークショップの開催、住民グループの形成に関する支援、持続可能な森林管理に関する知識・技術向上を図る研修等を実施した。多くの地域住民が参加し、持続可能な森林管理についての知識や関心が高められた。

●事業をよく知る関係者の声

地域住民のみならず民間企業や日本人ボランティアが参加したことで、植林および森林保全に関する重要性を広く周知することができた。(森林管理住民グループ)

●参加者の声

・本活動は地域における植林活動に関して地域住民の関心を高める良い機会となっている。(住民)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	タイ	計
0.9ha	1280本	0.5ha	17人	93人	110人
樹種：ビルマシタン、メンガ、ケランジー、ヤーンナーほか					
実施場所：タイ・チャイナート県					



在来樹種を植樹

タイ国ナコーンラーチャシーマー県における森林再生を目指した植林事業(フェーズ2)



(特非) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

●事業概要

ナコーンラーチャシーマー県において、薪炭材の確保や非木材林産物の収穫を通じた地域住民の生活安定と自然環境および生物多様性の保全を両立できる森林再生・保全システムを根付かせていくことをめざして、以下の活動を実施する。①地域住民、民間企業と協働での在来樹種の植林、②持続可能な森林管理に向けたステークホルダー間におけるワークショップの開催、③森林管理住民グループの形成に関する支援、④地域住民の持続可能な森林管理に関する知識・技術向上を図る研修。

●事業成果

地域住民と協働しての植林するとともに、持続可能な森林管理に向けたワークショップの開催、住民グループの形成に関する支援、持続可能な森林管理に関する知識・技術向上を図る研修等を実施した。多くの地域住民が参加し、持続可能な森林管理についての知識や関心が高められた。

●事業をよく知る関係者の声

支援を受ける前は、森林管理住民グループのメンバーで細々と取り組んできた。この事業により、活動が地域の注目と関心を集めている。(森林管理住民グループ)

●参加者の声

・森林保全への関心が高まっている。(郡事務所職員)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	タイ	計
4.5ha	6400本	1.5ha	10人	23人	33人
樹種：メンガ、ダルベルギア、インドセンダンほか					
実施場所：タイ・ナコーンラーチャシーマー県					



在来樹種を植樹

カンボジア国クラチェ州における生物多様性の保全を目指した植林事業 (フェーズ3)



(特非) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

●事業概要

カンボジア国クラチェ州は近年大規模な森林伐採や現地住民による違法伐採が進み、現地住民の生計手段となる森林資源の減少や生物多様性への影響が著しい。「持続可能な森林管理」の実現に向けて、植林活動に加え、地域住民の知識・技術の向上と環境・森林保全の啓蒙活動を行う。

本事業の3年目の主な活動は以下のとおりである。①地域住民と協働での在来樹種の植林、②ワークショップの開催、③森林管理住民グループの形成支援指導、④地域住民の持続可能な森林管理に関する知識・技術向上を図る研修、⑤持続可能な森林管理に必要な知識・技術と森林と生物多様性の保全の重要性を記したパンフレットの配布。

●事業成果

前年度同様、多くの地域住民や小学生が参加し、植林活動を実施することができた。森林エリアの減少を危惧している現地住民たちが森林保全の重要性を理解したことは、今後の森林保全対策に大いに役立つと考えられる。

●事業をよく知る関係者の声

自生樹木を植林することは次世代にとっても素晴らしい経験となった。(村長)

●参加者の声

・また参加して森林保全について学びたい。(地域住民)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	カンボジア	計
5.7ha	8340本	3.5ha	275人	275人
樹種：メンガ、ケランジ、ビルマローズウッドほか				
実施場所：カンボジア・クラチェ州				



メンガ、ケランジほかを植樹

インドネシア 森林と水保全のための「まちの森」づくりと環境教育推進プロジェクト



(公財) オイスカ

東京都杉並区和泉

●事業概要

東ジャワ州のマドゥラ島において、水保全に向けた植林活動と持続的な環境保全活動を促進するため、環境教育・啓発活動を実施。主な活動は以下である。「まちの森」における植林活動、15の学校における植林活動・環境教育活動・水保全学習の実施、マングローブの植林活動、雨水貯水設備設置、エコキャンプの開催。

●事業成果

広葉樹や果樹とマングローブを植栽し約5haを緑化した。雨水貯水施設については、2つの小学校に設置、緑化活動の促進や衛生改善に貢献。植林だけでなく、環境教育やセミナー、エコキャンプなどの活動が評価され、3校が新たに州レベルの環境賞を受賞した。

●事業をよく知る関係者の声

活動的で伝わりやすく革新的な学習を児童に提供することができた。児童は活動を楽しみ、継続することができ、今年度設置した雨水貯水装置を活用して、教師が指導をせずとも苗木に水やりをしている。(小学校校長)

●参加者の声

・植林やエコキャンプ、ゴミの分別やネイチャーゲームなど、初めての体験を通じて、多くのことを学んだ。(高校生)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	インドネシア	計
4.7ha	3224本	0.48ha	6人	2232人	2238人
樹種：アカシア、マホガニー、ジャックフルーツほか					
実施場所：インドネシア・東ジャワ州マドゥラ島スメネブ県・パメカサン県					



学校での植林活動

モンゴル国ボルガン県における飼料木を用いた放牧地保全林造成事業



(一社) ジョフカ

東京都文京区本郷

●事業概要

目的は飼料木を用いて放牧地保全林を育成し、過放牧等による放牧地砂漠化進行と家畜飼料不足を緩和し、ひいては放牧民の生活向上に寄与する。主な活動は以下のとおり。

- ①劣化した放牧地に飼料木林育成地を区画しフェンスで囲む、②植林樹種であるカラガナ木の種子とポット苗を調達、③直播発芽率及び植栽苗活着率を高めるための地拵え、④地元学校の生徒を中心としたボランティア植樹祭、⑤地元住民による種まきと苗木の植付け、⑥植林地の維持管理。

●事業成果

劣化した放牧地に10haのカラガナ木を植林した。地域住民に対する放牧地砂漠化防止の必要性や緊急性への喚起において効果が始まっている。同時に飼料木育成で劣化放牧地の有効利用に多くの牧民が興味と期待を示された。また、地元の生徒に呼びかけて行った植栽祭を通じて、学校が現在取り組んでいる環境教育に実践と体験の場を提供したことで、地元政府や学校と住民から歓迎された。

●事業をよく知る関係者の声

カラガナ木を育て砂漠防止に役立たせながら家畜飼料も生産できるとは感心した。(ダシンチレン郡長)

●参加者の声

- ・小さい苗木が1m以上にも大きくなって家畜のエサになると教えてもらった。また参加したい。(中学生女子)
- ・これまで見た植林は必ず水をやっていたが今回は水のやらないで大丈夫か。早く雨がほしい。(40代男性)

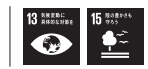
実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付本数	植付面積	地拵え	モンゴル	計
6500本	10ha	10ha	50人	50人
樹種：カラガナ				
実施場所：モンゴル・ボルガン県ダシンチレン郡				



カラガナの植樹

地球温暖化防止と日中友好の森づくり事業



(特非) 地球緑化センター

東京都中央区八重洲

●事業概要

苗木の維持管理を目的として、現地林業局の協力のもと日常的な巡回を実施した。天候に応じて適宜水やりを実施し、また病害虫対策として消毒薬の散布、森林火災防止策として下刈りなどを実施した。11月末には協力企業の関係者とともに、植林場所の視察及び管理状況の確認と地元小学校を訪問した。

●事業成果

現地の小学校を訪問し、交流事業として科学実験を行った。参加した児童たちや学校の先生方も興味深く実験に参加していた。

●事業をよく知る関係者の声

これまで長年の植林活動にとっても感謝している。また、今年からの5年間は維持管理に重点を置いた協力をしてもらえるとのことで大変ありがたく思う。(現地林業局職員)

●参加者の声

- ・科学実験が子どもたちにも好評で良かった。これまでの植林の成果をアピールしながら、今後もこうした交流事業を実施していきたい。(協力企業社員)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	日本	中国	計
苗木の維持管理（水やり・下刈り） 地元小学校との交流	4人	80人	84人
実施場所：中国・内モンゴルエジンホ口旗			



消毒

ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための寒帯林保全及び荒廃林地の造林事業



(特非) むさしの・多摩・ハバロフスク協会

東京都武蔵野市吉祥寺東町

●事業概要

地球温暖化防止およびアムール河溶存鉄保全とチョウセンゴヨウ林復活を目的として、ハバロフスク地方ネクラソフカ地区にチョウセンゴヨウ3年生苗木の植林を行い、その他2か所でも記念植樹を行い、その重要性を啓発した。

●事業成果

3000本の苗木を植えた。またアムールスク市役所および植物園と共同で緑の会議を開催し記念植樹を市民と共にを行い、多くの人々に植林の重要性をアピールすることができた。

●事業をよく知る関係者の声

初めて植林に参加した際には水が浸み出て、すぐ枯死すると思った。しかし、ほとんどが活着しており、それから10年経った今年、大人の背丈の倍以上に成長していたのには驚いた。この事業は、単なる植林事業ではなく、環境意識に関する国際交流や青少年交流への貢献が大きい。(日本野鳥の会役員)

●参加者の声

・セミナーでは現地の生態系を詳しく知ることができ大変勉強になった。記念植樹や植林現場では現地の方々とも交流でき、とても有意義な時間を過ごせた。(10代学生)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	ロシア	計
1ha	3018本	54人	75人	129人
樹種：チョウセンゴヨウ				
実施場所：ロシア・ハバロフスク市、アムールスク市				



チョウセンゴヨウを植樹

モンゴルにおける北方型生活環境保全林の造成事業



蒼いウランバートル技術支援実行委員会

札幌市中央区北3条

●事業概要

目的は、モンゴルにおける生活環境保全林の造成と緑化思想の普及啓発、緑化技術者の養成である。主な活動は、緑化の実践的な技術の向上を図るための技術講習会、住民参加による生活環境保全林の造成(植樹)。

●事業成果

生活環境保全林の造成を一般参加者も交えて実施することにより、ウランバートル市民の植樹の重要性に対する認識が深まった。また、技術力化技術講習会の参加者は植栽地の管理技術について学ぶとともに、植栽地管理上発生する諸問題についても検討し、今後の技術交流の必要性と課題について共通の認識を持つことができた。

●事業をよく知る関係者の声

現地の技術者がこれまで学んだことを活かし、研鑽されていることに大変感心した。現場技術者の要望を踏まえ、人材育成の継続に向けた取り組みを検討していきたい。(蒼いウランバートル技術支援実行委員会名誉会長)

●参加者の声

- ・ウランバートル市民の植樹の重要性に対する認識が深まった。(ウランバートル市都市整備局長)
- ・植えるだけでなく、その後の手入れが重要。(モンゴル国会議員)
- ・北海道の緑化技術から学ぶことが多く、継続的な技術交流が必要。(緑化技術講習会参加者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	モンゴル	計
1.0ha	356本	10人	90人	100人
樹種：チシマザクラ、カラガナ、シラカンバ、カラマツほか				
実施場所：モンゴル・ウランバートル市				



チシマザクラ、カラガナほかを植樹

中国・内モンゴル自治区アラシャン盟ウランブハ沙漠における沙漠緑化



(特非) MAKE HAPPY

宮城県石巻市桃生町

●事業概要

進行する砂漠化を止め、沙漠地農牧民の生活を安定し向上をはかり、水源、防砂林、草地を増やすために、防護柵を設置し家畜放牧を防ぎつつ植樹した。植樹には日本からのボランティアだけでなく、地元の農牧民が作業にあたり労働収入につながり沙漠緑化の理解も深まった。

●事業成果

ウランブハ沙漠に緑が増えた。それだけでなく、8年前に設置した防護柵が流動砂丘で破壊されてから、家畜や野生動物の侵入により木々の生育に大きく影響していたが、防護柵の設置で活着率に大きな成果が期待できる。

●事業をよく知る関係者の声

乾燥地帯での植林作業は灌水作業が重要。さらに放牧地での植林は牧民の理解も重要だ。防護柵を作っても互いに理解がなければヒツジやヤギに食い荒らされてしまう。

西風が強いこの地区では流動砂丘により耕作地はもとより住居さえも砂丘にのまれようとしている。植林を進めれば間違いなく流動砂丘を止めることができる事を実証し、地域住民との協働植林を強力に進めている。(特非)日本砂漠緑化実践協会相談役

●参加者の声

- ・自分の住んでいる場所と“同じ”大地に木を植えてるんだという意識になった。
- ・数年前に植えた木が沙漠に育っている姿に感動した！

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	中国	計
10ha	5000本	43人	78人	121人
樹種：ポプラ、スナナツメ				
実施場所：中国・内モンゴル自治区ウランブハ沙漠				



ポプラ、スナナツメを植樹

苗木生産・供給をベースとした住民主体のコミュニティー完結型緑化事業



(特非) フー太郎の森基金

福島県相馬市尾浜

●事業概要

目的：ラリベラでは燃料に炭や薪を使い、年々目減りする緑に危機感を持ちながら、苗木確保の難しさから植林の実行には至らない。本事業では住民自ら苗木を生産し、自分の家や畑の周りに植樹することを促した。木を植えることで住民の経済的自立を支援し、住民が自ら持続的に活動できるプログラムを実施した。

主な活動：①屋敷林造成：ラリベラ市内2地区の10家庭が屋敷林事業に参加。②山岳地帯の植林：山岳地帯アシエッテン山を中心に40人が参加して植林。③市内への苗木配布：175の団体・個人に苗木と果樹苗を配布、市内の緑化に協力してもらった。

●事業成果

屋敷林、山岳地帯の植林、市内配布を行った。学校4校への苗木配布など、新たな植林地を拡張できた。

●事業をよく知る関係者の声

市から、活動を評価され表彰を受けた。ラリベラでは他に緑化に携わる団体がなくなり、市からの期待は大きい。

●参加者の声

- ・生産した苗木を販売できることはモチベーションが高まる。また木が育った後に自分たちで利用できるのも、一生懸命育てたい。1年だけでなく継続でやりたい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
苗木生産	植付面積	植付本数	エチオピア	計
13万3710本	14ha	7万3606本	215人	215人
樹種：アカシア、シャイニスモル、イトスギ、ドビアリスほか				
実施場所：エチオピア・アムハラ州ラリベラ市				



山岳地帯での植樹

中国内モンゴル自治区錫林郭勒盟正欄旗烏日図嘎查フィサンダグー沙地における沙丘からの流沙防止のための植林



(特非) 日本沙漠緑化実践協会

東京都千代田区外神田

●事業概要

目的は、温暖化による沙漠化防止の一環としての植林である。

内容は、現地農民と協力してまず黄柳を使って、砂止め用の草方格を作成。その中に楊柴、寧条、沙棘、及び障子松を植林。その後定期的に灌水作業を行う。

●事業成果

3年目の植林事業の成果は、少雨にも関わらず現地農民の積極的な協力が得られ、灌水作業のお陰で苗木の成長が順調だったことである。

●事業をよく知る関係者の声

この3年間の植林事業のお陰で流沙防止の森が広がり、農地の沙漠化も多少減少してきている。今後の課題として自力で植林事業をやっていきたいが、まずは今ある森の育林が先決問題となる。(現地農民の代表者)

●参加者の声

・植林事業をこれからも続けていただきたい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	中国	計
10ha	3万2500本	25人	25人
樹種：障子松、楊柴、寧条、沙棘			
実施場所：中国・内モンゴル自治区錫林郭勒市			



障子松、楊柴ほかを植樹

ブルキナファソ・バム県における村落植林プロジェクト



(特非) 緑のサヘル

東京都千代田区神田紺屋町

●事業概要

目的は、地域植生の衰退により住民の生活に必要な薪材の確保が困難になっている状況の改善を図り、かつ家計収入の手段として成長した植林木の用材販売が行えるよう、村の近隣にある未利用地に生活林を造成すること。主な活動は以下のとおり。①8村において、合計19人の植栽希望者にユーカリ苗木1万5610本の配布と植栽。②4村での用具配布。③4村での看板設置。④実施状況の追跡調査。

●事業成果

販売を開始した村と実施者数に変化はないが、販売される本数が増加傾向にある。また、販売単価が同額ではないため単純な比較はできないが、収入金額も増加している。

●事業をよく知る関係者の声

継続的な支援を行っていることから、各村の実施者は植林の意義を十分に理解している。(現地の協力団体AJPEE代表)

●参加者の声

- ・植林によってメリットを得るのは間違いないので満足しているし、次世代のために地域環境を保護することになる。(コラ村)
- ・以前は、薪集めに遠方まで出かけていたが、現在では村の近くで手に入るようになった。(バディノゴ村)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	ブルキナファソ	計
24.7ha	1万3260本	720人	720人
樹種：ユーカリプトゥス、カマルデュレンシス			
実施場所：ブルキナファソ・中央北部州バム県			



ユーカリプトゥスほかを植樹

インドネシア・東スンバ県における緑化推進のためのマングローブ植林事業



(特非) 地球の友と歩む会

東京都千代田区富士見

●事業概要

目的は、①元々マングローブ林だったが伐採されて残りが少なくなってしまった海岸の自然環境を元に戻すため。②魚介の棲みつく海岸をつくり、地元の人たちが魚やエビ、カニなどを売って現金収入を得られるようにするため。③入り江の奥にある町を津波の被害から守るため。また、現地のNGOが参加者たちに自然の大切さなどの話をした。

●事業成果

町の高校の協力があり学校の奉仕活動として高校生が数回にわたって植林に参加した。現地NGOが生徒にマングローブ植林の大切さを話した。今年度は植林ワークキャンプとして日本からの参加者もいっしょに植林をした。

●事業をよく知る関係者の声

今年度は教会の日曜学校の子どもたちに加えて、町の高校生たちが多数参加してくれたので、子どもたちの環境への知識が深まった。子どもたちから親に環境保全の大切さが伝わるとマングローブを伐採したり海岸にゴミを捨てる大人が減るだろう。(現地協力NGO)

●参加者の声

・何回も子どもたちを連れて活動に参加しています。今では子どもたちは海岸にあるゴミを自ら拾って片付けるようになりました。これからもこの植林活動に参加するつもりです。(30代主婦)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	インドネシア	計
3ha	3500本	3人	298人	301人
樹種：マングローブ				
実施場所：インドネシア・東スンバ県カル村				



マングローブを植樹

フィリピン・アブラ州生物多様性改善のためのモデル植林プロジェクト



(公財) オイスカ

東京都杉並区和泉

●事業概要

目的は、ルソン島北西部一帯の流域の源であるにも関わらず、森林が急速に減少していランガンギラング町において、住民参加型で、生物多様性に満ちた植林を行い、持続可能な森をつくる。主な活動は以下である。①地域住民の組織化：地域住民の参加型アプローチを採用し50人の組織を設立した。②植林関連活動：植林地の整備、植林前準備、日陰樹の植林、在来種・果樹の植林、植林後の維持管理、持続可能な管理のための環境教育を行った。

●事業成果

植林に関連した活動への参加者の数：470人

セミナー並びにワークショップ：310人

植栽面積：12.7ha（1年目、6.7ha、2年目6ha）

再植林された苗木・挿し木：1万本ほか。

●事業をよく知る関係者の声

セミナーは生徒達が生物多様性を促進するためには樹木が重要であることを理解する上で助けとなりました。彼らは環境保護のために必要な取り組みについて理解したと感じました。(学校長)

●参加者の声

・苗木が生き残って、野生動物たちが生きていけるようになるとうれしい。(12才)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	フィリピン	計
6.7ha	1万本	470人	470人
樹種：モラベ、マンゴー、グヤバノほか			
実施場所：フィリピン・アブラ州ランガンギラング町			



モラベ、マンゴーほかを植樹

セレゲレン苗木生産センターにおける育苗及び砂漠化防止のための植林普及事業



(特非) エコアライアンス21

東京都世田谷区上祖師谷

●事業概要

モンゴルでは伝統的な遊牧が行われており、過剰な畜産が草地の劣化を招いている。また、大規模農業も導入され、草地の減少・劣化が加速している。

高木(ポプラ)による強風の緩和と地表風による土粒子の飛散を防止し、家畜の食害を防ぐために低灌木・有刺植物のカラガナの組合せた防風林を造成し、カラガナを冬期の家畜の飼料として活用することにより、食害対策を兼ねた防風林を提案する。本事業は、環境保全と安定的な農畜産業の両立を促すことに貢献するものとする。

●事業成果

マツ・カラマツの植栽試験：活着率は20%程度。

カラガナの栽培試験：発芽率は30%程度、成長中。

サクサウル：6月植え付け、成長を確認中。

●事業をよく知る関係者の声

植樹の重要性は理解しているが、持続性を担保するには、活動の収入源をどのように確保するかが課題である。収入源を確保するために、「アグロフォレストリーの概念を取り入れる必要がある」との意見を受けて、現在、栽培地では現在サジー及びカラガナを栽培している。

●参加者の声

・植林など、現地の人々と協働作業の機会が得られて良かった。(日本からの参加者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付本数	下刈面積	日本	モンゴル	計
90本	0.7ha	11人	30人	41人
樹種：マツ、カラマツ、カラガナほか				
実施場所：モンゴル・中央省ゾーモット町セレゲレン				



下刈り後

マダガスカル、アンジアマングラナ監視森林とその周辺地域での植林



日本アイアイ・ファンド

東京都文京区本郷

●事業概要

目的は、マジュンガ州アンジアマングラナ監視森林地域の保全とアンジアマングラナ村の水源涵養である。主な活動は、①適正樹種を選抜し種子を収集する、②植林用苗床の整備と指導、③植林地の整備と植林活動の指導、④周辺住民へ植林の意義を啓蒙すること、である。

●事業成果

適正樹種として固有種とマンゴー、アカシアなどの種子を収集して苗畑の整備を指導し、植林地5haに大型苗を植林した。植林地に放牧させないための柵を設置した。

葉を使って植樹を守る「メトド・マンギラナ(ひかる方式)」による植林を行った。植林活動啓蒙の一環として生徒への植林指導と国道沿いに植樹を行った。

●事業をよく知る関係者の声

「森林回復事業は、アイアイなど多くの動物種の生息地を守るものとして高く評価するとともに、今後とも協力関係が続くことを望んでいる」。(感謝状より)

●参加者の声

・アカシア、カシューナッツなど生長の早い木の植樹に関心を持っている。(ファンブタナ学園校長)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	マダガスカル	日本	計
5ha	4800本	295人	6人	301人
樹種：ラミー、アカシア、シトロン、ラフィア、マンゴーほか				
実施場所：マダガスカル・マジュンガ州アンジアマングラナ村				



ラミー、アカシア、シトロンほかを植樹

パレスチナ自治区ナブルス県の耕作放棄地への植樹を通じた地域の緑化支援事業



(特非) パルシック

東京都千代田区神田淡路町

●事業概要

目的は、ゴミの違法投棄やイスラエルによる土地接収の対象となる耕作放棄地に植樹を行う事を通して、地域の緑化と違法な土地接収を防ぐことである。主な活動は以下のとおり。①植樹場所の粗大ゴミや雑草・低木の除去。②コミュニティ内外からのボランティアの動員。③地域の特産物であるオリーブ、地域の農産物多様化の観点からリンゴの木、また成長が速く、山間部などの過酷な土壤環境でも育つイナゴマメの植樹。④冷害・イノシシ除けの囲いと柵の設置、ハーブの植栽。⑤山間部植樹地への灌漑網の設置。⑥木の植え付けと生育状況についてのモニタリング。

●事業成果

今年度は協力農家がボランティアに指導し、植樹後も囲いの設置や灌漑設備の導入によって苗木のロス率を大幅に下げることができた。

●事業をよく知る関係者の声

地域内外のボランティアが互いに交流をしたり、北アシーラが抱える問題について知ってもらう良い機会となった。(北アシーラ町役場長)

●参加者の声

・環境保全や地域活性化における住民一人ひとりの責任の大切を学びました。(20代大学生)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	パレスチナ自治区
2.81ha	815本	97人
樹種：イナゴマメ、オリーブ、リンゴほか		
実施場所：パレスチナ自治区・ナブルス県北アシーラ町		



イナゴマメ、オリーブほかを植樹

モウス沙地における砂漠緑化・生態混交林造成事業



(一社) 地球緑化クラブ

東京都日野市日野

●事業概要

内モンゴル自治区オルドス高原に位置するモウス沙地周辺は、かつて豊かな草原地帯として知られていた。しかし、過放牧等により植生は衰退した。現在では砂漠化が進行している。当地においては自然条件、社会条件に則した生態系の回復と土壌管理が求められている。

本事業では在来低木類を中心に植栽し、緑化と生態林を回復させることを主目的とし、将来的に植栽した苗木から挿し木や種子を得ることにより、事業の自立化を図る。

●事業成果

これまでの経験を活かしつつ、新たな試みも行った。臭柏の導入である。臭柏は在来種で、乾燥や耐寒性に優れている。現時点での評価は難しいが、活着率は大変良く9割以上の苗木が根付いている。

●事業をよく知る関係者の声

ポプラによる緑化は草などが生えにくくなり、牧畜業を行っている近隣住民からの反発が強かった。今回は在来種で家畜も好む羊柴など低木種が中心であり、賛同者が大半を占めた。(現地パートナー代表者)

●参加者の声

・今回初めて緑化活動に参加し、まだまだ砂漠化した地域も利用価値があることがわかった。(40代住民)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	中国	計
6ha	2万8800本	42人	146人	188人
樹種：沙柳、旱柳、羊柴、臭柏				
実施場所：中国・内モンゴル自治区オルドス市				



在来種を植樹

カンボジア世界遺産プレアビヒア寺院周辺地区での植林活動 (第8年目)



(特非) アジアの誇り・プレアビヒア日本協会
東京都千代田区神田駿河台

●事業概要

目的は、新興地域における地域住民の共同意識の醸成をめざした連携事業の定着と、環境都市の育成にあり、以下の活動を実施。①熱帯における乾期の水資源確保が植林後の活着の決め手となり、その設備改善と整備を行う。②住民が一体となって共同して事業を実施する事による連帯意識の醸成を支援する。③植林後の維持管理の大切さを勉強会を通じて、専門家からの説明により伝達し、実践できるようになること。④現地と日本相互の交流を深める。

●事業成果

乾期の散水設備を整備し花木や果樹も含め、生育する樹木が増加し、地域内に並木道が形成されるなど、植樹の効果が上がった。また、散水設備は継続使用が可能であり、周辺の農産物育成にも効果があり大きな成果となった。

●事業をよく知る関係者の声

住民が植樹の効果を理解し積極的に参加する等、意識変化が感じられる。(政府機関の職員)

●参加者の声

- ・維持管理の大切さを研修で確認できた。自分も積極的にかかわって、樹木の生長を楽しみにしたい。(農家)
- ・自分が植樹した果樹からマンゴーやグアバなどが得られる事も楽しみ。(小中学生)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	カンボジア	計
9ha	2200本	5ha	10人	223人	233人
樹種：チーク、テベング、タケ、ココナツ、グアバ、マンゴーほか					
実施場所：カンボジア・プレアビヒア州エコビレッジ地区エコパーク					



チーク、テベング、タケ、ココナツほかを植樹

ラオスにおける荒廃地の薪炭林再生



(特非) ラオス国薪炭林造成協会
東京都練馬区西大泉

●事業概要

放棄されて荒廃したキャッサバ地の緑地再生を行う。

主な活動は、荒廃地を整備し、薪炭林の苗木を生産し、計画的に薪炭林の植林を行い、維持管理を行う。それにより、農民と地域住民の生活安定と森林資源の育成を図る。そのノウハウを農民に還元・支援することにより薪炭林の面積を拡大につなげる。成長した薪炭材は農民の収益とする。

●事業成果

昨年植林を行った地区の樹木は大多数が育っていた。これは草刈をし、牛糞、おが屑、炭粉を肥料として苗木に提供したためである。今後植林地区を拡大できる可能性を確認した。薪炭林の苗木センターを確立し十分な苗木育成の体制をつくる必要がある。

●事業をよく知る関係者の声

今回の事業も苗木生産、整備、植林と計画的に進められているのには感心した。こうした事業をもっとラオス国内の荒廃地に展開してほしい。(ラオス政府)

●参加者の声

- ・植えた苗木が大きくなるのを見たい。(地元小学生)
- ・荒廃地を森林に変えることを思うと、炎天下植樹した苦労は楽しみとなった。(70代日本からの参加者)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	日本	ラオス	計
20ha	4万本	15ha	4ha	10人	108人	118人
樹種：マイティウ、マイドワー、マイドワーライン、マイテェカー						
実施場所：ラオス・ボリカムサイ県南ボンサバン村						



小学生も参加して植樹

マレーシア・サラワク州における地域 住民参加型マングローブ林再生事業



(公社) 日本マレーシア協会

東京都千代田区平河町

●事業概要

目的は、クチン湿地国立公園のマングローブ林が劣化した地域において、地域住民参加型の育苗、植林、保育によるマングローブ林再生を行うことである。以下の活動を実施した。①マレーシアと日本の専門家が、地域の植生や劣化状況に合わせて実施している育苗・植林・保育の状況について、現場を確認し、指導を行ったほか、水生生物の調査も試行した。②近隣の村が活動に参加した。③地域村落に簡易苗床を造成し苗木を育苗し、地域住民が主体となり植林・保育を行った。大学生等が参加しボランティア植林を実施した。④サラワク大学で活動報告会を実施した。日本の専門家が、数値測定手法の実習を活動地で行った。

●事業成果

今年度は、引き続き地域住民参加による育苗・植林・保育を継続し育苗と植林を行った。大学生、地域住民、森林局員などが参加してボランティア植林を実施した。

●事業をよく知る関係者の声

地域住民との協働による植林や育苗活動は、サラワク州政府が推進する「森林景観復元」プログラムの目的に沿ったものであり、今後ともこの協働関係をサポートしていきたい。(サラワク州森林局副長官補)

●参加者の声

・マングローブへの愛着が芽生えてきた。(地域住民)

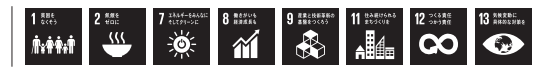
実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	マレーシア	計
2ha	4000本	3人	195人	198人
樹種：オオバヒルギ、フタバナヒルギ				
実施場所：マレーシア・サラワク州クチン市				



ヒルギを植樹

ガーナ植林・日本式炭焼普及プロジェクト



(特非) ガーナ農林工芸振興協会

東京都豊島区駒込

●事業概要

森林減少が進むガーナ中部で、植林により森林の再生を図り、砂漠化防止、農地の地力維持に貢献するため、ニーム(インドセンダン)等の植栽を継続した。日本式炭窯を用いてニーム間伐木の炭焼きを開始した。また、ニームの成長量の測定を継続した。今後、半乾燥地への移行帯にあるテチマン市で植栽するため、現地NGO、市長ほかとの話し合いと並行して、地元NGOによる苗木生産の委託を試行した。

●事業成果

平成30年度は、マンクランソでニームの植栽を継続。27年度植栽のニームは根本径20cm前後になり、間伐を行い、炭焼の資材として利用を始めた。新しく植栽予定の半乾燥地テチマン市では、地元NGOに苗木生産を依頼したが、経験不足から苗木生産に失敗。また、土地の確保については話し合いを継続している。平成31年度には、テチマン市での炭窯作設、ニームの植栽を行う計画である。

●事業をよく知る関係者の声

植林と炭焼きを事業にする5haの新しい村に期待します。(ガーナ林業試験場)

●参加者の声

・ココアにつくカイガラムシの駆除に困っている。ニーム木酢液に期待している。実験をしたいので、早く試料を作ってほしい。(ガーナ農業環境カレッジ)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	日本	ガーナ	計
0.3ha	1800本	1.4ha	1.3ha	1人	10人	11人
樹種：ニーム						
実施場所：ガーナ・マンクランソ村、テチマン市						



ニームの間伐材で炭を焼いた

カンボジア国モンドルキリ州の里山再生を目指した緑化推進事業



(特非) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

●事業概要

目的は、取奪的な森林開発により森林減少・劣化が進むカンボジア国最東部に位置するモンドルキリ州において、子ども達を含む地域住民と協働で荒廃地に植林し、人と自然が共生する里山の再生をめざすことである。主な活動は以下のとおり。①地域住民と協働で実施する在来樹種の植林、②地域住民の持続可能な森林管理に関する知識・技術向上を図る研修、③森林管理住民グループの形成支援・植林地管理指導、④小学生を対象としたワークショップ、⑤持続可能な森林管理に必要な知識・技術と里山再生の重要性を記したパンフレットの作成・配布。

●事業成果

今年度は、1年目に植林活動を実施した小学校や寺院などで植林した。多くの住民や小学生が積極的に参加し、研修やワークショップの中で、森林保全の重要性に関するパンフレットを配付するとともに持続可能な管理についての知識や関心を高められた。

●事業をよく知る関係者の声

今年は植林の時期に雨がが多く、天気が良くなかったのは残念だった。(小学校教員)

今後もっと植林を行っていきたい。(小学校校長)

●参加者の声

・コミュニティ広場にもっと多くの木を植えたい。(村長)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	カンボジア	計
5.4ha	7850本	0.7ha	115人	115人
樹種：メンガ、ケランジ、ビルマローズウッド、インドセンダンほか				
実施場所：カンボジア・ブ・タン村、ラオカ村、プトロムトメイ村				



小学生による植樹

ヒマラヤ山麓伐採荒地に「笑顔はじける環境を子供たちへ！未来の緑の森づくり」



(特非) ヒマラヤ保全協会

東京都日野市百草

●事業概要

目的は、ヒマラヤ山岳地帯の集落周辺で伐採後放置され荒地化した地帯の緑化再生と、その活動を住民が主体となり持続的に運営していられるよう理解を促していくことである。主な活動は以下のとおり。①住民との理解を深める話し合い。②苗畑管理委員会と苗畑管理人による育苗計画づくり。③苗畑の整備拡充と育苗。④山岳部の住民や学生を対象とした森林再生の理解促進のためのワークショップ。⑤住民全体参加による植林と今後の計画の話し合い。

●事業成果

昨年の電害の経験を生かし、今年度は不意に降る電に対策を打つことができた。また、近隣3村ではほぼ同時に植樹を展開していることで、競争意識が高まり、緑化再生への村人たちの自主的な意識が高まっており、各村育苗本数が伸びた。

●事業をよく知る関係者の声

現地の方に活動の意義を理解してもらい、彼らの理解を得て住民主体で森林再生を進めるのは容易ではないだろうが、十年経ち、二十年経ち荒地が緑化していくのを感じた時、この活動を思い出す人がいるだろう。(山岳愛好家)

●参加者の声

・楽しかった。リンゴも育ててみたい。(10代女性)

・こうして植えれば何年かすれば子どもや孫たちがいつか利用できるかもしれない。(50代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	ネパール	計
34.9ha	5万2573本	6人	1056人	1062人
樹種：パインスベチュラ、シルム、ティムール、ライカニュー、ニマロほか				
実施場所：ネパール・ダウラギリ地方ミャグディ郡、バルパッド郡				



パインスベチュラ、シルムほかを植樹

インド国オディッシャ州ゴバルプール地区の住民による「持続可能な生活林」づくり



ラムサールセンター

東京都目黒区目黒

●事業概要

インド東部オディッシャ州はサイクロン常襲地域で、とくに2013年と2014年は暴風と洪水で、防風・防砂の植栽が壊滅的打撃を受け、数十万人が家屋を失った。復興支援集合住宅（ODRP コロニー）が建設されたが、建物本体のみで周辺の緑化などの環境再生には手が付けられていなかった。そこで、住民による「持続可能な生活林」活動を推進した。

●事業成果

①ODRPコロニー近隣地でのコミュニティ植林

12コロニーにおいて、女性による自助グループ（SHG）を形成し、村落単位の会合を実施した。会合では、「持続可能な生活林」の概念と植林の目的、育苗、植林、植林後の世話の方法などについて専門家を派遣し研修を行った。

②バックヤード（裏庭）緑化

各家庭が植林を行えるようワークショップを開催。

●事業をよく知る関係者の声

自家消費食材を確保できる点、将来的には日陰や防風林としての効果が期待できる点、住民自ら（女性）が育てることにより社会的な自信を得ることができる点などがメリットとしてあげられる。（九州大学環境社会部門研究室）

●参加者の声

・無農薬の果物が食べられ嬉しい。（SHG メンバー）

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	インド	計
35ha	3万5140本	4人	310人	314人
樹種：バナナ、パパイヤ、チーク、アカシアほか				
実施場所：インド・オディッシャ州ゴバルプール地域				



女性自助グループで苗畑管理

ミャンマー八角平和計画 チン州編



（一社）八角平和計画研究所

神奈川県鎌倉市由比ガ浜

●事業概要

乱伐と伝統的な焼き畑農業で自然環境破壊が進むチン州において、産業の雇用創出により紛争の原因となる貧困を解消、現金収入のための木材伐採という負の連鎖を断ち切り、自然環境回復に貢献することを目的とする。そのために、香辛料ほかの原料として市場価値があり、山岳地域で栽培可能な「八角」の樹を中心としたアグロフォレストリーを普及することにした。主な内容は、八角の樹の育苗と植林である。育苗場を2ヵ所新設し4万本の苗を育て、農民が視察可能なサンプルガーデンとして約2haに植林した。

●事業成果

新設した2箇所の育苗場では、各2万粒の八角の種から苗を育成し、6月にミンダッ市内の2haで1000本を植林し、一般に公開した。残りの苗は周辺地域の農家に配分し、各世帯の農地で植林を行った。いずれの事業地でも、以後の管理は農民自身で行うが、育苗場の管理者と当団体现地スタッフは3ヶ月に1度、各農地を訪問しサポートを行う。

●事業をよく知る関係者の声

住民のモチベーションが高い一方、家族または協力者単位で広がるこの地域をどのように「森」化していくかが課題である。（森林ビジネス専門家）

●参加者の声

・地域産業として積極的に取り組みたい。（植林協力者）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	ミャンマー	計
60ha	2万本	60ha	224人	224人
樹種：八角（ダイウイキョウ）ほか				
実施場所：ミャンマー・チン州ミンダッ				



育苗場

豊寧県緑化環境保全事業



(特非) 地球緑化センター

東京都中央区八重洲

●事業概要

中国内陸部での砂漠化の影響に伴い、近年では黄砂の被害や頻度が急速に広がりつつある。黄砂やPM2.5等は、日本にも影響を及ぼす状況でもある。こうした被害を少しでも軽減させるために、河北省豊寧県にて植林活動を実施した。

●事業成果

日本からのボランティアと共に、日系企業の北京在住社員も植林活動に参加。現地の林業局や地域住民と一緒に植林を行った。植林活動の間には地域住民と昼食を一緒にとり、また地元小学校にも訪問し交流を行うことができた。

●事業をよく知る関係者の声

活動自体は順調に進めることができた。ただ、苗を植えた後の水やり用に給水車を用意していたが、近くに水場がなかったので少し離れた集落まで水の補給に行くことになった。次回以降は、これらの点を改善して実施できるようにしたい。(地球緑化センター中国事務所長)

●参加者の声

- ・私たちが植えた木はそのほんの一部でしかないのですが、私たちの想いは永遠に続くと感じています。(40代女性)
- ・広大な荒地を緑にしようという中国の意志に圧倒されました。(30代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	中国	計
0.5ha	1230本	5人	20人	25人
樹種：アブラマツ				
実施場所：中国・河北省豊寧県				



アブラマツを植樹

東アマゾン氾濫原でのアグロフォレストリー普及



(特非) 地球と未来の環境基金

東京都千代田区神田須田町

●事業概要

目的は、アマゾン川氾濫原湿地林で、アグロフォレストリーの導入、普及を推進、その定着を図ることである。主な活動は以下のとおり。①アグロフォレストリーを導入した集落で、指導者が定期的に巡回し、苗木の生育、施肥などの指導を行う。②集落でアグロフォレストリーを普及させるため、自立的な運営による高床式苗畑を設置。③苗木づくりや養魚、薬草利用等の講習会の開催。④子どもたちへの環境教育。

●事業成果

アグロフォレストリーは植付け後の手入れや管理が重要で、農業や林業の知識、スキルのない住民はそこでつまづくケースが多い。対象集落を専門家が定期的に巡回、指導を行うことで苗木の順調な生育が確保できている。

●事業をよく知る関係者の声

薬草利用や民芸品づくりの講習会は、女性たちには喜ばれている。家で時間を有効に活用できる。(地域リーダー)

混植方式での収益を上げていくためには、育て方なども指導してもらいたい。(地域リーダー)

●参加者の声

- ・川辺住民の生活、文化について、今まで忘れていた価値を掘り起こしてくれた。(農業生産者)
- ・苗をつくり、植えていく気持ちが高まった。(農業生産者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	ブラジル	計
0.92ha	250本	0.92ha	34人	34人
樹種：アサイ、カカオ、クブアスなど				
実施場所：ブラジル・パラ州				



トメアスでの研修会

ネパール・バネパ市に緑を育て、 守る住民参加型都市緑化推進事業 (継続3年目)



(特非) ラブグリーンジャパン

神奈川県鎌倉市小袋谷

●事業概要

バネパ市の緑復活をめざして3年目を迎えた。3年目は緑の確保に持続可能な体制づくりを考えて、苗床の建設、住民への広報ビデオ制作を実施した。バネパ市民の関心も高まってきて、植林地の選択に市の協力も得られることが多くなった。障がいを持った人たちの参加、若者への環境教育の機会も継続して実施できている。

●事業成果

活動への個人的な寄付も増えてきて、自分たちの住む町への環境保全の意識が育ってきている。苗木は果樹を主に選択、住民の興味を引き出す狙いを考慮しての対応である。

●事業をよく知る関係者の声

緑化活動が3年間続くことで、市民への意識改革にも寄与したことは大きい。(福島大学農学部教授)

今後の課題は行政を巻き込んだ環境保全活動が具体化していくことである。バネパの緑化への市民活動が一つの都市化を進めるモデルケースとなることが望まれる。

●参加者の声

・ゴミだらけで雑草が手つかずだった過去と比べ、今この地域は緑で美しくなっている。野鳥やハチなどの生物も見かけるようになった。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	ネパール	計
植付本数	251人	251人
325本	251人	251人
実施場所：ネパール・バネパ市		



市民と一緒に植樹

大規模森林火災で焼失した森を再生 するための市民緑化活動事業



F.C. Manis マニスファンクラブ

神奈川県三浦郡葉山町

●事業概要

当該地域の重要性や希少性を地域の住民や子どもたちと共有するために、自然保護地域周辺市民が環境教育とローカルツアーにより保護区の環境を学び当地の保全と維持に取り組むことである。主な活動は①街の学校と村の学校で合同授業を行い、環境保全に関して意見交換を行い植樹とオランウータンの見学。②学生を対象とした環境ポスターコンクール。③市街地の学生と家族を対象にローカルツアーを行い植樹した。④国立公園内の荒廃した土地に植樹。

●事業成果

街と村の学校の合同授業を行い「環境」に関して意見交換会を行った。市民を対象とした村の植樹ツアーが初めて開催された。

●事業をよく知る関係者の声

地域学習で校外授業を行うことは重要だ。当地域もこのような環境教育を取り入れたい。学校関係者・生徒が直接自然体験ができることはすばらしい、ただ学校教育に取り入れるにあたって必要な経費について検討する必要がある。(教育関係者)

●参加者の声

- ・植樹ツアーの参加者全員が船に乗って保護地域へ行き、オランウータンに会ったのは初体験だった。皆、良い体験をしたという感想だった。(参加者全員)
- ・もっと気軽に自然保護区へ休日に行かれるようになると良いと思った。(参加者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付本数	下刈面積	インドネシア	計
2419本	2.3ha	130人	130人
樹種：ウータンマンギス、ニヤトー、メンタワほか			
実施場所：インドネシア・コタワリンギン県クマイ町			



合同授業で環境の大切さを学ぶ

モンゴル国ゴビツンベル県の森林公園造成支援



(特非) モンゴル環境情報センター

福井県坂井市三国町

●事業概要

事業活動の眼目は「モンゴルの環境保全はモンゴル人自らの手によって森を蘇らせる」ことにある。過去15年間にわたって、モンゴル各地に中学生を中心とした植林実践活動隊を組織、各中学校に温室を設営し[挿種—育苗—植樹]の植林システムを確立した。ゴビツンベル県が造成している森林公園30haも、当地の青年植林協力隊によって造成され、かつ森林公園内にて植林技術講習会も開催されている。

●事業成果

①森林公園内で温室管理講習会開催。②チョイル森林公園3haに成木500本、苗場造成所に苗木9000本植樹した。同時に数百年土壌中に被覆している草木の種を蘇らせる実験の継続。③森林公園内にて植林技術講習会開催。

●事業をよく知る関係者の声

海外での日本の事業展開は地元国との深いつながりの中から成功に導かれる。その点20年のキャリアを持つ当法人は、当国の人的資源を熟知しており、その仲間を上手く使いながらこの事業を進めている。大きな成果を生み出さるろう。(金沢大学大学院特任教授)

●参加者の声

- ・楽しかった。育つかどうか心配。(中学生ほか)
- ・植樹の知識が増えたこと、いままで解らなかったことが理解できたことは良かった。(50代男性ほか)

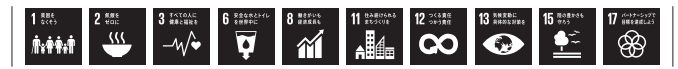
実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	モンゴル	計
15ha	9500本	240人	240人
樹種：マツ、ウイリス、シャルハイツ、クレムツほか			
実施場所：モンゴル・ゴビツンベル県			



マツほかを植樹

ハイチ西県ロッシュ地区におけるモリンガ植林活動



ハイチ友の会

甲府市和戸町

●事業概要

森林荒廃が進むフォンパルジエン村において、ハイチに自生しかつ栄養価と市場価値の高いモリンガや薪燃料となるアカシアを住民参加型アプローチで促進しながら、森林環境を改善することである。主な活動は以下のとおり。①植林用の水確保および衛生環境向上のため貯水槽建設、パイプ敷設、パイプ配管技術研修。②水委員会および住民への給水施設の維持管理に関する研修。③植林技術研修。④教師を対象とした植林やモリンガに関する研修。⑤整地作業や土壌保全。⑥苗木準備。⑦地域住民による植林。

●事業成果

コミュニティ住民の協力もあり、11月には貯水槽が満タンになるほどの量を通水することに成功した。この水は苗木づくりや植林木の手入れなどのほか、住民の生活用水や学校用水としても役立っている。

近隣コミュニティにも活動の良さが伝わり、土壌保全と植林活動を始めたいという声広がった。

●事業をよく知る関係者の声

コミュニティに水が来ただけでなく、植林の大切さや土壌保全の工法を学ぶことができ感謝している。(村長)

●参加者の声

- ・土壌保全対策を行うことで、樹木や作物が育つようになった。山間地全域に広めたい。(50代農民)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付面積	植付本数	土壌保全面積	ハイチ
10.7ha	2万2500本	9.0ha	551人
樹種：モリンガ			
実施場所：ハイチ・西県ガンチエコミュン			



モリンガを植樹

家庭菜園を利用した持続可能な苗木生産の創出



(特非) 中央アジア森林草地保全研究所

静岡市駿河区大谷

●事業概要

気候変動のもとで厳しい生活を強いられている地域住民が、より安定してその生活を継続するために大切な生態系の管理手法を地域ごとに研究し、必要に応じて植林活動等を実践する。継続的に植林活動を推進するには「自前で苗木を供給できる仕組みを整えること」が大切である。具体的には、地域住民の家庭菜園を利用して一部を苗畑として転用し、苗木を生産すれば苗木購入費ばかりでなく苗木の輸送費も軽減できる。また、果樹園用の苗木に余裕ができた場合には、地域の小学校等教育機関に無料で配布され、学校林として環境教育に役立てられる。市場等で販売された収益は、苗木生産協力者の利益として還元される。

●事業成果

地域住民の家庭菜園を利用して2ha余の苗畑を作った。苗木は目標数を2年間で達成したが、現場に植栽するにはまだ少ない。一部の苗は、地域の小学校等に寄付され、学校林で環境教育に利用された。リンゴ、アプリコット、チェリーなどの収穫があった。

●事業をよく知る関係者の声

植林は果実の収穫ができ大成功といえる。(地区住民)

●参加者の声

・自主的に果樹園を管理する意識が醸成されている。(教員)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	タジキスタン	計
20ha	1060本	90人	90人
樹種：アプリコット、マツ、リンゴ、チェリー、ポプラ、ビャクシン、ヤナギほか			
実施場所：タジキスタン・ログ、クマルク、ロミ地区			



接ぎ木の研修

ベトナムにおけるマングローブ林再生事業



南遊の会

名古屋市中区栄

●事業概要

目的は、一度破壊されたマングローブ林を本来の多様性に富んだ森に回復させることにある。主な活動内容は以下のとおり。①不成績造林地での再植林した土地でのニッパヤシの下刈り作業。②放棄塩田での植林作業。③両植林地における成長モニタリング調査。

●事業成果

再造林地では昨年に引き続き約2haのニッパヤシの下刈り作業を行った。放棄塩田では、昨年までに試験植林した苗のうち、枯死あるいは梢端枯れの見られるものを、活着率の高い樹種に植え替えた。

●事業をよく知る関係者の声

・地盤高や冠水頻度等の立地環境を把握した上で、その場に適した樹種を選定し、植林を成功に結びつけた実績は高く評価できる。(マングローブ研究者)

●参加者の声

・炎天下での放棄塩田での植林作業は大変だったが、ベトナム人学生も含めた班のメンバーと協力して行うことで、楽しく作業を行うことができた。(20代女性)

・モニタリング調査で測定した大きく成長した木々が、かつての学生たちによって植えられたものであることを思うと、その時間の経過に日越の学生の交流と会の活躍を感じ、感慨深かった。(20代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	ベトナム	計
4ha	3500本	2ha	164人	92人	256人
樹種：ヒルギダマシ					
実施場所：ベトナム・ホーチミン市カンザー地区					



放棄塩田での植樹

上・下流部住民の交流による流域の森林再生（第2年次）



(特非) イカオ・アコ

名古屋市中区新栄町

●事業概要

フィリピン西ネグロス州シライ市を流れるマリスボッグ川の流域において、流域の自然の回復と住民の環境意識の向上のために植林活動を行った。主な活動は、上流部及び沿岸部において植林活動と植林祭であった。植林には、日本と現地のボランティア、現地小学生、高校生などが参加し植林した。沿岸部の植林祭を行政と協力し開催した。マングローブ植林祭りでは、上流・下流の地域住民を巻き込むことで、地域全体の啓発事業となった。

●事業成果

今年度は、下流部で開催したマングローブ祭りにさらに多くの参加者があった。上流部3000本、下流部5600本を植林することができた。

●事業をよく知る関係者の声

日本人ボランティアが肩ひじ張って行うのではなく、現地住民が主体的に取り組むように仕掛けているところが持続可能な植林活動につながっている。(大学教授)

●参加者の声

・初めて植林に参加しました。斜面がきつくて、滑りそうになりましたが、現地の方が支えてくれました。現地の子どもたちが飛ぶように斜面を駆け下りていくのは驚きました。(大学生)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	フィリピン	計
7ha	8600本	205人	350人	555人
樹種：マヤブシギ・ヒルギダマシ、アボガドほか				
実施場所：フィリピン・西ネグロス州シライ市				



下流ではマヤブシギ・ヒルギダマシなどを植樹

パキスタン北東部における緑の再生・保全事業と環境保護第一世代の育成



マグティン・カラコラム会

大津市晴嵐

●事業概要

緑の減少・表土の喪失を食い止めるため、協働で灌漑用水路の補・改修と、生長が早く、有用なポプラを主の緑化を進める。耕作地・草地・植林エリアから天然林に至る緑の再生と保全を行う。また、児童生徒との活動を通じ、環境保護第一世代の育成をめざすことである。事業内容は以下のとおり。①村民・子どもと緑化エリアへの植栽や挿木。②崩壊している取水口と灌漑水路の補改修工事。③食害・盗伐防止のためのフェンスの設置整備。④スカルドゥ市内の学校への苗木寄贈と協働植栽。

●事業成果

取水口と灌漑水路の整備により、緑化エリアへの安定した水の供給が達成できた。緑化エリアを囲むフェンスは、上下とも補強を施して設置整備され、食害や盗伐防止を可能にした。村民達による保守管理が始まった。村や児童生徒との協働植栽は、環境保護の考えとスキルを学んでもらう良いきっかけとなった。

●事業をよく知る関係者の声

村で樹木の伐採等に関するルールを決め実施していることは評価できる。この地域の環境保護第一世代の育成には、事業の継続と地域住民の理解が重要である。(元教員)

●参加者の声

・植えた後の管理を生徒がやらなければならないと思う。(高校男子)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	パキスタン	計
3ha	3100本	161人	161人
樹種：ポプラ、アンスなど			
実施場所：パキスタン・ギルギットバルティスターン州スカルドゥ県			



ポプラ3年苗の植樹

モンゴル山火事跡再生困難地の森林再生促進



モンゴル森林再生促進研究会

滋賀県草津市下物町

●事業概要

モンゴル北部には再生が困難なシベリアカラマツの火事跡が広がっている。この森林の再生をスタートさせるため、ここで発見した自然の更新様式を応用して、倒木陰に植林・種まきをし、自然の力で再生をする元となる母樹を育てること。今回は人手の入っていない山火事焼失木が林立している焼け跡で焼失木を倒して、新たな陰をつくり、植林し、その中間点に種まきを行った。

●事業成果

オープンな場所では、倒木を倒したり東西に方向調整することは、全体の作業量の24%（8人日）ほどだったが、今回のような焼失木の林立した場所では1.5倍ほどの作業量だった。このことより、薪とりの許可の出た、人手の入った場所からこの方式の再生促進をする方が効率が良いこと、ただ他に再生方法がなければ手間をかけてでも活着率の高いこの方法を進めていくことが必要であると感じた。

●事業をよく知る関係者の声

「倒木遮蔽更新」は半乾燥地帯の亜寒帯の森林再生のカギとなる。現在、実施段階に入っており、活着率の目覚ましい向上も見られる。(モンゴル森林再生促進研究会幹事)

●参加者の声

・モンゴルでは植樹をすると寿命が延びるといふ言い伝えがあり、今回このような新しい方法で植えられ、とても感謝している。(モンゴル人医師)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	除伐面積	日本	モンゴル	計
5.1ha	474本	0.4ha	2人	2人	4人
樹種：シベリアカラマツ					
実施場所：モンゴル・フスグル県					



森林火災跡にシベリアカラマツを植樹

フィリピンのコーヒー育苗による森林保全



マナラボ環境と平和の学びデザイン

京都市左京区吉田本町

●事業概要

アラビカ・コーヒー栽培が急激に広がりつつあるフィリピン・ルソン島北部山岳地方において、良質で地理・気候に合ったコーヒーの苗木生産を行うことと、環境に配慮した持続可能な栽培の指導を行うことを目的とした。

事業では、現地の協力団体が地域の気候条件に適していると観察してきた品種の試験的育苗を行って生育を観察したのち、苗木生産に意欲的な3つのコミュニティに苗場を造成して育苗を開始した。16種のコーヒーの種子の試験的な育苗も開始。持続可能なコーヒー栽培については、専門家を招聘し講習会を行った。また、コーヒーの古木の更新剪定と植樹を実施した。

●事業成果

試験的に育苗した品種の順調な生育が確認された。専門家の講習内容は、参加者に大きなインパクトを与えた。

●事業をよく知る関係者の声

品種について、適した生育条件を確認することができ、大変大きな成果であった。(現地協力団体)

●参加者の声

・学んだのは、いいコーヒーづくりは苗木から始まるということだ。苗木づくりに励みたい。(女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付本数	苗木育成	フィリピン	計
1000本	3500本	39人	39人
樹種：コーヒー			
実施場所：フィリピン・ベンゲット州、マウンテン州			



学生ボランティアによるポットの土入れ作業

半乾燥地の女性グループが行う次世代に繋がる緑の環境づくり



(特非) 道普請人

京都市下京区東塩小路向畑町

●事業概要

目的は、乾燥に強く高品質な木材が生産できる樹種の育成、炭焼きや農地開拓のために激減した場所での植樹を通じた地域の緑化である。主な内容は以下のとおり。①苗床の設置：種子、作業ツール、水タンクなどを供給し、2女性グループの既存苗畑の拡大。②女性グループが自信をもって苗木の育成に取り組めるよう、技術トレーニングや巡回指導。③森林再生と生計向上のための植樹。

●事業成果

女性グループは意欲的で、当初の目標以上の生産体制を多に上回る苗木の生産体制が整った。また、2回の植樹により目標を上回る本数を植樹できた。

より多くの良質な苗木の生産体制が整い、苗木の買い手がつくようになった。収入は、用具の購入や子どもの教育費、医療費等に利用される。女性グループは、本事業にて身に付けた技術を用いて継続的に育苗・植樹数を増やしていくと積極的で、今後の自発的な発展が大いに期待できる。

●事業をよく知る関係者の声

森林再生の一助となり材木利用もできるため、本事業の実施は意義深い。(KEFRI 研究員)

●参加者の声

・苗木を売ることもできた。さらに発展させ、教育費、医療費に使おうと思う。(女性グループリーダー)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植樹面積	植樹本数	育苗	ケニア	計
10.95ha	7130本	1万2157本	449人	449人
樹種：メリア・ボルケンシ、グラベリア、アカシア、マンゴほか				
実施場所：ケニア・キツイ郡				



メリア・ボルケンシの植樹

ネパール シンドウパルチョーク郡 地震被災地の学校の緑化と地域の憩いの場及び避難場所として活用するための緑の公園づくり



(公社) アジア協会アジア友の会

大阪市西区江戸堀

●事業概要

目的は、2015年の地震で大きな被害を受け復興に向かっている農村地区の倒壊した学校の再建と同時に緑化を行うこと。そして、地域づくりに関心を持った住民の希望である①公園の設置、②避難場所の設置、③村内の緑化などによって、地域が緑により環境を整えることである。主な活動は、公園づくりのための整地及び植林。その第1期として、育苗地の歩道づくり及び育苗づくりと、公園外周への植林。3校に植林活動と環境教育を実施すること。

●事業成果

地震の被災地に公共の公園の設置を提供できた。そして、村人たちの手によって植林を行ったことで村人たちに公園づくりの当事者意識、木を育てる意識をもってもらうことができた。環境教育は、緑に対する意識が高まり、自分たちで木を守り育てる意識が芽生えた。

●事業をよく知る関係者の声

植樹した木をいか育成できるか住民皆で協力体制を作り実行していきたい。早く水設備を設置できるように留意していきたい。(地区長)

これからも緑多い学校づくりをめざしたい。(校長)

●参加者の声

・村や仲間のためにしっかり育てていきたい。(30代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	ネパール	計
2ha	800本	19人	606人	625人
樹種：モミ、カプールほか				
実施場所：ネパール・シンドウパルチョーク郡インドラワティ村				



公園予定地に植樹

マダガスカルでの土砂流失防止の植林事業



(特非) アイユーゴー

大阪府泉南郡熊取町

●事業概要

マダガスカル北部のアンボヒダバ村一帯で土砂災害防止のために土地整備をして、アカシア、オレンジ、カエデ、ユーカリ、マンゴなどを植樹した。植樹した場所は、4つのエリアである。また、ハリケーンなどの暴風雨から苗木を保護するために苗木保護施設をつくった。周辺一帯には樹木がほとんどないとこに森林資源を再生しつつ土砂災害を防止する環境修復活動を行った。のべ1500人以上の住民が参加し、専門家の指導を受けて植樹した。

●事業成果

植樹をするとき、住民を前にアンボヒダバ村一帯を管轄する市長が「この国を緑の国にしよう」と訴えた。さらに、「その前にこの村一帯を緑にしよう」と話した。この日の植樹活動を終えて、市長室に行くと、市長は植林の専門家を市が雇用し、植林現場の管理等をさせると話した。植樹するだけでなく、管理する人材が確保できることは、植樹活動を継続してきた成果と評価することができる。

●事業をよく知る関係者の声

継続して村の人たちが、子どもたちを中心にして植樹活動に参加することは、将来的にかならず森林再生への道に続くことになる。(農業と土木従事者)

●参加者の声

・植えた木はみんなで守る。この村を緑にしたい。(10代)

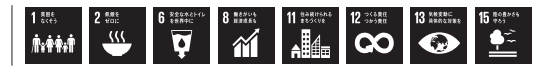
実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	マダガスカル	計
10ha	6500本	1人	1470人	1471人
樹種：ユーカリ、カエデ、オレンジ、アカシア、マンゴ				
実施場所：マダガスカル・アンボヒダバ村ほか				



ユーカリ、オレンジ、アカシアほかを植樹

ブラジル国パラ州トメアス郡におけるアグロフォレストリーを活用した水源涵養植林事業



(特非) 野生生物を調査研究する会

神戸市北区東有野台

●事業概要

目的は、アグロフォレストリーによる小農家の生計を向上させながら植林地域を拡大させること及び小農家生産者協会の地域の水源涵養林の整備であり、トメアス総合農業協同組合と共に、2005年度から小農家の組織化を図り、苗畑整備と苗づくり等の指導を行ってきた。一方、土壌流出及び河川への土砂流入による河川流量の減少等が、引き続き、課題となっていることから、平成30年度は2カ所の生産者協会を対象に、毎月の現地での技術指導を行いながら、アグロフォレストリーによる水源涵養植林を実施した。

●事業成果

ほぼ毎月の現地での技術指導によって、適切な施肥や石灰の使用方法、植付方法、植栽後の管理などについて学んだ。

●事業をよく知る関係者の声

小農家の生産意欲の向上に寄与しつつ、樹木作物、高木樹種が植栽されることから環境保全効果も期待できるもので有意義である。(農業組合技師)

●参加者の声

・肥料や石灰があることで、より効果が早く現れるので、非常にありがたい。(農家)

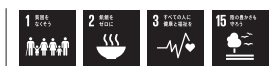
実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	ブラジル	計
12ha	1万2000本	352人	352人
樹種：カカオ、アサイー、クブアス、マホガニーほか			
実施場所：ブラジル・パラ州トメアス市			



カカオ、アサイー、クブアスほかを植樹

ネパールにおけるアグロフォレストリー推進事業



(特非) AMDA 社会開発機構

岡山市北区蕃山町

●事業概要

目的は、社会経済的に脆弱な少数民族が居住するネパールのロシ地区で、人々が直面している土壌流出・劣化や水源枯渇等の問題に対する解決策の一つとして「アグロフォレストリー」を提唱し、環境保全と農業所得向上・多様化の両立を推進することである。主な活動は以下のとおり。①苗木の供与と植栽。②環境教育。③農業用水確保が特に困難な世帯を対象とした簡易貯水池の設置。

●事業成果

- ①苗木の供与については、果実を販売すれば所得向上につながるレモンなどへの関心が高く、植栽に参加した住民は皆、高い意欲をもって取り組んだ。今後、栽培農地面積の拡大や他農家への普及が期待できる。
- ②環境教育については、植栽を行ったことで、環境保全に対する意識を高めることができた。本事業対象外の学校からも活動実施の要望が寄せられている。
- ③簡易貯水池を設置した38世帯では、事業開始前から栽培していた野菜・豆類の生産増が確認された。

●事業をよく知る関係者の声

環境保全による正の変化の可能性に気づくことができた。木を大切に育てていきたい。(中学校運営管理委員)

●参加者の声

・子ども達のために、大人がすべきことがある。(地区住民)

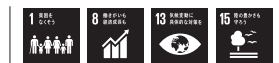
実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	ネパール	計
11.73ha	8647本	334人	334人
樹種：ジャクシン、モリンガ、レモン、コーヒー、アボカド、マカデミアナッツほか			
実施場所：ネパール・カブレパランチョウク郡			



ジャクシン、レモンほかを植樹

第2 徳島烏雲の森植林事業



烏雲の森沙漠植林ボランティア協会

徳島市佐古五番町

●事業概要

中国・内モンゴル自治区で過剰な開墾や無計画な放牧等により大草原が急激に沙漠化した。

草原が沙漠化した事により、現地の住民(農牧民)は貧困に苦しんでいる。我々協会は長年にわたり中国・内モンゴル自治区の沙漠内の民生回復をめざして植林作業をしてきた。植林予定地に、過剰な放牧の被害を防止する目的で金網を張りヤギ・ヒツジ・ウシの侵入を防いでいる。近年、地域農牧民の生活が徐々にではあるが向上している。

●事業成果

現地の農牧民の意識変革が感じられた。過去に植林したポプラも順調に成長しているのも確認した。これからも植林事業に積極的に参加するよう働きかけていく。

●事業をよく知る関係者の声

沙漠化が止まり植林したポプラの周辺には草が繁り始め、生活も少しずつではあるが楽になってきている。日本の植林隊の皆さんのお陰です、引き続き協力してすすめていきたい。(地元の農牧民)

●参加者の声

・知人に進められ初めて植林ボランティアに参加した。中国には観光で数回訪れているが、このような沙漠地を初めて見た。植えたポプラが早く成長するのが楽しみです。(初参加者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	中国	計
52.96ha	4万2000本	10人	30人	40人
樹種：ポプラ				
実施場所：中国・内モンゴル自治区阿古拉鎮				



ポプラを植樹

モザンビーク共和国カーボデルガド州モリンガプロジェクト



(一社) モザンビークのいのちをつなぐ会

福岡県北九州市小倉南区朽網西

●事業概要

目的は、貧困率の高いペンバ市のスラム地区において、作物生産性の低さと高い栄養失調率の改善を含め、貧困地区の緑化を行うことである。主な活動は以下のとおり。①モリンガとレモンをナティティ地区の各家庭の庭に移植する。②植物の移植講習を現地協同組合の農業専門員により実施する。当会のスラムの学び舎・寺子屋の子どもたちの環境教育活動の一環として移植を実施。

●事業成果

農地がなく農業に触れることのないペンバ市において、作物を育てることに対する子どもたちの関心が非常に高まった。現地で自生販売されているグアバやマルラ等の果物の種を自ら播種し育成する子どもたちが増えた。

●事業をよく知る関係者の声

作物生産性が低く、物価が高く、栄養失調の子どもも多いので、食べられる樹木の緑化を教えることは私たちにとってとても役立つ暮らしの学びとなる。(30代男性)

家で作物を育てることができれば、毎日の食材買い出しのお金を節約できる。(50代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	モザンビーク	計
0.06ha	600本	281人	281人
樹種：モリンガ、レモン			
実施場所：モザンビーク・カーボデルガド州メトゥジ、ペンバ・ナティティ地区			



モリンガ、レモンを植樹

ミャンマーにおける焼畑防止へつなげるアグロフォレストリー普及事業



(特非) 地球市民の会

佐賀市高木町

●事業概要

チン州・ライレンピー町において環境保全、収入向上の実現をめざし、コーヒー栽培を軸としたアグロフォレストリー農法を普及することである。主な活動は以下のとおり。

①地域のリーダーへのアグロフォレストリー研修の実施、②コーヒー植え付け、苗作り（農業研修センターとモデル村）、③苗床建設、給水施設整備（同上）、④専門家派遣によるコーヒー栽培指導。

●事業成果

コーヒーの正しい栽培方法がわからず、放置状況であったが、研修や指導により管理や育苗方法を習得することができた。また、住民が移動式焼畑農業継続の困難さは理解していたため、アグロフォレストリーへの理解は早かった。

●事業をよく知る関係者の声

コーヒーの研修は地元ニーズに合っている。(ミャンマー政府スタッフ)

地域の問題解決の第一歩になる。住民と共にアグロフォレストリーを進めていきたい。(マラ民族教会事務局長)

●参加者の声

・コーヒーの木をしっかりと管理して、収入を得られるようにしたい。(50代男性)

・焼畑は体力的にも大変だし収量も少ない。これからはコーヒーとマカダミアを植えたい。(30代女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	ミャンマー	計
6.25ha	5000本	6.25ha	120人	120人
樹種：コーヒー、マカダミア、アカシア、マツ、ジャックフルーツ、アボガド				
実施場所：ミャンマー・チン州マトゥビー県				



コーヒー、マカダミア、アカシアほかを植樹

平成30年度 中央事業実施状況一覧

【森林の整備】

交付決定番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	SDGsの目標との関連																	掲載頁
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
30SC-01	緑のボランティアの森記念造成事業「フォレスト21さがみの森」	神奈川	フォレスト21さがみの森連絡協議会	東京	1,500			●	●							●		●	●	●		●	12
30SC-02	緑のボランティアの森記念造成事業「いずみの森21」	大阪	いずみの森ボランティアの会	大阪	300							●				●							12
30SC-03	「キリン千歳水源の森」整備の森づくり	北海道	北海道林業技士会	北海道	538			●	●		●		●			●		●	●	●			13
30SC-04	地球温暖化防止のための北海道の森づくり	北海道	北海道林業技士会	北海道	565			●	●		●					●		●	●	●			13
30SC-05	原村あゆみの森整備事業（平成30年度）	長野	原村あゆみの森実行委員会	長野	936				●		●	●						●		●		●	14
30SC-06	玖珠町ふれあいの森づくり事業	大分	玖珠郡森林組合	大分	2,500			●	●		●	●				●	●	●	●	●		●	14
30SC-07	湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業	神奈川	(公財)かながわトラストみどり財団	神奈川	1,400															●			15
30SC-08	南足柄で進める企業の森づくり体験活動事業	神奈川	(公財)かながわトラストみどり財団	神奈川	2,500															●			15
30SC-09	栗原市行者の滝周辺癒やしの森林植樹計画	宮城	(特非)森林との共生を考える会	宮城	1,000															●		●	16
30SC-10	富士山緑の募金の森造成事業	静岡	富士山緑の募金の森造成事業実行委員会	静岡	3,000			●	●		●					●		●	●	●		●	16
30SC-11	木下沢渓谷冒険の森保全活動、親子での環境教育	東京	木下沢渓谷冒険の森の会	東京	1,400			●	●							●		●	●	●		●	17
30SC-12	ふるさとの森と里山の再生を通じた緑化木生産地の復活プロジェクト	新潟	保内緑の里管理組合	新潟	1,000																	●	17
30SC-13	岡山水源の森整備事業	岡山	グリーンOB会	岡山	200	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18
30SC-14	岡山県日本リスの森整備事業	岡山	グリーンOB会	岡山	100	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18
30SC-15	「大阪府ENEOS友好の森」森林整備事業	大阪	大阪府森林組合南河内支店	大阪	1,150			●	●			●	●				●	●	●	●			19
30SC-16	みんなのSDGsのMORIと社会づくり事業	宮城	(特非)宮城県森林インストラクター協会	宮城	900			●	●							●				●			19
30SC-17	「赤西渓谷・水源の森」保全事業	兵庫	(特非)ひょうご森の倶楽部	兵庫	1,100			●			●							●	●	●		●	20
30SC-18	水源地保全活動	茨城	美和木材協同組合	茨城	200																		20
30SC-19	明治150周年記念植樹祭	千葉	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	1,145	●	●		●		●		●	●			●	●	●	●		●	21
30SC-20	企業との協働による「高梁美しい森」森林整備事業	岡山	(特非)フォレストフォービープル岡山	岡山	1,200							●						●	●				21
30SC-21	和木町協働の森づくり事業	山口	和木町里山研究会	山口	180			●	●							●	●	●		●		●	22
30SC-22	さいたまの森林づくり支援事業	埼玉	(特非)埼玉森林サポータークラブ	埼玉	1,000																		22
30SC-23	多摩動物公園 雑木林 いきもの豊かな里山の森づくり	東京	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	168				●							●		●		●		●	23
30SC-24	木曽川・やおつ水源の森づくり活動	岐阜	やおつ水源の森づくり実行委員会	岐阜	850													●		●			23
30東震SC-01	3.11復活の森づくり～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業	千葉	(特非)森のライフスタイル研究所	長野	1,800						●					●		●	●	●		●	24
30東震SC-02	「全労災の森・宮城」海岸防災林再生の森づくり事業	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	1,200											●		●		●			24
30東震SC-03	旭復興事業2018	千葉	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	906	●	●		●				●	●		●		●	●	●		●	25
30東震SC-04	震災復興植樹祭 IN さんむ	千葉	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	1,570	●	●		●				●	●		●		●	●	●		●	25
30東震SC-05	白子町海岸保安林整備事業	千葉	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	1,474	●	●		●				●	●		●		●	●	●		●	26
30東震SC-06	「荒浜潮除須賀松の森」植樹事業	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	2,865													●	●	●	●	●	26
30東震SC-07	ラグビーワールドカップ2019開催をステップとしたコミュニティの再生を目指す大槌湾海岸防災林植樹事業	岩手	(特非)環境パートナーシップいわて	岩手	1,150						●					●		●	●	●			27
30北震SC-01	市民参加による北進の森復活事業	北海道	(特非)はやきた子どもの遊び場づくりネットワーク	北海道	1,683	●		●	●			●				●		●		●	●	●	27
30S-01	森と街を繋ぐ森の循環プロジェクト	北海道	(公社)北海道森と緑の会	北海道	1,800	●	●	●	●	●	●			●		●	●	●	●	●	●	●	28
30S-02	札幌市澄川都市環境林に於ける外来種ニセアカシア侵入地域の復興事業	北海道	(特非)北海道森林ボランティア協会	北海道	900			●	●			●								●		●	28
30S-03	広葉樹施業の担い手を育てる自伐林業家養成事業	北海道	北海道自伐型林業推進協議会	北海道	1,200			●	●			●	●	●		●	●		●	●	●		29
30S-04	山林と暮らしを結ぶ「薪割りランド事業」	岩手	薪割りランド研究会	岩手	1,300			●				●				●		●		●			29
30S-05	松枯れ対策プロジェクト2018	岩手	(特非)遼野エコネット	岩手	820			●	●			●	●			●	●	●		●		●	30
30S-06	間伐材の資源化プロジェクト	岩手	(特非)いわて森林再生研究会	岩手	770							●						●		●		●	30
30S-07	森林の整備（地震で崩落した山林の再生事業）	宮城	森のなかま	宮城	200														●	●			31
30S-08	森林の整備（離島の森の回復事業）	宮城	森のなかま	宮城	200											●				●			31

交付決定番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	SDGsの目標との関連																	掲載頁
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
30S-09	北上川の上下流を結ぶ緑の再生活動	岩手	(特非)環境生態工学研究所	宮城	1,200				●		●						●		●		●	32	
30S-10	茨城県県民の森「スギ採種圃の跡地」及び他フィールドの森林整備活動	茨城	いばらき森林クラブ	茨城	390			●	●								●		●		●	32	
30S-11	「トトロの森」狭山丘陵と周辺緑地での里山保全	埼玉、東京	(公財)トトロのふるさと基金	埼玉	1,200			●	●			●					●		●	●	●	33	
30S-12	雑木林や杉林の恵みを環境教育などで享受しながらの継続的な整備	千葉	山武に雑木林をつくる会	千葉	245				●								●		●			33	
30S-13	古民家/宙(そら)ーこどもの「ひみつきち」の森づくり	千葉	木と建築で創造する共生社会実践研究会(A-WASS)	東京	649							●				●			●		●	34	
30S-14	秩父市久那上ノ山及びその周辺山林の整備と育成	埼玉	ちちぶ里森の会	東京	780			●			●	●					●		●		●	34	
30S-15	日向の森(千葉県山武市・人工林)保全活用のため森林ボランティア人材養成事業	千葉	(公財)Save Earth Foundation	東京	1,600				●								●		●			35	
30S-16	国民参画の森林づくり国際ワークキャンプ	13道府県	(特非)NICE日本国際ワークキャンプセンター	東京	1,189							●					●	●	●			35	
30S-17	神奈川県山北町における森林整備活動事業	神奈川	(特非)地球緑化センター	東京	596														●			36	
30S-19	森の次代を担う青年森づくり事業	東京	(特非)森の包括支援センター	東京	600	●			●			●					●		●		●	36	
30S-20	梅林の再生と医院通り(A棟)の緑の環境改善活動	東京	サンシティ管理組合	東京	350																	37	
30S-21	富士山休養林の森林整備	静岡	富士緑化応援隊	神奈川	765																	37	
30S-23	水源林の保全・整備と森林の多目的利用の促進	神奈川	(特非)かながわ森林インストラクターの会	神奈川	300						●									●		38	
30S-24	南高尾風景林の森づくりと森林体験スクール活動	東京	高尾グリーン倶楽部	東京	700																	38	
30S-25	相模湖若者の森づくり、知足の森林整備活動	神奈川	(特非)緑のダム北相模	神奈川	600												●		●		●	39	
30S-26	里山保全安全技能研修をととした緑地整備の推進	神奈川	(特非)よこはま里山研究所	神奈川	600															●		39	
30S-27	複数フィールドの持続的な竹林保全と活用	神奈川、静岡	(特非)日本の竹ファンクラブ	神奈川	1,200												●		●		●	40	
30S-28	間伐材を利用した森の拠点～森のキッチンづくり～	新潟	(特非)緑とくらしの学校	新潟	450			●	●	●		●					●	●	●		●	●	40
30S-29	間伐材を活用した観光地の新たな魅力化事業	福井	(一社)Switch Switch	福井	1,500			●									●		●		●	41	
30S-30	古里越前の里山育む未来への森づくり	福井	(特非)月尾くらし工房	福井	423																	41	
30S-31	昆虫の棲める故郷の里山再生	山梨	(特非)自然とオオムラサキに親しむ会	山梨	1,420			●		●	●	●	●		●	●				●	●	●	42
30S-32	竹林整備・活用研究	岐阜	もりの恵み研究会	岐阜	450												●					●	42
30S-33	地域の森づくり・里づくり一体型拠点整備事業	岐阜	なつかしい未来の会	岐阜	1,030							●	●				●		●		●	●	43
30S-34	水源地間伐支援事業	愛知	とよはしきこり隊	愛知	600												●			●		●	43
30S-35	間伐の推進と間伐材有効活用の実践	三重、愛知	グリーンボランティア「森林づくり三重」	三重	420			●	●			●										●	44
30S-36	斎王竹の道「森林再生保全」(継続)	三重	(特非)ういの郷クラブ	三重	600	●	●	●		●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	44
30S-37	寺林を生かした森林環境学習活動	京都	フィールドソサイエティ	京都	450				●								●		●		●	●	45
30S-39	里山整備事業	兵庫	任意団体清水寺の森	兵庫	160			●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	45
30S-40	憩いの場として健全な、景観の良い森林づくり	奈良	(特非)森づくり奈良クラブ	奈良	303			●			●									●		●	46
30S-41	広葉樹林の整備	広島	下御領自然と歴史を守る同好会	広島	150						●		●				●		●		●		46
30S-42	気候変動を健全なものに正す持続可能な環境共生型森業の実践普及事業	高知	(特非)土佐の森・救援隊	高知	1,800							●	●			●	●			●			47
30S-43	岡垣町：放置竹林伐採・植樹プロジェクト	福岡	岡垣緑のまちづくりの会	福岡	600						●									●		●	47
30S-44	子供とミツバチの森づくり活動	鹿児島	(特非)森と木の研究所	鹿児島	1,030			●	●			●	●				●	●	●			●	48
30S-45	桜島新島町「ふるさと再生プロジェクト'18」	鹿児島	(特非)ふるさと再生プロジェクトの会	鹿児島	580			●	●								●			●			48
30災S-01	東北太平洋側被災森林再生事業	宮城	(一社)ブッシュクローバ・コミュニティ	宮城	400																		未掲載
30災S-02	東日本大震災復興支援 緑化木育成	宮城、千葉	東日本大震災復興緑化支援100万本植樹活動	千葉	2,000																		未掲載
30災S-03	富士山麓における森づくり整備活動	山梨	(公財)オイスカ	東京	2,500	●	●	●	●		●	●	●				●		●		●	●	49
30災S-04	上下流連携の循環型森づくり活動	群馬	やまづくりくらぶ	東京	400			●												●			49
30災S-06	緑の遺産「胎内」災害に強い森づくり	新潟	四季を愛する会	新潟	2,500												●		●		●	●	50
30災S-07	国民参加による災害に強い森づくり事業	新潟	(特非)里山グリーン新潟	新潟	1,200			●									●		●	●	●	●	50

交付決定番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	SDGsの目標との関連																	掲載頁	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
30災S-08	北潟湖の森を育む子どもたちの森づくり	福井	北潟の森協議会	福井	700																			51
30災S-10	持尾フィールド斜面林復旧事業	大阪	(特非)里山倶楽部	大阪	560																	●		51
30災S-11	災害救援ボランティア活動	兵庫	(特非)JLC兵庫	兵庫	945	●	●	●			●	●	●				●	●		●	●			52
30災S-12	蘇る熊野の森・大日山プロジェクト2018 (3番区)	和歌山	(特非)三つの森	和歌山	900											●		●	●	●				52
30災S-13	「銀林の恵み森活プロジェクト」で山林災害を無くそう！事業	島根	「銀林の恵み森活プロジェクト」実行委員会	島根	1,370							●				●		●		●				53
30災S-14	徳島県那賀町木沢 森林整備事業	徳島	(特非)鳥雲の森沙漠植林ボランティア協会	徳島	500											●			●	●				53

【緑化の推進】

交付決定番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	SDGsの目標との関連																	掲載頁	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
30RC-01	「つたえよう美しき森」獅子吼高原森のふれあい音楽会	石川	「つたえよう美しき森」推進委員会	石川	1,500																			56
30RC-02	子どもと地域のための森の健康診断普及事業	中部・近畿	森の健康診断出前隊	愛知	2,000				●													●		56
30RC-03	活樹祭～水源林・森の恵みと活用を学ぶキャンププログラム	山梨	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	1,106					●	●				●	●		●		●		●		57
30RC-04	日豪環境ボランティアプログラム2018 in 五木村 ～森と水の心のふるさとを未来につなぐ～	熊本	五木村 日豪環境ボランティア実行委員会	熊本	1,670																●			57
30RC-05	活樹祭～森の恵みと活用を学ぶキャンププログラム	宮城	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	793					●	●				●	●							●	58
30RC-06	学校教育環境向上のための緑化事業 (池田小学校ほか)	島根	(公社)島根県緑化推進委員会	島根	1,000				●										●					58
30RC-07	安全な間伐モデル事業	静岡・岐阜 ほか	森づくり安全技術・技能全国推進協議会	東京	2,200				●					●										59
30RC-08	福を呼ぶ「フクギさんぼ道」プロジェクト	沖縄	(公社)沖縄県緑化推進委員会	沖縄	2,000															●				59
30RC-09	学校教育環境向上のための緑化事業 (喜屋武小学校ほか)	沖縄	(公社)沖縄県緑化推進委員会	沖縄	1,000				●											●				60
30RC-10	こどもからお年寄りまで元気になる森づくり事業	北海道	羽幌みんなでつくる自然空間協議会	北海道	300				●	●			●			●	●	●	●			●		60
30RC-11	活樹祭・親子森林教室 石垣島里山づくりプロジェクト	沖縄	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	1,548				●						●	●	●	●	●	●		●		61
30RC-12	「グリーンウェイ2019」記念植樹会	千葉	南市原里山連合	千葉	200										●						●		●	61
30東震RC-01	「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	2,433				●	●		●			●	●	●	●	●	●				62
30熊震RC-01	熊本地震復興支援事業 (学校等緑化)	熊本	(公社)熊本県緑化推進委員会	熊本	920																			62
30熊震RC-02	熊本地震復興支援事業 (学校等木製品提供)	熊本	(公社)熊本県緑化推進委員会	熊本	4,280																			63
30西豪RC-01	平成30年7月豪雨災害広島支援事業	広島	広島県林業改良普及協会	広島	3,000				●							●	●						●	63
30西豪RC-02	九州北部豪雨復興支援事業 (学校・仮設住宅団地等緑化・木製品提供)	福岡	(公財)福岡県水源の森基金	福岡	5,000																			64
30西豪RC-03	平成30年7月豪雨災害西予地区支援事業	愛媛	西予地区林業振興会議	愛媛	872																			64
30R-01	植樹会と間伐材利用イベントを通じた、富良野の森づくり人づくり事業	北海道	(特非)C・C・C富良野自然塾	北海道	450															●		●		65
30R-02	森と緑と湖のマチ、そららの森づくりプロジェクト	北海道	釧路湿原・阿寒・摩周 シーニックバイウェイ運営代表者会議	北海道	620															●		●		65
30R-03	いのちの森づくり植樹祭 IN 奥沢水源地 VOL6	北海道	北海道千年の森プロジェクト	北海道	1,500				●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	66
30R-04	オオヤマザクラ等の保育活動を通じた地域を結ぶ森林づくり	青森	岩木山桜会議	青森	300																			66
30R-05	陸奥湾を守る周辺の森の仕組みを学ぶ植林体験事業	青森	(特非)白神山地を守る会	青森	250						●								●	●				67
30R-06	八幡山桜 (はな) の森整備事業 紅葉の森整備事業	山形	手ノ子区協議会	山形	711				●			●				●						●	●	67
30R-07	ふるさとの風景づくり植樹祭	福島	ふるさとの風景づくり実行委員会	福島	579											●		●		●				68
30R-08	川内ふるさと ふるさと触れ合いの森づくり	福島	川内村商工会	福島	929																			68
30R-09	市民・子どもたち参加の里山保全活動	茨城	(特非)こが里山を守る会	茨城	700																			69
30R-10	渡良瀬川源流の荒廃地緑化事業	栃木	(特非)足尾に緑を育てる会	栃木	1,000	●			●		●	●	●		●	●		●		●		●		69
30R-11	高尾小仏植樹祭2018	東京	(特非)国際ふるさとの森づくり協会	東京	1,000											●		●		●		●		70
30R-12	市民参加による茨城高萩の森づくり人づくり	茨城	(公財)ボーイスカウト日本連盟	東京	1,500				●							●					●			70
30R-13	一般市民による湘南海岸林整備事業	神奈川	(特非)地球緑化センター	東京	285																	●		71

交付決定番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	SDGsの目標との関連																	掲載頁		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
30R-14	みんなの家でみんなの森づくりプロジェクト	山梨	(特非)野外遊び喜び総合研究所	東京	450			●	●		●	●		●		●	●	●		●		●		71	
30R-15	「水が繋ぐ地域と世代」促進事業	山梨、 神奈川	(一社)全国森の循環推進協議会	神奈川	1,100				●						●	●	●		●					72	
30R-16	子ども達の将来に残す森林整備	福井	菅浜炭焼きの会	福井	506						●				●		●	●	●					72	
30R-17	第2回「海をつなげるいのちの森づくり植樹祭」	静岡	(特非)時ノ寿の森クラブ	静岡	1,000																			73	
30R-19	猿投山北西山麓斜面の環境林整備	愛知	猿投の森づくりの会	愛知	800			●			●	●			●	●	●	●	●			●		73	
30R-20	揖保川源流の森づくり	兵庫	兵庫ドングリ千年の森をつくる会	兵庫	1,350																●			74	
30R-21	花粉症対策の森づくり事業	広島	(特非)ピースウィンズ・ジャパン	広島	870													●		●		●		74	
30R-22	山の日記念植樹祭	広島	(特非)ひろしま人と樹の会	広島	1,250			●	●		●	●			●		●	●	●	●	●	●		75	
30R-23	「山野草350種の花が咲く」森の保存による里山事業	山口	「山野草のエキ」保存会	山口	900										●					●		●		75	
30R-24	森づくり活動による都市・山村交流ふれあい事業	徳島	(公社)徳島森林づくり推進機構	徳島	2,000												●		●					76	
30R-25	炭焼きと住民や子供達が自然体験出来る森づくりPJ	福岡	(特非)北九環浄研	福岡	800						●						●		●		●			76	
30R-27	少年団による水源林整備及び自然体験活動	熊本	人吉・球磨自然保護協会	熊本	400																			未掲載	
30災R-01	三宅島復興森林づくり交流事業	東京	(特非)地球緑化センター	東京	300																●			77	
30災R-02	湘南国際村めぐりの森づくり	神奈川	(一社)Silva	神奈川	2,000		●		●		●		●		●	●	●	●	●	●	●	●		77	
30災R-03	海岸防災林や未利用放牧地等の森林整備事業	千葉、長野、 東京	(特非)森のライフスタイル研究所	長野	2,200										●				●	●		●		78	
30災R-04	グリーンベイOSAKA森を育てる活動(海岸防災林の植樹整備)	大阪	(特非)グリーンベイOSAKA	大阪	1,900			●							●		●							78	
30災R-05	菊炭で文化と里山を未来へつなぐ事業	大阪	大阪能勢田尻菊炭振興協議会	大阪	2,050				●		●				●		●	●	●					79	
30災R-06	入来浜海岸防災林保全活動	鹿児島	(特非)森と木の研究所	鹿児島	1,200			●	●		●	●		●	●	●								79	
30災R-07	「地球に緑を 桜島を緑に」どんぐり照葉樹の森づくり	鹿児島	桜島どんぐりころころ植樹祭実行委員会	鹿児島	1,350			●			●	●		●		●	●	●	●	●	●	●		80	
30子R-01	天売島・持続可能な未来の水源林づくり事業 (天売島・おらが島の里山づくり事業)	北海道	(一社)天売島おらが島活性化会議	北海道	900			●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		80
30子R-02	小学校における森林体験学習(総合学習)の支援事業	北海道	北海道林業技士会	北海道	570			●	●															81	
30子R-03	人と森と触れあう。「親子で秘密基地」ワークショップ	北海道	シェアガーデンみやのもり	北海道	1,000												●		●		●			81	
30子R-04	市民参加による虹の湖公園育樹事業	青森	(一財)黒石市観光開発公社	青森	1,000												●		●					82	
30子R-05	「大沢の臥竜梅」樹勢回復事業	岩手	大沢の臥竜梅を守る会	岩手	460																			82	
30子R-06	未来につなぐもりの学び舎協働事業	宮城	(特非)宮城県森林インストラクター協会	宮城	615			●			●	●			●		●		●		●		●	83	
30子R-07	「そだてよう!どんぐりの森2018」プロジェクト	秋田	男鹿ツーリズムプラットフォーム	秋田	1,000				●		●						●	●	●					83	
30子R-08	癒やしの森作り	山形	(特非)斜平山保全活用連絡協議会	山形	820			●							●		●		●		●		●	84	
30子R-09	子ども達の自然体験活動フィールド整備事業	福島	(特非)いわきの森に親しむ会	福島	640			●	●		●				●									84	
30子R-10	名久田川源流学びの森づくり	群馬	本宿産産組合	群馬	720	●		●			●	●			●		●	●	●	●	●	●		85	
30子R-11	八ツ場ダム水没サクラを守ろう	群馬	群馬県樹木診断協会	群馬	1,000				●						●					●		●		85	
30子R-12	生物多様性のある里山の森づくり	埼玉	埼玉県立浦和第一女子高等学校麗風会	埼玉	700			●	●		●				●		●		●		●		●	86	
30子R-13	「木育」による地域里山再生プロジェクト	千葉	子育て支援ステーション ニッセ	千葉	950	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	86	
30子R-14	希少植物自生地の針広混交林整備	千葉	(特非)富里のホタル	千葉	490										●					●		●		87	
30子R-15	豊かさを学ぶ森作り	千葉	上総自然学校	千葉	425		●	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	87	
30子R-16	遊びに来たい森へ向けて～森に手を入れ、次代を育む～	東京	(特非)フジの森	東京	900				●								●	●		●		●		88	
30子R-17	「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取組を通して～【木育】～	東京	相原小学校 木育を進める会	東京	1,000										●		●					●		88	
30子R-18	歴史のある恩方の森で、地元の小中学生へ体験学習	東京	ハウロの森くらぶ	東京	153			●	●						●	●	●		●	●	●			89	
30子R-19	みんなで守ろう育てよう!よしみ里山プロジェクト	埼玉	(特非)ナチュラルリングトラスト	東京	600				●		●				●		●		●		●		●	89	
30子R-20	吉野 落葉樹・どんぐり苗返しの森造り森林再生事業	奈良	(特非)地球と未来の環境基金	東京	1,000												●		●					90	
30子R-21	三浦半島のまん中に自然ふれあいの森をつくろう	神奈川	協働参加型めぐりの森づくり推進会議 「自然ふれあい楽校」	神奈川	570			●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●		90	
30子R-22	鬼太鼓の森再生事業	新潟	「鬼太鼓の森づくり」協議会	新潟	1,000											●				●				91	
30子R-23	緑の里山保全の森づくり活動	富山	(公財)オイスカ富山県支部	富山	290												●		●		●		●	91	
30子R-24	ふるさとの絆の森再生事業	石川	石川フォレストサポーター会	石川	620															●				92	

交付決定番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	SDGsの目標との関連																	掲載頁
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
30子R-25	鎮守の森の再生	福井	中番環境を守る会	福井	920				●							●				●		●	92
30子R-26	たけだ風の谷プレーパーク～あそびの森プロジェクト～	福井	(特非)森のほうかごがっこう	福井	560				●											●			93
30子R-27	元学校林を利用した教育の森創造事業	長野	(特非)グリーンウッド自然体験教育センター	長野	621							●				●	●	●		●		●	93
30子R-28	ぼくらの裏山ランド整備事業	長野	(特非)信州フォレストワーク	長野	320				●			●								●			94
30子R-29	清流と共に生きる子どもたちの100年の森林づくり事業	静岡	(公社)静岡県林業会議所	静岡	1,000			●	●		●	●					●					●	94
30子R-30	富士のさと「子どもたちの未来の森づくり事業」	静岡	(特非)土に還る木森づくりの会	静岡	650			●				●				●		●		●			95
30子R-31	サバイバルマウンテン整備	愛知	上野間学区青少年を守る会	愛知	740			●															95
30子R-32	150周年記念に向けてふるさとに残す夢の里山の森	愛知	愛知県豊田市立明和小学校PTA	愛知	800													●		●		●	96
30子R-34	マキノ高原千本校の樹勢回復事業	滋賀	牧野区	滋賀	1,000													●		●		●	96
30子R-35	くぬぎーランド!いきもの夢の森づくり事業	滋賀	甲賀愛林クラブ女性部	滋賀	750			●	●		●	●				●	●	●		●		●	97
30子R-36	能勢ささゆり学園「学びの丘」整備事業	大阪	能勢町立能勢小学校PTA	大阪	900				●							●				●		●	97
30子R-37	都市近郊での「山とまちをつなぐ」豊かな里山教育環境の整備	大阪	bioa(ビオア)	大阪	900				●											●		●	98
30子R-38	雌岡山梅林の管理育成及び環境保全	兵庫	雌岡山梅林を育てる会	兵庫	302			●	●		●					●		●	●			●	98
30子R-39	境港市竹内西緑地マツ林復元・整備事業	鳥取	竹内マツ植樹隊	鳥取	750			●	●							●		●		●		●	99
30子R-40	僕らの秘密基地づくりプロジェクト	島根	(特非)隠岐しぜんむら	島根	754				●							●				●		●	99
30子R-41	「粒江の栗山」保護事業	岡山	粒江小地域学校協働本部実行委員会	岡山	500											●				●		●	100
30子R-42	緑の景観事業による里山創生	山口	「鹿野の風」プロジェクト	山口	600											●						●	100
30子R-43	未来に向けた親しみある森づくり	山口	防長の吉野をつくる会	山口	180																		101
30子R-44	集まれ光井っ子!里山整備プロジェクト	山口	光井地区連合自治会	山口	500											●		●					101
30子R-45	子ども達と楽しむ気晴らしの丘の森づくり事業	山口	象頭山再生プロジェクト	山口	350				●														102
30子R-46	紙屋の里山等再生事業	宮崎	紙屋有志会	宮崎	1,000																		102

【国際協力】

交付決定番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	SDGsの目標との関連																	掲載頁
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
30KC-01	地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業	マリ	(特非)サヘルの森	東京	1,300		●									●		●		●		●	104
30KC-02	日本ーラオス友好の森展示林造成事業	ラオス	高尾グリーン倶楽部	東京	3,000											●		●		●		●	104
30KC-03	フィジー 森林と海の生物多様性保全に向けた植林と環境教育推進プロジェクト～災害に強く、自然と調和した地域づくりのために～	フィジー	(公財)オイスカ	東京	2,000				●									●	●	●			105
30KC-04	平成30年度 緑の国際ボランティア研修(タイ国)	タイ	(特非)環境修復保全機構	東京	3,200				●	●						●	●	●		●			105
30KC-05	タイ国チャイナート県における森林再生を目指した植林事業(フェーズ2)	タイ	(特非)環境修復保全機構	東京	1,190					●						●		●		●			106
30KC-06	タイ国ナコーンラーチャーシーマー県における森林再生を目指した植林事業(フェーズ2)	タイ	(特非)環境修復保全機構	東京	2,600					●						●		●		●			106
30KC-07	カンボジア国クラチエ州における生物多様性の保全を目指した植林事業(フェーズ3)	カンボジア	(特非)環境修復保全機構	東京	2,400					●						●		●		●			107
30KC-08	インドネシア 森林と水保全のための「まちの森」づくりと環境教育推進プロジェクト	インドネシア	(公財)オイスカ	東京	2,100				●		●							●	●	●			107
30KC-09	モンゴル国ボルガン県における飼料木を用いた放牧地保全林造成事業	モンゴル	(一社)ジョフカ	東京	2,000	●										●							108
30KC-10	地球温暖化防止と日中友好の森づくり事業	中国	(特非)地球緑化センター	東京	800													●		●			108
30KC-11	ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための寒帯林保全及び荒廃林地の造林事業	ロシア	(特非)むさしの・多摩・ハバロフスク協会	東京	2,000													●	●	●			109
30KC-12	モンゴル森林火災被災地再生事業	モンゴル	(特非)GNC Japan	東京	800																		未掲載
30K-01	モンゴルにおける北方型生活環境保全林の造成事業	モンゴル	蒼いウランパートル技術支援実行委員会	北海道	1,526			●	●							●		●		●		●	109
30K-02	中国・内モンゴル自治区アラシャン盟ウランブハ沙漠における沙漠緑化	中国	(特非)MAKEHAPPY	宮城	1,370											●		●		●			110

交付決定番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	SDGsの目標との関連																	掲載頁	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
30K-03	苗木生産・供給をベースとした住民主体のコミュニティー完結型緑化事業（継続）	エチオピア	(特非)フー太郎の森基金	福島	1,550	●					●					●		●		●				110
30K-04	中国内モンゴル自治区錫林勒盟正蘭旗烏日図嘎査フィサンダクー沙地における沙丘からの流沙防止のための植林	中国	(特非)日本沙漠緑化実践協会	東京	1,065	●											●		●		●			111
30K-05	ブルキナファソ・バム県における村落植林プロジェクト	ブルキナファソ	(特非)緑のサヘル	東京	816	●																		111
30K-06	インドネシア・東スンバ県における緑化推進のためのマングローブ植林事業	インドネシア	(特非)地球の友と歩む会	東京	531	●	●											●	●					112
30K-07	フィリピン・アブラ州生物多様性改善のためのモデル植林プロジェクト	フィリピン	(公財)オイスカ	東京	1,962	●	●	●	●	●	●		●					●		●		●		112
30K-08	セレゲレン苗木生産センターにおける育苗及び砂漠化防止のための植林普及事業	モンゴル	(特非)エコライアンス21	東京	985								●			●		●		●		●		113
30K-09	マダガスカル、アンジアマングラーナ監視森林とその周辺地域での植林	マダガスカル	日本アイアイ・ファンド	東京	1,130	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●		●		113
30K-10	パレスチナ自治区ナブルス県の耕作放棄地への植樹を通じた地域の緑化支援事業	パレスチナ	(特非)バルシック	東京	1,645			●								●		●		●				114
30K-11	モウス沙地における砂漠緑化・生態混交林造成事業	中国	(一社)地球緑化クラブ	東京	1,240	●										●			●		●			114
30K-12	カンボジア世界遺産プレアピビア寺院周辺地区での植林活動（第8年目）	カンボジア	(特非)アジアの誇り・プレアピビア日本協会	東京	1,090	●										●		●				●		115
30K-13	ラオスにおける荒廃地の薪炭林再生	ラオス	(特非)ラオス国薪炭林造成協会	東京	1,450	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●		●	●	●		115
30K-14	マレーシア・サラワク州における地域住民参加型マングローブ林再生事業	マレーシア	(公社)日本マレーシア協会	東京	1,246						●					●		●	●				●	116
30K-16	ガーナ植林・日本式炭焼普及プロジェクト	ガーナ	(特非)ガーナ農林工芸振興協会	東京	671	●	●					●	●	●		●	●	●						116
30K-17	カンボジア国モンドルキリ州の里山再生を目指した緑化推進事業（フェーズ3）	カンボジア	(特非)環境修復保全機構	東京	1,342					●						●		●		●				117
30K-18	ヒマラヤ山麓伐採荒地に「笑顔はじける環境を子供たちへ！未来の緑の森づくり」	ネパール	(特非)ヒマラヤ保全協会	東京	1,900				●							●	●		●		●		●	117
30K-19	インド国オディッシャ州ゴバルプール地区の住民による「持続可能な生活林」づくり	インド	ラムサールセンター	東京	1,495	●	●	●	●	●		●			●		●	●		●	●	●		118
30K-20	ミャンマー八角平和計画 チン州編 (Myanmar Star Anise Peace Project in Chin States)	ミャンマー	(一社)八角平和計画研究所	神奈川	1,900	●									●		●			●	●	●		118
30K-21	豊寧県緑化環境保全事業	中国	(特非)地球緑化センター	東京	1,746	●	●	●	●		●	●	●			●		●		●		●		119
30K-22	東アマゾン氾濫原でのアグロフォレストリー普及	ブラジル	(特非)地球と未来の環境基金	東京	1,058	●	●									●	●		●	●				119
30K-23	ネパール・バネバ市に緑を育て、守る住民参加型都市緑化推進事業（継続3年目）	ネパール	(特非)ラプグリーンジャパン	神奈川	1,919			●			●					●		●				●		120
30K-24	大規模森林火災で焼失した森を再生するための市民緑化活動	インドネシア	F.CManisマニスファンクラブ	神奈川	1,645	●			●							●		●		●				120
30K-25	モンゴル国ゴビツンベル県の森林公園造成支援	モンゴル	(特非)モンゴル環境情報センター	福井	1,380			●	●							●		●		●		●		121
30K-26	ハイチ西県ロッシュ地区におけるモリンガ植林活動	ハイチ	ハイチ友の会	山梨	1,761	●	●	●			●		●			●	●	●		●		●		121
30K-27	家庭菜園を利用した持続可能な苗木生産の創出	タジキスタン	(特非)中央アジア森林草地保全研究所	静岡	1,279	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●		122
30K-28	ベトナムにおけるマングローブ林再生事業	ベトナム	南遊の会	愛知	1,308												●	●	●		●		●	122
30K-29	上・下流部住民の交流による流域の森林再生（第2年次）	フィリピン	(特非)イカオ・アコ	愛知	1,681	●			●								●	●	●		●		●	123
30K-30	パキスタン北東部における緑の再生・保全事業と環境保護第一世代の育成	パキスタン	マグティン・カラコラム会	滋賀	1,291	●			●		●					●	●		●		●		●	123
30K-31	モンゴル山火事跡再生困難地での森林再生促進	モンゴル	モンゴル森林再生促進研究会	滋賀	1,218			●	●		●	●		●		●		●	●	●		●		124
30K-32	フィリピンのコーヒー育苗による森林保全	フィリピン	マナラボ環境と平和の学びデザイン	京都	1,706	●	●	●			●	●			●	●	●		●	●	●		●	124
30K-33	半乾燥地の女性グループが行う次世代に繋がる緑の環境づくり	ケニア	(特非)道普請人	京都	1,189	●				●						●		●				●		125
30K-34	ネパール シンドゥバルチョーク郡 地震被災地の学校の緑化と地域の憩いの場及び避難場所として活用するための緑の公園づくり	ネパール	(公社)アジア協会アジア友の会	大阪	1,850				●							●				●		●		125
30K-35	マダガスカルでの土砂流失防止の植林事業	マダガスカル	(特非)アイユーゴー	大阪	1,421	●	●	●								●	●	●		●				126
30K-36	ブラジル国パラ州トメアス郡におけるアグロフォレストリーを活用した水源涵養植林事業	ブラジル	(特非)野生生物を調査研究する会	兵庫	2,000	●	●				●		●			●	●	●		●				126
30K-37	ネパールにおけるアグロフォレストリー推進事業	ネパール	(特非)AMDA社会開発機構	岡山	1,202	●	●	●												●				127

交付決定番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	SDGsの目標との関連																	掲載頁		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
30K-38	第2徳島烏雲の森植林事業	中国	(特非)烏雲の森沙漠植林ボランティア協会	徳島	1,790	●							●					●		●					127
30K-39	モザンビーク共和国カーボデルガド州モリンガプロジェクト	モザンビーク	(一社)モザンビークのいのちをつなぐ会	福岡	705		●	●								●								●	128
30K-40	ミャンマーにおける焼畑防止へつなげるアグロフォレストリー普及事業	ミャンマー	(特非)地球市民の会	佐賀	1,626	●										●		●							128

(注1) 本表は、緑の募金法第14条に基づき森林整備等のために交付した交付先等である。

(注2) 交付額は、交付先への交付決定額である。

区分	最終交付件数	交付額(千円)
森林整備	86	83,835
緑化推進	95	95,592
国際協力	51	78,079
直接・公募計	232	257,506

「緑の募金」事業報告集 ー令和元年度版ー

発行所 公益社団法人 国土緑化推進機構
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4
砂防会館別館
TEL 03-3262-8457 FAX 03-3264-3974
URL <http://www.green.or.jp>
E-mail bokin@green.or.jp

編集 一般社団法人 全国林業改良普及協会



「緑の募金」で世界共通の目標に貢献

緑の募金は、SDGsが掲げる17のゴールの達成に貢献します。

3 すべての人に健康と福祉を



森林は安らぎや癒しの効果を持つ空間であることから、森林浴やハイキングが気分転換や健康維持に効果があると言われています。

緑の募金は地域のシンボルである樹木や人々が集う森林の保全活動を支援しています。

1 貧困をなくそう



緑の募金は、森林荒廃が進む海外での森林環境改善のための植樹活動や地域住民への環境教育を行うと共に、生活向上のための苗づくりなどを支援しています。


4 質の高い教育をみんなに



子どものころに自然にふれる体験をすれば、学びの意欲の向上につながるというデータがあり、森林は「生きる力」の教育の場として役割を果たしています。

緑の募金は子どもたちを育む自然体験活動を支援しています。

6 安全な水とトイレを世界中に



森林には、雨水を土壌中にたくわえてゆっくりと河川に流し、洪水や渇水を緩和する働きや水質を浄化する働きがあります。

緑の募金は水源地での植樹、保全活動を支援しています。

8 働きがいも経済成長も



緑の募金は、持続可能な森づくりに必要な「森づくりリーダー」の人材育成活動を支援しています。




11 住み続けられるまちづくりを



緑の募金は、東日本大震災や熊本・西日本・北海道地震などの被災地域で、防災林等の森林整備や住居地域周辺、学校周辺の緑化活動を行っています。

12 つくる責任 つかう責任



木材は、断熱性や衝撃に対する安全性が高く、目にやさしく、人の生理面や心理面に良い影響を与える「人にやさしい素材」と言われています。

13 気候変動に具体的な対策を



森林は、産業活動や家庭生活によって排出される二酸化炭素を吸収して、地球温暖化を抑える働きを持っています。

緑の募金は森林の活力を支えるための植樹活動や下刈り、間伐などの保全活動を支援しています。

17 パートナリシップで目標を達成しよう



緑の募金は、「緑の羽根」をシンボルに学校募金をはじめ、家庭募金・街頭募金・職場募金・企業募金などによって行われています。

15 陸の豊かさも守ろう



国土の約7割を占める日本の森林には、多くの動植物が息し、その土地の環境に応じて複雑かつ多様な生態系を形成しています。

緑の募金は生物多様性の保全につながる森づくりを支援しています。



公益社団法人
国土緑化推進機構

緑の募金

National Land Afforestation Promotion Organization

0120-110-381

ホームページアドレス <http://www.green.or.jp/>
電子メールアドレス bokin@green.or.jp

詳しくは「緑の募金」ホームページをご覧ください。



〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 5階